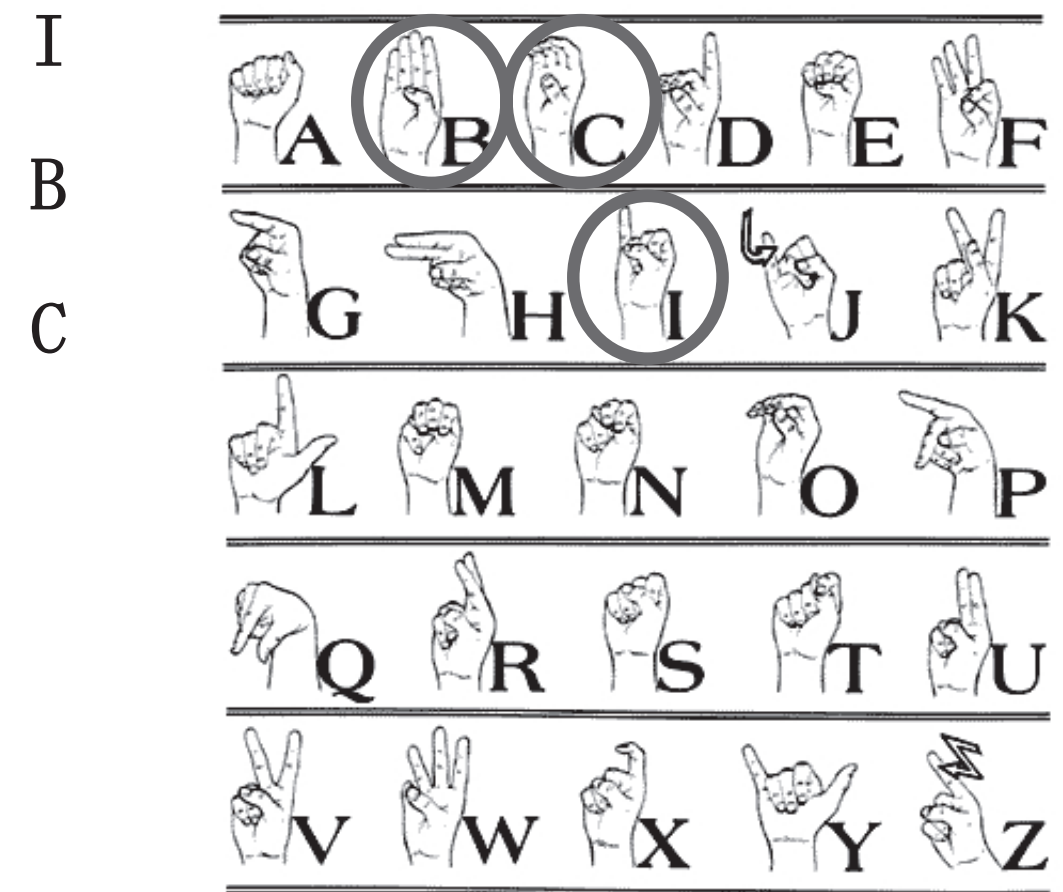


2020年度 後期 シラバス



クラス		名前	
-----	--	----	--

西鉄国際ビジネスカレッジ

<目次>

共通・・・・・・・・・・・・ P1～21

ホテル・ブライダル・・・・ P22～38

観光・トラベル・鉄道・・・・ P39～66

エアライン・・・・・・・・・・ P67～90

国際ホテルマネジメント・・ P91～139

夜間総合観光・・・・・・・・・・ P140～146

共通

学年	科目名	クラス	ページ
1	TOEIC I	AKOPVZ①	1
1	TOEIC II	AKOPVZ①	2
1	英検対策 I	AKOPVZ	3
1	英検対策 II	AKOPVZ	4
1	ビジネスマナー	KMOPZ	5
1	コンピュータ	KOPZS	6
1、2	SPI非言語対策	OPVZU	7
1	SPI言語対策	OPVZ	8
1	ホテル英会話	AS	9
1	観光業界研究／観光ゼミ	KZ	10
1	就職筆記対策	AK	11
1	ペン字	MV	12
2	コンピュータ	LNQR	13
2	コミュニケーションイングリッシュ	NQR	14
2、3	ホテル英会話	ET	15
1、3	韓国語	KMTOPV	16
1、3	中国語	KMTOPV	17
1、2	手話	VN	18
2	観光地理	QRY	19
2	コミュニケーション学	LN	20
2	社会情勢研究	ELN	21

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・エアライン・夜間総合観光科		
科目名	TOEIC I				クラス	AKOPVZ①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。 TOEIC頻出の分校事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。						
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集5						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		授業の進め方、評価方法の説明 TOEICテストの説明 サンプル問題を解く				
2回	Part2(1)		Part2の攻略の基本を学ぶ WH疑問文を聞き取る キーワードをとらえる				
3回	Part2(3)		「許可」「依頼」「提案」の応答の典型を覚える 音のひっかけに注意する 練習問題				
4回	Part3(2)		設問を先に読む 設問の意味を単純化する 選択肢を読む				
5回	Part4(1)		Part4の攻略の基本を学ぶ 設問の順番に沿ってヒントを聞き取る アナウンスや公共放送を聞く				
6回	Part4(3)		図・イラスト問題を攻略する 設問を先読みする 練習問題				
7回	Part5(2)		名詞の形と役割を理解する 名詞と数量詞の関連を知る 練習問題				
8回	Part5(4)		形容詞の形と役割を理解する 副詞の形と役割を理解する 形容詞と副詞の練習問題				
9回	Part5(6)		前置詞の用法について理解する 接続詞の用法について理解する 前置詞と接続詞の練習問題				
10回	Part6(1)		Part6の攻略の基本を学ぶ 設問を分類する 文法・語彙問題を解く				
11回	Part7(1)		Part7の攻略の基本を学ぶ 短い文章から取り組む メール・お知らせ・メッセージを読む				
12回	Part7(3)		記事・取扱説明書・手紙を読む 時間を管理する シングルパッセージの後半を最後に解く				
13回	Part7(5)		ダブルパッセージ 求人広告とメール 設問の焦点となる情報を一方の文書で探し、もう一方の文書で関連情報を探す				
14回	Part7(7)		トリプルパッセージ Eメール・目次・ウェブページ 要約力を身につける				
15回	応用問題		ストーリーを理解する ほのめかされた情報が問われたときの解法 「位置選択問題」の解き方				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル・観光・エアライン・夜間総合観光科		
科目名	TOEIC II				クラス	AKOPVZ①	
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	TOEICの試験形式に慣れ、聴解力、語彙力、読解力の強化を目指す。 TOEIC頻出の分校事項を理解する。				授業形態	講義	
到達目標	TOEIC試験で目標スコアを獲得する。						
使用テキスト	公式TOEIC LISTENING & READING 問題集5						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ	授業内容					
1回	Part1	Part1の攻略の基本を学ぶ 人物、風景と物、乗り物についての表現を学ぶ 練習問題					
2回	Part2(2)	Yes/No疑問文の応答 付加疑問文の応答 平叙文の応答					
3回	Part3(1)	Part3の攻略の基本を学ぶ 設問を読み、全体を聞いて解答できるものとピンポイントで聞いて解答するものを見分ける 練習問題					
4回	Part3(3)	設問を先に読む 図・イラスト問題を攻略する 選択肢を読む					
5回	Part4(2)	場所を問う問題を解く 職業を問う問題を解く 次の行動を問う問題を解く					
6回	Part5(1)	Part5の攻略の基本を学ぶ 品詞問題の解き方を学ぶ 文型・修飾語について理解する					
7回	Part5(3)	動詞の形と役割を理解する 能動態と受動態 練習問題					
8回	Part5(5)	準動詞の形と役割を理解する 不定詞・動名詞の練習問題 分詞の形と用法を理解する					
9回	Part5(7)	主語と述語の一致について理解する 主語の見分け方と対応する動詞の選び方を学習する 練習問題					
10回	Part6(2)	「文挿入問題」の解き方を学ぶ 空所の前後の内容をリンクさせるキーワードに注意する 練習問題					
11回	Part7(2)	広告・オンラインチャット・求人広告を読む 流れを意識して読む テキストメッセージは書き手の関係を整理して読む					
12回	Part7(4)	ダブルパッセージの解き方を学ぶ メールと予定表を読む 練習問題					
13回	Part7(6)	トリプルパッセージの解き方を学ぶ ウェブページとメールを読む 練習問題					
14回	Part7(8)	トリプルパッセージ 記事・文書・ウェブページを読む 要約力を身につける					
15回	まとめと復習	TEST2を復習する 語彙・語法の確認 文法問題の確認					

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、観光、 エアライン(CA)、 エアライン、夜間総合観光科	
科目名	英検対策Ⅰ				クラス	1年全クラス
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、八頭司麻都佳				実務経験	無
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	10月3日(土)(2020年度第2回)及び1月23日(土)(2020年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2020年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2018年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2018年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2018年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2020年度第2回検定 解答解説	2020年度第2回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	2018年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	英作文指導 2次試験対策	作文指導(取得目標級により異なる) 2018年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2018年度第1回検定問題 2次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
8回	2018年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
9回	2018年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2018年度第1回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2017年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2017年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2017年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2017年度第3回検定問題 2次試験対策	長文読解 英作文問題 2次試験対策				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 2020年第2回検定解答・解説 後期総復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル、観光、 エアライン(CA)、 エアライン、夜間総合観光科	
科目名	英検対策Ⅱ				クラス	1年全クラス
担当講師(フルネーム)	平島千華、日高郁子、加藤亜希、八頭司麻都佳				実務経験	無
授業概要(内容)	英検各級の語彙、文法についての解説等 注:各クラスで取得目標級が異なる為、授業内容や進度はそれぞれ異なる。				授業形態	講義
到達目標	10月3日(土)(2020年度第2回)及び1月23日(土)(2020年度第3回)実施の英検に合格できる力をつける。					
使用テキスト	2020年度版 英検過去6回全問題集(旺文社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2018年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
2回	2018年度第2回検定問題	長文問題、語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 作文指導(取得目標級により異なる) 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
3回	2018年度第2回検定問題	リスニング問題 英作文指導 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
4回	2020年度第2回検定 解答解説	2020年度第2回検定解答、解説 自身の弱点研究 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
5回	2018年度第2回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
6回	英作文指導 2次試験対策	作文指導(取得目標級により異なる) 2018年度第2回検定問題での未修得箇所の再学習。 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
7回	2018年度第1回検定問題 2次試験対策	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
8回	2018年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
9回	2018年度第1回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
10回	2018年度第1回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
11回	2017年度第3回検定問題	語彙問題 会話問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
12回	2017年度第3回検定問題	長文問題 語彙を学ぶとともに英文の基本構成を学ぶ。 文型、熟語の習得及び作文指導に於いては、自己の意見を表現できるようにする。				
13回	2017年度第3回検定問題	リスニング問題 英作文問題 学生は担当講師による指摘箇所の予習、復習、語彙強化に努めること。				
14回	2017年度第3回検定問題 2次試験対策	長文読解 英作文問題 2次試験対策				
15回	期末試験直前対策	後期授業総括 2020年第2回検定解答・解説 後期総復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科・鉄道科・エアライン科・夜間総合観光科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	KMOPZ
担当講師(フルネーム)	徳永美千留・榎本美和子・田中友加利				実務経験	無
授業概要(内容)	・社会人になるための心構え、また専門学校での過ごし方を学ぶ。 ・社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。				授業形態	講義
到達目標	ビジネス能力検定ジョブパス3級合格を目指す。(12/6(日)受験)					
使用テキスト	ビジネス能力検定3級テキスト2020年度版					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	過去問題		後期授業の進め方について 過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
2回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
3回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
4回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
5回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
6回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
7回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
8回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
9回	過去問題		過去問題を解き、問題に慣れ出題傾向を知る。			
10回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
11回	自己採点		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
12回	社会人としての心構え		12/6(日)試験の自己採点をする			
13回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
14回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			
15回	社会人としての心構え		ビジネスマナー他 社会の仕組みの理解と社会人としてのビジネスマナーを習得する。			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光・エアライン・国際・夜間 科
科目名	コンピュータ				クラス KOPZS
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験 無
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態 講義
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。就活に必要なパソコンスキルを習得する。				
使用テキスト	30時間でマスター Office2019				
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数 2
期末試験	△ 授業中に実施				
	テーマ	授業内容			
1回	パソコンの活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー 履歴書フォームのダウンロード			
2回	パソコンの活用	アカウントの確認とクラウドの活用 Officeのフォトタッチ機能を活用して、ポストカード作成			
3回	Excel基礎	Excel2019について、画面構成、文字・数値の入力と編集、テンキーレッスン 四則演算式と関数			
4回	Excel基礎	表作成 関数(SUM・AVERAGE・COUNT・MAX・MINなど)			
5回	Excel基礎	表作成 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める			
6回	Excel基礎	表作成 グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
7回	Excel基礎	表作成 関数(IF・VLOOKUP関数など)			
8回	Excel応用	表作成 検定過去問題の練習①			
9回	Excel応用	表作成 検定過去問題の練習②			
10回	Excel応用	表作成 検定過去問題の練習③			
11回	Excel学期内テスト	表計算技能処理検定 2級相当の模擬テスト			
12回	パソコン活用	Wordにてグリーティングカードやポスター作成			
13回	PowerPoint基礎	パワーポイントの画面構成と基本操作 サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」			
14回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集① 文字入力と装飾、図形・画像などコンテンツの挿入と編集 サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」			
15回	PowerPoint基礎	スライド作成と編集② スライドショーのための効果(アニメーション、画面切替、サウンド、ビデオなど) サンプルスライド「バブルティーカフェの提案」			

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	エアライン科・夜間総合観光科・国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI非言語対策				クラス	OPVZU
担当講師(フルネーム)	榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	SPIは企業がおこなう就職試験です、授業では非言語(数学系)の得点差がつきやすい計算問題や様々な論理問題を解きます。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける計算力や論理的思考能力を身につける。					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	食塩水の問題1		濃度算の基礎演習、四則演算、四則逆算の計算演習			
2回	食塩水の問題2		濃度算の問題演習(標準問題から応用問題)から損益算の類似問題まで			
3回	順列		場合の数の問題演習、順列と組み合わせの違いを理解して公式を使って計算する			
4回	組み合わせ		順列と組み合わせの応用問題を解く			
5回	玉手箱対策1		四則逆算や図表など玉手箱特有の割合、損益算の問題演習			
6回	SCOA対策1		数列やサイコロを使ったSCOA数理問題を解く、第6回までのまとめ小テスト			
7回	確率1		確率の基礎計算演習(サイコロとコイン)、確率の考え方を理解する			
8回	確率2		確率の計算演習(カードと色玉など)の応用問題を解き、理解する			
9回	推論1		推論(順位を考える) 筋道を立てて関係をまとめ論理的に考えて条件から答えを出す			
10回	推論2		推論(応用) 様々な問題に慣れ、文章を図式化する練習をする			
11回	資料の読み取り問題1		円グラフ、棒グラフ、折れ線グラフなどから必要な数値を選び出しグラフを読める力をつける			
12回	資料の読み取り問題2		表やグラフの資料全体の傾向を捉え、素早く計算する力をつける 玉手箱の類似問題を解く			
13回	集合		集合(2つの集合) ベン図を使った表し方を理解して問題を解く 小テスト			
14回	図形問題 モノの流れと比率問題		様々な図形の問題や図表を使って比率の問題を解く			
15回	後期のまとめ		後期授業のまとめの演習問題を解き、復習、知識の定着を目指す			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科・夜間観光総合科	
科目名	SPI言語対策				クラス	OPVZ
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識 & SPI (実教出版株式会社)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	なぜSPIをするのか		・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認 ・SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) *夏休みの課題(四字熟語)提出			
2回	日本の特産品を知る		・日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	四字熟語を極める		・四字熟語テスト① 夏休み課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト ・日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)			
4回	世界の気候		・四字熟語テスト② ・世界地理① 世界各地の気候を学ぶ。併せて産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句)			
5回	世界が作るもの		・四字熟語テスト③ ・世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	日本史の中の人物		・四字熟語テスト④ ・日本史① 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る ・SPI言語 文章問題①			
7回	史実を学ぶ		・四字熟語テスト⑤ ・日本史② ・SPI言語 文章問題②			
8回	世界史の中の人物		・四字熟語テスト⑥ ・世界史 歴史上の有名な出来事を追ひ、人物と「何」が起きたのか？を見る ・SPI言語 原料(加工物とその原料)			
9回	文化は歴史が作る		・文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる ・SPI言語 包含・用途・機能			
10回	名句・名言から学ぶ		・思想史 思想家の名句・名言と著書を学ぶ ・SPI言語 文章問題③			
11回	文学史		・文学史 主な文学作品とその作者を学ぶ ・SPI言語 行為の関係			
12回	働く環境を考える		・労働・社会保障 労働者は守られているか？現行制度を学びます ・SPI言語 文章問題④			
13回	社会の常識		・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します ・SPI言語 ことわざ・慣用句			
14回	2年生に向けての準備		・時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 ・SPI言語 文章問題⑤			
15回	後期のまとめ		・後期の復習 ・春休みの課題説明			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科・国際ホテルマネジメント科		
科目名	ホテル英会話				クラス	AS	
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子				実務経験	無	
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義＆演習	
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる						
使用テキスト	Hotel & Hospitality English						
成績評価方法	・期末試験50% 会話テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	11. At breakfast		Saying where things are Offering food and drink Taking breakfast orders				
2回	12. At the bar		Taking orders at the bar Recommending something Taking payment				
3回	13. Complaints from guests at the bar		Dealing with complaints Apologizing for mistakes Explaining the bill				
4回	14. In the restaurant (1)		Welcoming diners Giving out menus Taking drinks orders				
5回	15. In the restaurant (2)		Taking food orders Explaining dishes Choosing drinks				
6回	16. In the restaurant (3)		Asking about dessert and coffee Bringing the bill Handling payment				
7回	17. Housekeeping		Briefing new staff Explaining hotel rules Answering questions				
8回	18. Housekeeping problems		Dealing with requests Solving problems Agreeing to come back later				
9回	19. Room service		Taking room service orders Agreeing delivery times Delivering room service				
10回	20. Guest service		Ordering things for guests Making appointment Checking information				
11回	21. In the business center		Explaining available service Providing equipment Providing information				
12回	22. Recommendations for places to eat		Making restaurant recommendations Comparing things				
13回	23. Checking out		Checking guests out Checking items on the bill Saying goodbye				
14回	24. Problems checking out		Correcting mistakes on the bill Apologizing Keeping guests happy				
15回	Speaking Test		Speaking Test Prep for final exam				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科・夜間総合観光科	
科目名	観光業界研究(観光)／観光ゼミ(夜間)				クラス	KZ
担当講師(フルネーム)	友納真／各科講師				実務経験	有
授業概要(内容)	観光業界(運輸(鉄道・航空)・ホテル)についての実務知識を学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	観光業界について学び、実務知識を習得する					
使用テキスト	講師作成プリント					
成績評価方法	・提出物(レポート) 70%・平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回 9/16(水)	鉄道業界研究①		講師:花生 義一 先生(駅係員・車掌・運転) ※授業日の変更場合があります。			
2回 9/23(水)	鉄道業界研究②		講師:花生 義一 先生(駅係員・車掌・運転) ※授業日の変更場合があります。			
3回 9/30(水)	鉄道業界研究③		講師:花生 義一 先生(駅係員・車掌・運転) ※授業日の変更場合があります。			
4回 10/7(水)	鉄道業界研究④		講師:花生 義一 先生(駅係員・車掌・運転) ※授業日の変更場合があります。			
5回 10/14(水)	鉄道業界研究⑤		講師:JR九州(パーサー) ※授業日の変更場合があります。			
6回 10/21(水)	航空業界研究①		講師:原田 歩 先生(グランドスタッフ) ※授業日の変更場合があります。			
7回 10/28(水)	航空業界研究②		講師:原田 歩 先生(グランドスタッフ) ※授業日の変更場合があります。			
8回 11/11(水)	航空業界研究③		講師:原田 歩 先生(グランドスタッフ) ※授業日の変更場合があります。			
9回 11/18(水)	航空業界研究④		講師:脇山 奈津美 先生(キャビンアテンダント) ※授業日の変更場合があります。			
10回 11/25(水)	航空業界研究⑤		講師:吉原 正彦先生(グランドハンドリング) ※授業日の変更場合があります。			
11回 12/2(水)	ホテル業界研究①		講師:長野 美穂 先生 ※授業日の変更場合があります。			
12回 12/9(水)	ホテル業界研究②		講師:長野 美穂 先生 ※授業日の変更場合があります。			
13回 12/16(水)	ホテル業界研究③		講師:小西 翼 先生 ※授業日の変更場合があります。			
14回 1/6(水)	ホテル業界研究④		講師:小西 翼 先生 ※授業日の変更場合があります。			
15回 1/20(水)	ホテル業界研究⑤		講師:小西 翼 先生 ※授業日の変更場合があります。			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科 観光科	
科目名	就職筆記対策				クラス	AK
担当講師(フルネーム)	山本真美 ・ 榎木田裕夫				実務経験	無
授業概要(内容)	就職試験対策 授業は言語、非言語を隔週で行う。分割クラスによって授業内容の順序が入れ替わります。				授業形態	講義
到達目標	SPI、玉手箱、SCOAなどの採用試験が解ける学力の向上を目指す					
使用テキスト	SPI基本問題集(大和書房) 一般常識&SPI					
成績評価方法	・期末試験80% 平常20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション、テスト		授業の進め方、成績評価の方法の説明 ・数学のテスト(30分) ・漢字(漢検準二級程度)テスト(30分) *夏休みの課題(四字熟語)提出			
2回	言語①		SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) 地理 日本・世界各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える			
3回	非言語① 推論と玉手箱		推論の問題とWEBテスト(玉手箱)の四則逆算を解く			
4回	言語②		四字熟語テスト①(夏休みの課題を2週に分けて小テスト) SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語) 日本史 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る			
5回	非言語② 割合の問題		%、分数などを使って割合の問題を解く			
6回	言語③		四字熟語テスト② SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの) 世界史 歴史上、有名な出来事を追い、人物と「何」が起きたか？をみる			
7回	非言語③ 損益算		損益算の基礎から標準的な問題を解く			
8回	言語④		SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句) 政治 三権分立(国会、内閣、裁判所)			
9回	非言語④ 速度の問題		速度の問題 公式を使った基礎から応用問題(旅人算、流水算)を解く			
10回	言語⑤		SPI言語 原料(加工物とその原料) 経済 知っておきたい経済用語			
11回	非言語⑤ 濃度の問題		濃度の問題 基礎から標準的な問題を解けるようにする			
12回	言語⑥		SPI言語 包含・用途・機能 労働・社会保障 労働者は守られているか？現行制度を学びます			
13回	非言語⑥ 順列組み合わせ		順列と組み合わせの違いを理解し、問題を解く			
14回	言語⑦		SPI言語 行為の関係 文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる			
15回	非言語⑦ 確率		確率の公式の意味を理解し問題を解く 後期授業で学んだ事を復習する			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道・エアライン(CA)科	
科目名	ペン字				クラス	MV
担当講師(フルネーム)	塩塚輝美				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	文字の組み立て方を学びながら色々な実用書に役立てる					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	・提出物70% ・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	美文字になるためのポイント①		文字の基本を学ぶ① 筆記具の種類、姿勢、ペンの持ち方 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
2回	美文字になるためのポイント②		文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
3回	美文字になるためのポイント③		文字の基本を学ぶ③ 文字(片仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
4回	美文字になるためのポイント④		文字の基本を学ぶ④ 文字(平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
5回	履歴書の書き方①		文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習			
6回	履歴書の書き方②		履歴書まとめ①			
7回	履歴書の書き方③		履歴書まとめ② 提出			
8回	実用書を学ぶ①		はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②		封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③		封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—差出人(自分の住所・氏名の練習) まとめ			
11回	実用書を学ぶ④		手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①		筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②		慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③		慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④		慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	観光・鉄道・エアライン 科	
科目名	コンピュータ				クラス	LNQR
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	無
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義&演習
到達目標	表計算技能検定2級レベルの習得および資格取得。社会人として必要なパソコンスキルの活用能力・応用力を習得する。					
使用テキスト	30時間でマスター Office2019					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	パソコンの活用		Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスネールの形式とマナー 添付ファイル付きで送信(写真やWord文書のPDFファイルを添付)			
2回	Excel基礎		表作成① 一般的な関数や計算式を使用して表作成の復習			
3回	Excel基礎		表作成② 一般的な関数や計算式を使用して表作成の復習 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)			
4回	Excel基礎		表作成③ 関数(IF・VLOOKUP関数など)			
5回	Excel応用		検定過去問題の練習①			
6回	Excel応用		検定過去問題の練習②			
7回	Excel応用		検定過去問題の練習③			
8回	Excel応用		検定過去問題の練習④			
9回	Excel応用		検定過去問題の練習⑤			
10回	Excel応用		検定過去問題の練習⑥			
11回	Excel学期内テスト		表計算技能処理検定 2級相当の模擬テスト			
12回	パソコン活用		Wordにてグリーティングカードやポスター作成			
13回	パソコン活用		Excelシートを使用したタイピング ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる			
14回	パソコン活用		Excelシートを使用したタイピング ExcelデータをWord文書で体裁よく仕上げる			
15回	パソコン活用		IBCポスター作成			

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道・エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	NQR
担当講師(フルネーム)	秋満陽子 平島千華 大西希久永				実務経験	無
授業概要(内容)	日常生活の様々な場面で使う語彙や定番の表現を学習し、学んだフレーズを繰り返し練習することで会話を高める。				授業形態	講義
到達目標	英語への抵抗感を払拭し、スムーズな意思疎通が出来るようになる。					
使用テキスト	Passport Plus					
成績評価方法	・期末試験(1回)(50%) 確認テスト(2回)(30%) 平常点(授業態度20%) * 平常点の基準は担当講師により異なります。 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit 11 You can take the Shinkansen	乗り物で移動する場面 運賃や所要時間など、航空機や鉄道を使って移動する場面で使用するフレーズを学ぶ				
2回	Unit 12 Don't forget your cameras!	前回の復習・確認問題 ツアーに添乗する場面 ツアーの添乗員として、ツアーの開始・終了時刻や集合場所など、基本的な案内表現を身に付ける				
3回	Unit 13 Where can I buy some souvenirs?	前回の復習・確認問題 外国人観光客に日本のお土産を提案する お土産店への道案内やお土産品の説明など、様々な案内ができるようになる				
4回	Unit 14 What would you like to eat?	前回の復習・確認問題 外国人観光客に日本食を提案・説明する 日本食に馴染みがない外国人観光客に、料理の説明をし、勧めることができるようになる				
5回	Unit 15 What a beautiful apartment!	前回の復習・確認問題 日本家屋の過ごし方やマナーを教える 外国人観光客に日本家屋の過ごし方やマナーを説明できるようになる				
6回	確認テスト①	確認テスト 主要フレーズの確認テスト(Unit11～Unit15)				
7回	Unit 16 You have to leave your shoes here	前回の復習・確認問題 観光地で使用するフレーズ 外国人観光客に観光地や観光名所にある案内板の説明や入館時の禁止事項など説明できるようになる				
8回	Unit 17 I agree with you	前回の復習・確認問題 会話中、相手の意見を肯定したり、否定したり、様々な返答やあいづちの仕方を学ぶ				
9回	Unit 18 Could I have your flight details?	前回の復習・確認問題 航空便やツアーの予約内容を説明する 旅程、人数、フライト番号など、旅行の詳細を説明できるようになる				
10回	Unit 19 There's a mistake on my bill	前回の復習・確認問題 会計の場面 レストランやホテルの会計時に使用するフレーズを学ぶ				
11回	Unit 20 Have a safe trip home!	前回の復習・確認問題 人を見送る場面で使用するフレーズ 別れの場面で使用する定番フレーズを学ぶ				
12回	確認テスト②	確認テスト 主要フレーズの確認テスト(Unit16～Unit20)				
13回	期末テスト①	Unit11～Unit20で学んだ主要フレーズの口述テスト				
14回	期末テスト②	Unit11～Unit20で学んだ主要フレーズの口述テスト				
15回	期末テスト③	Unit11～Unit20で学んだ主要フレーズの口述テスト 後期のまとめ				

対象学年	2・3年共通	学期	通年	学科	ホテルブライダル科・国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル英会話				クラス	ET
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝、日高郁子、松本範子				実務経験	無
授業概要(内容)	ホテルで使う英語の表現を学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	状況に応じて英語で接客が出来るようになる					
使用テキスト	Hotel & Hospitality English					
成績評価方法	・期末試験50% 会話テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	11. At breakfast	Saying where things are Offering food and drink Taking breakfast orders				
2回	12. At the bar	Taking orders at the bar Recommending something Taking payment				
3回	13. Complaints from guests at the bar	Dealing with complaints Apologizing for mistakes Explaining the bill				
4回	14. In the restaurant (1)	Welcoming diners Giving out menus Taking drinks orders				
5回	15. In the restaurant (2)	Taking food orders Explaining dishes Choosing drinks				
6回	16. In the restaurant (3)	Asking about dessert and coffee Bringing the bill Handling payment				
7回	17. Housekeeping	Briefing new staff Explaining hotel rules Answering questions				
8回	18. Housekeeping problems	Dealing with requests Solving problems Agreeing to come back later				
9回	19. Room service	Taking room service orders Agreeing delivery times Delivering room service				
10回	20. Guest service	Ordering things for guests Making appointment Checking information				
11回	21. In the business center	Explaining available service Providing equipment Providing information				
12回	22. Recommendations for places to eat	Making restaurant recommendations Comparing things				
13回	23. Checking out	Checking guests out Checking items on the bill Saying goodbye				
14回	24. Problems checking out	Correcting mistakes on the bill Apologizing Keeping guests happy				
15回	Speaking Test	Speaking Test Prep for final exam				

対象学年	1・3年共通	学期	後期のみ	学科	共通科	
科目名	韓国語				クラス	共通(1AZのぞく)
担当講師(フルネーム)	権京愛				実務経験	無
授業概要(内容)	教科書主体に文法を確実に身に付けさせ、毎回の授業には必ず演習を取り入れ、「読む、聞く、話す、書く」の4技能をまんべんなく学ばせる。				授業形態	講義
到達目標	将来仕事で活用できるように会話練習を通してコミュニケーション能力を身につけさせることを目標とする。					
使用テキスト	韓国語の世界へ「入門編」朝日出版					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文字の復習	既習のハングル文字の母音、子音、パッチムの仕組みをもう一度お復しする。 発音と読み書きの復習をする。 会話の練習をする。				
2回	漢数字と助数詞	何年、何月、何日、何分、何個など漢数字とともに使われる助数詞を覚える。 読み書きの練習をする。 助数詞を使って会話の練習をする。				
3回	位置表現(場所を尋ねる)	絵を見ながら場所を尋ねる表現を学ぶ。 位置を表す名詞を覚え、会話練習をする。 クラスメートと待ち合わせの場所を決めるなど会話の練習をする。				
4回	へヨ体の作り方Ⅰ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ① 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
5回	助詞	助詞をまとめて覚える。 例文を作りながら練習して覚える。 会話の練習をする。				
6回	復習と練習問題	問題を解きながら復習をする。 会話の練習をする。				
7回	へヨ体の作り方Ⅱ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ② 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
8回	指示詞	指示詞を覚え、物を探る表現を学ぶ。 「これはなんですか」など指示詞を使って会話練習をする。 教室にある物を利用し、名前を尋ねる会話練習をする。				
9回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 会話の練習をする。				
10回	へヨ体の作り方Ⅲ	うちとけた丁寧な言い方を学ぶ③ 韓国語の用言の活用を学び、へヨ体に直す練習をする。 会話の練習をする。				
11回	固有数詞	固有数詞を覚える。 固有数詞とともに使われる助数詞を学ぶ。 会話練習をする。				
12回	時を表す言葉	時を尋ねる表現を学ぶ。 「誕生日はいつですか」「今日は何月何日ですか？」など会話練習をする。				
13回	復習と練習問題	問題を解きながら、復習をする。 自己紹介のフレーズを覚え、韓国語で自己紹介の練習をする。				
14回	韓国文化に触れる	韓国映画を観て韓国文化に触れ、より楽しく韓国語が続けられるようにする。 映画のセリフを聞いて聞き取れる単語をメモしてみよう！ 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				
15回	まとめ	期末テストに備え、総まとめをする。 日本と韓国の文化の違いについて発表する。				

対象学年	1・3年共通	学期	通年	学科	全科＜ホテルブライダル・夜間除く＞		
科目名	中国語				クラス	KMTOPV	
担当講師(フルネーム)	青山祐子				実務経験	無	
授業概要(内容)	中国語の基礎的な発音・文法・単語を習得し、簡単な会話文について				授業形態	講義	
到達目標	中国語の音読、語彙の使い方、文の表現しながら、業務上で使うリスニング能力と会話能力を高めることを目標とする。						
使用テキスト	初めまして！中国語(白水社)						
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 ・期末試50%平常点50%					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	前期の復習		前期期末テストの答え合わせ				
2回	第8課 バス停で		24. 連動文 25. 前置詞”在”				
3回	トレーニング8		26. 時刻の言い方 27. ”是”の省略 ◆時を表わす語(2)				
4回	復習2 鈴木君の一日		1. 存在の”有”と所在の”在” 2. 実現・完了の”了” 3. 動詞述語文(2) 4. 前置詞の”在”				
5回	第9課 放課後に		28. 助動詞 ”会”・”能”・”可以”				
6回	トレーニング9		29. 前置詞 ”跟”と”给” 30. 主述述語文				
7回	第10課 卓球の中継を見ながら		31. 様態補語 32. 経験を表わす”过”				
8回	トレーニング10		33.比較を表わす”比” 34. 動詞 ”喜欢”				
9回	中国の映画を鑑賞しよう！前篇		※ 習った単語を探そう				
10回	中国の映画を鑑賞しよう！後篇		※ 習った単語を探そう				
11回	第11課 ディズニーランドで待ち合わせ		35. 進行を表わす”在”				
12回	トレーニング11		36. 方向補語 37. 選択疑問文				
13回	第12課 カフェテラスで		38. ”是～的”の文 39. 結果補語				
14回	トレーニング12		40. 時間の長さ・動作の回数を表わす語の位置 ◆ 時間の長さを表わす語				
15回	期末テストの対策		今まで勉強した内容についてのおさらい				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	鉄道科,エアライン科		
科目名	手話				クラス	VN	
担当講師(フルネーム)	鶴田由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	テキストを使って手話での実技 聴覚障害者への理解と知識を学ぶ				授業形態	講義&演習	
到達目標	聴覚障害者への理解と手話での応対やトラブル解決						
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう						
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	一日、一か月、一年のことを話しましょう		第11. 12講座 時の表し方の表現				
2回	パーティのことを話しましょう		第13講座 疑問詞の表現と答え方				
3回	旅行のことを話しましょう		第14講座 旅行をテーマに疑問詞を使って表現				
4回	病院のことを話しましょう		第15講座 病気に関する表現				
5回	接客手話		お客様との応対時の手話 聴覚に障害があるお客様との応対法				
6回	職場での表現やコミュニケーション方法		第17講座 職場に関する表現やコミュニケーションについて				
7回	表情豊かに 具体的に		第19. 20講座 動きや様子、形をイメージで				
8回	具体的表現Ⅱ		第21、22講座 違いを考えて表現				
9回	主語をわかりやすく		第23、24講座 位置や方向の工夫				
10回	主語をわかりやすく		第25、26講座 複数での会話、役割の切り替え				
11回	主語をわかりやすく		第27、28講座 指さしの表現				
12回	空間の利用		第29、30講座 空間での立場と位置関係				
13回	両手を使って		第31、32講座 指の代理的表現				
14回	繰り返しの表現。意味にあった手話		第33、34講座 日本語と手話の違い				
15回	まとめ		手話の総復習				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科・夜間総合観光科	
科目名	観光地理				クラス	QRY
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	国内観光地理サブノート JTB					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	九州の概要説明		九州各県の経済、特徴について説明			
2回	福岡・佐賀県(観光、空港情報)		九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
3回	長崎・熊本県(観光、空港情報)		南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
4回	大分・宮崎県(観光、空港情報)		日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
5回	鹿児島・沖縄県(観光、空港情報)		幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
6回	山口・広島県(観光、空港情報)		日本三景宮島と原爆ドームについて 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
7回	東京都(観光、空港情報)		首都東京の経済力と小笠原諸島について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
8回	大阪・京都府(観光、空港情報)		食い倒れのまち大阪について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
9回	愛知県(観光、空港情報)		モノづくりのまち中部地方の観光について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
10回	静岡県・長野県(観光、空港情報)		世界遺産富士山について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
11回	石川・新潟県(観光、空港情報)		加賀百万石の伝統文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
12回	福島・宮城県(観光、空港情報)		会津若松の白虎隊について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
13回	青森・秋田県(観光、空港情報)		ねぶた祭りとながね祭りの伝統について 県白地図、空港地図、観光文章問題 地元紹介(観光地、食べ物、県民性、地元の方しかわからないこと) スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	北海道(観光、空港情報)		蝦夷地の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
15回	まとめ		まとめ 期末試験について			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	トラベル・鉄道科	
科目名	コミュニケーション学				クラス	LN
担当講師(フルネーム)	森田房子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	エアライン業界での接客業務、指導の経験からコミュニケーションの大切さを講義演習を取り入れ、社会人になる前にコミュニケーションの大切さに気付くようになる				授業形態	講義 & 演習
到達目標	1. 自分の意見をしっかり言えること 2. 人の話をよく聞ける社会人になること 3. 日常のコミュニケーションの大切さに気付く					
使用テキスト	「コミュニケーション技法」ウィネット・プリント教材・ビデオ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	後期授業の進め方、成績評価について説明 コミュニケーションとは？自己紹介				
2回	挨拶の基本を知る	コミュニケーションの基本は挨拶 実技:プラスαの挨拶				
3回	きれいな発声・発音	言語を効果的に使用する 実技:発声練習				
4回	正しい日本語で話す	自分の使用言語の点検				
5回	話す時の心構え	状況や場面を考えて話す				
6回	効果的な話し方	話し方の基本を身につける				
7回	効果的な表現力	効果的に話す(話しの構成・技術を取り入れる)				
8回	効果的な表現力	効果的に話す(目線の配り方に配慮する)				
9回	効果的な表現力	効果的に話す(ジェスチャーを取り入れる)				
10回	聞くことの重要性	人の話を聴かない態度 実技				
11回	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける 実技				
12回	聞くことの重要性	傾聴の態度を身につける 実技				
13回	職場でのコミュニケーション	事例研究				
14回	インタビュー	相手のことを知る 実技				
15回	まとめ	ふりかえり				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル・観光・鉄道科	
科目名	社会情勢研究				クラス	ELN
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	・世の中で話題になっているニュースを新聞を用いて読み解く				授業形態	講義
到達目標	・ニュースになっている話題について自分の意見を述べられるようになる					
使用テキスト	・教師が作成するオリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ニュースの発信源を知る		・授業の進め方、評価方法について理解する ・新聞を読む意義を理解する ・日本および主要国の新聞社、通信社を知る			
2回	新聞の構成を知る		・新聞の構成を知る ・新聞から必要な情報を探し出せるようになる			
3回	新聞研究①		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
4回	新聞研究②		・記事をジャンル分けできるようになる ・記事の要旨を「5W1H」を意識して発表できるようになる			
5回	新聞研究③		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
6回	新聞研究④		・難解な語彙を調べながら、記事を読み進めることができる ・記事の要旨とともに、自分の意見も発表できるようになる			
7回	新聞研究⑤		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
8回	新聞研究⑥		・記事の背景を理解しながら、記事を読み進めることができる ・発表内容を聞き、要旨を理解することができる			
9回	新聞研究⑦		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
10回	新聞研究⑧		・興味の幅を広げて、記事を読むことができる ・記事の要旨を図・表・グラフ・絵などを使って発表できるようになる			
11回	新聞研究⑨		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
12回	新聞研究⑩		・グループで持ち寄った記事をまとめて新聞を作る			
13回	新聞研究⑪		・社会人として知っておくべき時事問題について解説を聞き、練習問題に取り組む ・新聞記事の中から興味がある記事を見つけ、要旨をまとめる			
14回	新聞研究⑫		・グループで持ち寄った記事をまとめて新聞を作る ・グループで作成した新聞について発表をする			
15回	後期期末試験		・授業内で学んだ内容を理解できているか筆記試験で確認する			

ホテル・ブライダル

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル 科		
科目名	レストラン & バンケットサービス				クラス	A	
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける				授業形態	講義 & 演習	
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位 数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習				
2回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い				
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習				
4回	バンケットサービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス				
5回	レストランの値段		原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ				
6回	レストランマーケティング①		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業に必要な消費者心理を学ぶ				
7回	レストランマーケティング②		POP作り 作品プレゼンテーション				
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 お出迎え～食事のサービス～お見送り				
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ				
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち				
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成				
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影				
13回	カフェ業界の戦略		ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み				
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング				
15回	期末試験		期末試験 制限時間内にロールプレイング				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名	ソムリエ&バーテンダー				クラス	A	
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうこと レストラン・バー業務に活かせるようにすること				授業形態	講義&演習	
到達目標	バー、ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得						
使用テキスト	ホテルテキスト料飲Ⅱ　バーラウンジ編						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位 数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	シラバス説明		成績評価の説明と後期授業を行うにあたり注意点 前期期末試験答案返却、答案合わせ				
2回	酒の基礎知識		酒の歴史について				
3回	酒の基礎知識		醸造酒、蒸留酒、混成酒について				
4回	ウイスキーについて		ウイスキー歴史、生産国、原料、その他				
5回	ジン、ウォッカについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
6回	テキーラ、ラムについて		スピリッツについて、生産国、原料、生産方法について				
7回	ブランデーについて		ブランディーについて、生産国、原料、生産方法について				
8回	日本酒と焼酎について		日本の酒類について				
9回	カクテルの基礎		カクテル取り扱い器具について 動画で学ぶカクテル世界手順				
10回	カクテルの基礎知識		カクテル取り扱い器具について 作成へ向けて実技				
11回	カクテル実技		作成へ向けて実技				
12回	カクテル実技		知識の総まとめ				
13回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成				
14回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成				
15回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成				

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	フロントサービス				クラス	A
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	宿泊部門(クローク、ハウスキーピング)の業務内容、及び他部門との連帯作業を学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	宿泊部門の日常業務の理解と技術取得、並びにサービスについて考える					
使用テキスト	「宿泊業務の基礎」日本ホテル教育センター発行					
成績評価方法	・授業内筆記テスト40%、グループワーク40%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション クローク		後期の授業内容 クローク業務について			
2回	ハウスキーピング		組織体系 客室のタイプとレイアウト			
3回	ハウスキーピング		客室およびバスルームの設備・家具・備品			
4回	ハウスキーピング		ハウスキーピング業務の流れ			
5回	ハウスキーピング		ハウスキーピング業務の流れの続き			
6回	ハウスキーピング		ベッドメイキングとターンダウン			
7回	ハウスキーピング		実技			
8回	ハウスキーピング		実技 ルーム・インスペクション			
9回	ハウスキーピング		ルーム・コントロール ルーム・キー ハウスキーピングにおける苦情の原因と対処方法			
10回	テスト		ハウスキーピングテスト			
11回	ハウスキーピング		新しい客室内サービス パトラーサービス ルームアメニティと環境問題			
12回	ハウスキーピング		プレゼンテーション作成			
13回	ハウスキーピング		プレゼンテーション作成			
14回	ハウスキーピング		プレゼンテーション発表			
15回	ハウスキーピング		プレゼンテーション発表			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ホテル総論				クラス	A
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	講義と過去問題を中心に、宿泊・料飲等、ホテルの各部門にわたっての総合的な知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験(初級)合格を目指す					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級過去問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・ホテル実務技能認定試験について ・授業の進め方、評価方法 ・接遇分野演習			
2回	ホテル実務技能認定試験 問題集		・接遇分野演習 ・解答 ・解説			
3回	料飲分野の知識①		・フルコースの成り立ちと各食材について学ぶ			
4回	料飲分野の知識②		・飲料、その他の知識について学ぶ			
5回	ホテル実務技能認定試験 問題集		・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説			
6回	ホテル実務技能認定試験 問題集		・料飲分野演習問題 ・解答 ・解説			
7回	ホテル実務技能認定試験 問題集		・語学分野演習問題 ・解答 ・解説			
8回	ホテル実務技能認定試験 問題集		・その他分野演習問題 ・解答 ・解説			
9回	ホテル実務技能認定試験 過去問題		・過去問題 ・解答、解説、復習			
10回	ホテル実務技能認定試験 過去問題		・過去問題 ・解答、解説、復習			
11回	ホテル実務技能認定試験 過去問題		・過去問題 ・解答、解説、復習			
12回	ホテル実務技能認定試験 過去問題		・過去問題 ・解答、解説、復習			
13回	ホテル実務技能認定試験 過去問題		・過去問題 ・解答、解説、復習			
14回	テスト前復習		・過去問題 ・解答、解説、復習			
15回	試験の振り返りと 期末テストについて		・ホテル実務技能認定試験振り返り ・期末試験について			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	面接対策				クラス	A1 A2
担当講師(フルネーム)	宮前訓子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	対面面接において必要なマナーとオンライン面接における注意点と対応策 自己分析を通して自己PR部分を発見し効果的に伝える方法を学ぶ				授業形態	実技
到達目標	一時面接を突破するための第一印象を磨く。オンライン面接における基礎知識を習得					
使用テキスト	使用しません (毎回プリントを配布しますので、パーファイルをご用意ください)					
成績評価方法	・期末試験60% 提出物10% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		面接の本質を理解する 第一印象の重要性について自覚する 実技・・・お辞儀の訓練			
2回	自己分析①		自己分析のやり方を理解する 私のパーソナリティ(プリント)を使用して自己分析する 実技・・・挨拶			
3回	自己分析②		自己分析のやり方を理解する 自分史作成 実技・・・人前で話すことに慣れる			
4回	自己分析③		自己分析のやり方を理解する 自分史発表 実技・・・人前で話すことに慣れる			
5回	自己PR①		自己PRの方法を学ぶ 他人から見た自分の長所・短所 実技・・・人前で話すことに慣れる			
6回	自己PR②		自己PRの方法を学ぶ 自分の長所をアピールする 実技・・・人前で話すことに慣れる			
7回	リモート面接		オンライン面接の基本と注意点を学ぶ (スマホを持参してください) 自己紹介で自分の映りをチェックする 実技・・・オンライン面接を体験する			
8回	面接中間試験		これまで習得したことの到達度をチェック			
9回	グループディスカッション①		グループディスカッションのやり方とマナーの理解 実技・・・簡単なテーマをディスカッションする			
10回	グループディスカッション②		グループディスカッションのやり方とマナーの理解 実技・・・他者のディスカッションを見る			
11回	質疑応答①		基本の質問に答える 実技・・・面接な形で答える			
12回	質疑応答②		いろいろな質問に答える 実技・・・面接官を体験する			
13回	質疑応答③		いろいろな質問に答える 実技・・・面接官を体験する			
14回	期末試験		面接の実技試験			
15回	期末試験		面接の実技試験			

対象学年	1年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	就職活動講座				クラス	A
担当講師(フルネーム)	田中友加利				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験のための対策 面接練習				授業形態	講義
到達目標	・志望する企業の絞り込みを行い、内定へと導く。					
使用テキスト	・「専門学校生のための就職内定基本テキスト」・就職ノート					
成績評価方法	・提出物80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション・自己PR		・後期授業内容の説明			
2回	自己PR作成		・長所と短所を考えよう			
3回	企業研究		・企業研究の重要性 ・情報収集の必要性とその収集方法ができるようになる。			
4回	企業研究		・企業情報研究の進め方			
5回	企業研究		・就職室の使用方法			
6回	志望動機の作り方		・モデルケースの志望動機を作ってみる。			
7回	志望動機の作り方		・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。			
8回	志望動機の作り方		・さまざまなエントリーシートを作成			
9回	書類作成		・個人別の添削で個々人が持つ問題点がわかるようになる。			
10回	書類作成		・受験する企業を絞り込み、その企業に合わせた対策を考えることで自信につなげていく。 ・志望する企業の研究と自己PR、志望動機の作成			
11回	面接対策		・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント			
12回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
13回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
14回	面接対策		・よく出る質問の答え方を自身で考え、面接練習を行う。			
15回	完成品のチェック		・後期提出物のチェック			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ブライダルコスチューム				クラス	A
担当講師(フルネーム)	島崎満美子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテル、専門式場、ゲストハウス等で働く上での基本的なブライダル衣裳の知識を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	就職して現場ですぐに役立つことを学ぶ					
使用テキスト	別紙参照					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	衣裳店のビジネス	○衣裳の歴史等 ○役割とビジネス(営業形態) ○成約から納品までのプロセス				
2回	和装衣裳	○和装衣裳の移り変わり ○男性衣裳 ○女性衣裳 ○和装に必要な小物 ○列席者 留袖について				
3回	洋装衣裳	○洋装衣裳の移り変わり ○会場・目的別によるデザイン ○男性衣裳 ○女性衣裳 ○プロトコール(ドレスコード) (ドレスライン、ネックライン、スリーブ(デザイン)(ブーケ&ブートニアについて)				
4回	グループワーク	グループ別に会場(式場・披露宴会場)を選びそこに似合った衣裳の提案。(コーディネート) トレンド研究 4名一組。※1組だけ5名 合計11グループ				
5回	発表会	4回目の内容を1グループ 5分程度で発表				
6回	海外の挙式スタイル	○伝統的な言い伝え(サムシングフォーやシックスペンス・コイン) ○キリスト教式の伝統的な入場と退場 ○ユダヤ教式の入場と退場 ○ユニティー・キャンドル				
7回	衣裳試着の実践①	○まずは衣裳にふれてお互い着せれるようにペアを組んで行います。 ○タキシード、ドレスの試着 ○小物の使い方				
8回	衣裳試着の実践②	人数が多いため、2回にわけて行います。 ※衣裳移動が必要				
9回	接客ロールプレイング①	7. 8回で学んだフィッティングを含め、新規接客のカウンセリングからクロージングまで 一人一人行っていただきます。 ※テスト				
10回	接客ロールプレイング②	7. 8回で学んだフィッティングを含め、新規接客のカウンセリングからクロージングまで 一人一人行っていただきます。 ※テスト				
11回	接客ロールプレイング③	7. 8回で学んだフィッティングを含め、新規接客のカウンセリングからクロージングまで 一人一人行っていただきます。 ※テスト				
12回	会場コーディネート	○テーマウエディングと会場コーディネートの考え方 ○会場コーディネートの要素 ○会場コーディネートの種類と場所				
13回	テーブルコーディネート	○テーブルプラン ○ショープレート ○テーブルクロスとナプキン ○センターピース(テーブル装花)(装花の色と花材)(デザイン)(花言葉) ○テーブル札				
14回	会場、テーブル装飾	○ウエルカムスペース ○ペーパーアイテム ○婚禮ドリンク ○ウエディングケーキの種類 ○婚禮料理(フランス料理、日本料理、折衷料理、イタリア料理、中華料理)				
15回	ウエディング当日の仕事	○司会・音楽・照明・映像 ○披露宴の演出				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ウェディングフォト演習				クラス	A
担当講師(フルネーム)	勝倉勝士				実務経験	無
授業概要(内容)	カメラ、写真についての基礎知識を学ぶ 実際に撮影した写真を使つてのリーフレット制作				授業形態	講義
到達目標	ブライダルフォト、広告写真など目的に応じた写真の撮り方、考え方、写真の使い方ができるようになる					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・最終提出課題70% 出席30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	カメラ、写真について①		写真の基礎知識 ブライダルフォトについて 肖像権、著作権について			
2回	カメラ、写真について②		カメラの基礎知識 カメラの種類、レンズの種類などについて			
3回	写真の撮り方①		人物の撮り方			
4回	写真の撮り方②		テーブルディスプレイの撮り方			
5回	写真の撮り方③		料理の撮り方			
6回	写真の撮り方④		客室、設備の撮り方			
7回	デザインを考える①		最終提出物になる課題について 各グループ参考資料収集			
8回	デザインを考える②		課題のデザインを考える(ラフスケッチ制作)			
9回	演習①		結婚式場 施設・見学 撮影(2コマ使う) クラス全体			
10回	演習②-1		ホテル 施設・見学 撮影(2コマ使う) クラスの半分			
11回	演習②-2		ホテル 施設・見学 撮影(2コマ使う) クラスの半分			
12回	課題制作①		写真のセレクト・デザイン リーフレット制作			
13回	課題制作②		写真のセレクト・デザイン リーフレット制作			
14回	課題プレゼン①		各グループによる発表①			
15回	課題プレゼン②		各グループによる発表②			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテルブライダル科	
科目名	ブライダルセールス				クラス	A
担当講師(フルネーム)	鷹取恭子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・ブライダルプランナーになる為の基礎知識について ・プランナーとしての心得や基本接客トーク、打合せの流れについて				授業形態	講義
到達目標	・ブライダルプランナーとしてのウェディングシステムを使用した接客スキルの習得					
使用テキスト	・RWA(システム)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・パソコンID セットアップ方法 ・後期授業スケジュールの説明とシステム活用方法の説明			
2回	ブライダルのABC		ブライダル用語とは ・挙式スタイルの分類(RWA-A) ・披露宴スタイルと一般的な流れ(RWA-B)			
3回	日本におけるブライダル 外国におけるブライダル		・ブライダルの歴史(日本・外国) ・ブライダルに関連した日本・外国の習慣・しきたり(RWA-A・B)			
4回	ブライダルにおける接客 Vol. 1		・挙式スタイルの提案(RWA-A)			
5回	ブライダルにおける接客 Vol. 2		・披露宴スタイルの提案(RWA-A)			
6回	ブライダルアイテム1		・料理 RWA-A ・装花			
7回	ブライダルアイテム2		・衣装 RWA-A ・美容 ・演出・写真			
8回	ブライダルサービス実務 Vol. 1		・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (資料請求対応～フェア内容・会場案内)			
9回	ブライダルサービス実務 Vol. 2		・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (仮予約・本予約・規約説明・申込み手続き)			
10回	ブライダルサービス実務 Vol. 3		・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～アイテム紹介)			
11回	ブライダルサービス実務 Vol. 4		・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (婚礼打合せ～発注・手配・最終確認)			
12回	ブライダルサービス実務 Vol. 4		・ブライダルサービス実務の一般的な流れ RWA-A・B (挙式当日～挙式以降の業務)			
13回	ブライダルサービス実務 まとめ		・ブライダル用語の理解 ・敬語の使い分けの理解			
14回	ブライダルサービス実務 に必要な接客マナー Vol. 2		・お客様対応の留意点 ・クレーム対応とコンプレの実例			
15回	まとめ		・14回の振り返り ・質疑応答(これまでの講義で気になったところや不安なところ) ・プランナーを目指す方へ伝えたいこと(講師より)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ペン字				クラス	A
担当講師(フルネーム)	坂口 順子				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	文字の組み立て方を学びながら色々な実用書に役立てる					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	・提出物70% ・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	美文字になるためのポイント①		文字の基本を学ぶ① 筆記具の種類、姿勢、ペンの持ち方 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ①			
2回	美文字になるためのポイント②		文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②			
3回	美文字になるためのポイント③		文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③			
4回	美文字になるためのポイント④		文字の基本を学ぶ④ 文字(片仮名・平仮名)のバランスの取り方を学ぶ			
5回	履歴書の書き方①		文字を書くための基本 読みやすい履歴書を書くためのバランスと書式を学ぶ～横書きの書式 履歴書に出てくる漢字の書き取り練習と名前の練習			
6回	履歴書の書き方②		履歴書まとめ①			
7回	履歴書の書き方③		履歴書まとめ② 提出			
8回	実用書を学ぶ①		はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
9回	実用書を学ぶ②		封筒(縦長 長形4号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①			
10回	実用書を学ぶ③		封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—差出人(自分の住所・氏名の練習) まとめ			
11回	実用書を学ぶ④		手紙の書き方 内定後のお礼状の書き方—縦書きの書式			
12回	筆ペンで実用書を学ぶ①		筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス			
13回	筆ペンで実用書を学ぶ②		慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方			
14回	筆ペンで実用書を学ぶ③		慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方			
15回	筆ペンで実用書を学ぶ④		慶弔の表書き③ まとめ 色々な実用書を学ぶ 理論問題(プリント)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	英語面接対策				クラス	A
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	英語面接の基礎知識、面接を成功させるためのテクニックを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	実践で使える自分用のシュミレーションパターンを作成、暗記する					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	課題 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	面接を成功させるためのテクニック		挨拶の仕方、丁寧な言葉づかい、相づち等、状況に応じた意思表示の仕方を英語でできるようになる			
2回	趣味や余暇で「自分らしさ」をうまくだそう		趣味や余暇の過ごし方について、面接に効果的なモデルパターンを知る 自分の長所や短所 学校生活、成績、英語力			
3回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう		ホテルの仕事内容や、出来事を英語で説明できるようになる 実習体験			
4回	仕事(バイト、実習)の話題を膨らまそう		志望動機 将来の夢			

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	フロント・オフィス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルシステムを実際に使い、フロント業務についての基本知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	予約からチェックアウトまでの流れを理解し接客スキルを磨く					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊！フロントオフィス編					
成績評価方法	・期末試験50%平常点10%システム実技40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期復習	前期復習 チェックイン				
2回	レセプション業務	チェックイン・ロールプレー(評価)				
3回	レセプション業務	チェックアウト業務 ナイト業務 デイリー・ルーム・レポート				
4回	レセプション業務	デイリー・ルーム・レポート				
5回	フロントキャッシャー業務	ホテル・ビル サービス料と税金 宿泊料金計算				
6回	フロントキャッシャー業務	宿泊料金計算 外貨両替				
7回	フロントキャッシャー業務	精算手順と方法①				
8回	フロントキャッシャー業務	精算手順と方法②				
9回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー				
10回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー				
11回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー(評価)				
12回	フロントキャッシャー業務	精算業務ロールプレー(評価)				
13回	インフォメーション業務	インフォメーションの種類と手順 郵便物と電報 電話交換				
14回	防犯業務	防犯管理 遺失物管理				
15回	後期まとめ	期末試験の範囲と内容確認 後期全体の復習				

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	web広告戦略				クラス	E
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	Excelを使って広告スケジュールの作り方を学んだ後、webサイトを作っていきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の復習と今期の内容確認		Word、PowerPoint、動画の復習 webディレクターという仕事の紹介			
2回	Excelで広告スケジュール作成①		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。			
3回	Excelで広告スケジュール作成②		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。			
4回	バナーについて①		canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみよう。			
5回	バナーについて②		canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成			
6回	Webサイトを作ってみよう①		ペライチへ登録 webサイト作成 課題①			
7回	Webサイトを作ってみよう②		webサイト作成 課題②			
8回	Webサイトを作ってみよう③		webサイト作成 課題③			
9回	Webサイトを作ってみよう④		webサイト作成 課題④			
10回	Webサイトを作ってみよう⑤		seo対策について 公開する手順説明			
11回	Webサイトの更新①		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①			
12回	Webサイトの更新②		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題②			
13回	ブログについて学習①		ブログの作り方 WordPressについて 自分のブログ作成			
14回	ブログについて学習②		自分のブログ作成 広告について			
15回	振り返り		今まで学習した内容を復習します。			

対象学年	2年	学期	通年	学科	ホテルブライダル科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	E
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、ホテルで使う語彙や会話表現を学び オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義 & 演習
到達目標	学んだ英語をホテルでの接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング、予習・復習プリント					
成績評価方法	・オンラインレッスン評価40% 小テスト40% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話		提案(1)			
2回	絵で見てパッと英会話		提案(2)			
3回	おもてなし英語		トラブル・クレーム対応			
4回	絵で見てパッと英会話		スモールトーク(1)			
5回	絵で見てパッと英会話		スモールトーク(2)			
6回	おもてなし英語		レストラン: 挨拶・席への案内			
7回	絵で見てパッと英会話		観光の計画(1)			
8回	絵で見てパッと英会話		観光の計画(2)			
9回	おもてなし英語		レストラン: 注文をとる①			
10回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する(1)			
11回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する(2)			
12回	おもてなし英語		レストラン: 注文をとる②			
13回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する(3)			
14回	絵で見てパッと英会話		日本を案内する(4)			
15回	おもてなし英語		レストラン: 支払い			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科		
科目名	ホテルマネジメント				クラス	E	
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	マネジメント業務の基本的知識を学ぶ 業務上必要な各種管理部門について学ぶ				授業形態	講義	
到達目標	マネジメントレベルの判断要素を到達とする						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	期末試験80%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		授業の目的と進め方、評価方法について説明する ヒエラルキー理論				
2回	世間のコスト		店舗の心理学 儲かる店の法則				
3回	防災防犯管理		防災、防犯管理				
4回	労働契約		労働とは？契約とは？社員とは？				
5回	サラリーとは		給料と休日についての正しい知識				
6回	ホテルの性格		タイプ別ホテルの性格について				
7回	開業手順		都市開発に連動したホテル開業について				
8回	メニュープランニング		売れるメニュー分析				
9回	実施計画		面白い構造ホテルと販売促進				
10回	P&L		損益計算書分析				
11回	販売促進管理		実線的な販売促進について				
12回	顧客管理		顧客の付け方、持て成し方				
13回	人事評価		人事評価、開発、イベントについて				
14回	店舗の構造		よい会社とよい店舗構造について				
15回	まとめ		後期授業の総まとめ				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ユニバーサルサービス				クラス	E
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神・言語障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神・言語障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	ホテル・ブライダル科	
科目名	ペン字				クラス	E
担当講師(フルネーム)	塩塚輝美				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び、様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義 & 演習
到達目標	実用ペン字・筆ペンの指導を通して社会人としての教養を身につける。					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下敷き・ペン2種類・筆ペン					
成績評価方法	・提出物70% ・小テスト ・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	美文字になるためのポイント①	文字の基本を学ぶ① 文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 自分の名前～配字配列～				
2回	美文字になるためのポイント②	文字の基本を学ぶ② 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ②				
3回	美文字になるためのポイント③	文字の基本を学ぶ③ 文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③				
4回	美文字になるためのポイント④	文字の基本を学ぶ③ 文字(片仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
5回	美文字になるためのポイント⑤	文字の基本を学ぶ④ 文字(平仮名)のバランスの取り方を学ぶ				
6回	美文字になるためのポイント⑥	漢字、平仮名、片仮名交じり文章のまとめ方 横書きの書き方と特徴 書き取り				
7回	美文字になるためのポイント⑦	漢字、平仮名、片仮名交じり文章のまとめ方 縦書きの書き方と特徴 書き取り ～まとめ(自分の名前まで)				
8回	実用書を学ぶ①	はがきの表書き～配字(書式)とバランスの取り方を学ぶ 封筒の書き方(縦長 長形4号)個人・企業宛の書き分け①				
9回	実用書を学ぶ②	封筒の書き方(縦長 長形4号)個人・企業宛の書き分け② 封筒の書き方(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け①				
10回	実用書を学ぶ③	封筒の書き方(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—個人・企業宛の書き分け② 封筒(A4が入る封筒 角形2号)の書き方—差出人(自分の住所・氏名の練習) ～まとめ				
11回	筆ペンで実用書を学ぶ①	筆ペンの特徴と書き方 筆ペンで自分の名前の練習(楷書・行書) 芳名帳の書き方～書式とバランス				
12回	筆ペンで実用書を学ぶ②	慶弔の表書き① 「御祝」「寿」の練習と熨斗封筒の書き方				
13回	筆ペンで実用書を学ぶ③	慶弔の表書き② 「御仏前」「御霊前」の練習と不祝儀袋の書き方				
14回	筆ペンで実用書を学ぶ④	慶弔の表書き③ まとめ～理論問題(プリント)				
15回	筆ペンで実用書を学ぶ⑤	色々な実用書を学ぶ				

観光・鉄道

* 共通する科目は、観光にあります。

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	アクセス国内線				クラス	K
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内線予約発券全般に加え、運賃検索や変更後の交換発行と払戻操作も学ぶ。 国内ツアー予約「旅JAL」を習得する。				授業形態	講義&演習
到達目標	アクセスオペレーションスペシャリスト検定 国内2級(11月実施)に全員で合格する。					
使用テキスト	2020JAL国内線予約発券×オペレーションスキル 2020JALパック国内線ツアーシステム旅JAL 国内早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	復習	最安値運賃予約(分割・TST再登録と発券)、身体障害者割引予約(予約と発券まで)のPNR作成を行う エラーメッセージを見直す(テキストにて内容を確認する) 幼児(無料・有料)と小児の入力のおさらいを行う				
2回	その他の予約方法	便指定予約の入力を学ぶ オープンセグメントの意味を理解し、入力方法を学ぶ キャンセル待ちの予約方法を習得する				
3回	乗継割引運賃	優待割引運賃(株主優待割引運賃・代理店報償優待)の概要について学ぶ 乗継ぎ割引運賃の概要を学ぶ				
4回	乗継割引運賃	乗継ぎ割引運賃入力方法を習得して、PNRを作成する 乗り継ぎ便の一連の予約と発券まで行う				
5回	イレギュラリティー	イレギュラー時の、航空便の取り扱い概要を学ぶ イレギュラー時の航空便変更や取消について学ぶ				
6回	セールスレポート	マイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
7回	検定対策	「国内2級」 検定受検にあたっての心構えを学ぶ 様々な運賃で、PNR作成を行う				
8回	検定対策	「国内2級」 国内2級過去問題の課題提出と添削 国内2級の筆記対策を行う				
9回	取消と払戻	払戻手順と操作方法を学ぶ(PNRからの払戻と発券ファイルからの払戻を行う)				
10回	変更と交換発行	JALマイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
11回	変更と交換発行	便の変更と交換発行の手順を学ぶ(差額の返金や追徴の場合を含む)				
12回	旅JAL	旅JAL操作にあたっての注意事項と基礎知識(発売・締め・代金・発券期限・取消料など)を学ぶ				
13回	旅JAL	旅JAL・定型コースの予約を行う(フライト・ホテル予約や座席指定)				
14回	旅JAL	旅JAL・組み立てコースの予約を行う(オプション・レンタカー・幼児添い寝など)				
15回	期末試験	総復習(予約作成～発券～変更・取消～交換発行や払戻まで) 後期期末試験(検定国内準1級の内容に準ずる)				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	ツアープランニング				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内旅行のプランニング(3種類)・添乗・企画実習のプランニング・プレゼンテーション				授業形態	講義
到達目標	国内旅行のプランニングの目的、見積もり、行程表の基本ルールを習得する。2月実施のプランニング実習に向け、課題作成・プレゼンテーションが出来るようになる。					
使用テキスト	必要に応じて、国内観光資源・旅に出たくなる地図日本・JR時刻表・指定パンフレット					
成績評価方法	課題A60%(①JR九州旅行/②AIR沖縄旅行/③AIR東京旅行) + 課題B20%(添乗・企画実習) + 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方・評価方法について説明 ・ツアープランニングとは何か、実際に旅行会社ではどのような仕事をしているのかを学ぶ ・国内旅行(個人手配)行程表のプランニング方法を練習問題(関西)を穴埋め、資料を使いながら学ぶ			
2回	JR旅行①		・JRを利用した九州旅行(1泊2日)(鹿児島か長崎を選ぶ)のプランニング(お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ/観光スポットは必ず入れる事)			
3回	JR旅行②		・前回の続き			
4回	JR旅行③		・前回の続き - 時間内に完成させ、提出しましょう。			
5回	AIR旅行(沖縄)①		・リゾート(沖縄本島)で、レンタカーを利用した個人旅行をプランニング(お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ/観光スポットは必ず入れる事)			
6回	AIR旅行(沖縄)②		・前回の続き			
7回	AIR旅行(沖縄)③		・前回の続き - 時間内に完成させ、提出しましょう。			
8回	団体バス旅行①		・団体旅行のプランニング方法を習得する(所要時間の計算方法など) ・グループ分けをし、2月の添乗・企画実習で行く日帰り旅行のプランをプランニングしよう ・大まかなプランニングが終わったら、食事場所・観光スポットの予算を考えよう			
9回	団体バス旅行②		・前回の続き			
10回	団体バス旅行③		・前回の続き			
11回	団体バス旅行④		・プレゼンテーションでの役割や、選んでいただけるような言い回しを考えよう ・プレゼンテーションの練習をしよう			
12回	団体バス旅行⑤		・グループ毎にプランニングしたツアーをプレゼンテーションしよう ・No.1を投票し、2月の実習の行き先を決定しよう。			
13回	AIR旅行(東京)①		・東京観光+ディズニーリゾートで、国内ツアーパンフレットを参考に個人旅行をプランニング(お土産・宿泊施設の特徴・人気グルメ/観光スポットは必ず入れる事)			
14回	AIR旅行(東京)②		・前回の続き			
15回	AIR旅行(東京)③		・前回の続き - 時間内に完成させ、提出しましょう。			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	国内観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ 検定試験にチャレンジ				授業形態	講義
到達目標	国内の観光資源全般の知識を増やし、12月実施の国内・旅行地理検定(中級)の合格を目指す					
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)(必要に応じて講師より指示)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40%(小テスト・ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	広島県・岡山県		広島県・岡山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 広島県・岡山県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ			
2回	島根県・鳥取県		島根県・鳥取県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 島根県・鳥取県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (中国 小テスト実施)			
3回	徳島県・香川県		徳島県・香川県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 徳島県・鳥取県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ			
4回	愛媛県・高知県		愛媛県・高知県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 愛媛県・高知県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (四国 小テスト実施)			
5回	兵庫県		兵庫県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 兵庫県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ			
6回	滋賀県・和歌山県		滋賀県・和歌山県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 滋賀県・和歌山県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (関西 小テスト実施)			
7回	長野県		長野県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 長野県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ			
8回	地理検過去問チャレンジⅠ		第47回・旧国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点			
9回	地理検過去問チャレンジⅡ		第48回・旧国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点			
10回	地理検過去問チャレンジⅢ		第49回・旧国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点			
11回	地理検過去問チャレンジⅣ		第50回・旧国内3級 過去問 過去問(45分)、自己採点			
12回	三重県・静岡県		三重県・静岡県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 三重県・静岡県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ			
13回	愛知県・岐阜県		愛知県・岐阜県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 愛知県・岐阜県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (東北①小テスト 実施)			
14回	山梨県		山梨県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山梨県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ 世界遺産・富士山について学ぶ			
15回	新潟県		新潟県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 新潟県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (甲信越 小テスト実施)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	K
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	海外旅行の企画・販売・添乗のために必要な海外地理の基礎知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え、特徴を述べることができる					
使用テキスト	海外観光資源、海外観光地理サブノート、旅に出たくなる地図(世界)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	英国(1)		授業の進め方、評価方法の説明 ロンドンの観光資源を学ぶ イングランド湖水地方の観光資源を学ぶ			
2回	英国(2)		サブノートをチェックする スコットランドの観光資源を学ぶ 世界遺産を学習する			
3回	北欧		サブノートをチェックする ノルウェーの観光資源を学ぶ フィンランド、デンマークの観光資源を学ぶ			
4回	スペイン・ポルトガル		サブノートをチェックする スペインの観光資源を学ぶ ポルトガルの観光資源を学ぶ			
5回	フランス(1)		サブノートをチェックする パリを中心にフランス各地の観光資源を学ぶ モンサンミッシェルについて調べる			
6回	フランス(2)		サブノートをチェックする コートダジュールの観光資源を学ぶ 世界遺産を学習する			
7回	ベネルクス3国		サブノートをチェックする オランダの観光資源を学ぶ ベルギーの観光資源を学ぶ			
8回	ドイツ(1)		サブノートをチェックする ベルリンの観光資源を学ぶ メルヘン街道について調べる			
9回	ドイツ(2)		サブノートをチェックする ロマンチック街道について調べる ミュンヘンの観光資源を学ぶ			
10回	スイス・オーストリア		サブノートをチェックする スイスの観光資源を学ぶ オーストリアの観光資源を学ぶ			
11回	イタリア(1)		サブノートをチェックする ローマの観光資源を学ぶ バチカン市国の観光資源を学ぶ			
12回	イタリア(2)		サブノートをチェックする ベネチアの観光資源を学ぶ フィレンツェの観光資源を学ぶ			
13回	中欧・東欧		サブノートをチェックする チェコの観光資源を学ぶ ハンガリーの観光資源を学ぶ			
14回	ギリシャ		サブノートをチェックする アテネの観光資源を学ぶ エーゲ海の観光資源を学ぶ			
15回	まとめと復習		前期のまとめ ヨーロッパ各国の復習 主要な世界遺産の復習			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	観光ゼミ				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	販売実務／店舗販売・アウトセールスについて学ぶ 観光業界で注目されている各テーマについて学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	観光業界への就職を目指すものとして、販売の方法、また福岡の観光について学習し、集客するための企画立案の手法を学ぶ					
使用テキスト	旅行会社のカウンター販売(国内)／講師作成プリント					
成績評価方法	・提出物・課題 70%(授業中小テスト含む)・平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回 9/14(月)	カウンター業務①		販売の基本① カウンター業務の一連の流れを確認			
2回 9/28(月)	カウンター業務②		販売の基本② 旅行商品の申込金・取消料などを理解する 旅行保険(国内)について、概要を学ぶ			
3回 10/5(月)	カウンター業務③		販売実務① JR・航空の予約について必要な事項を学ぶ 旅行会社のパッケージ商品のパンフレットの見方を学ぶ			
4回 10/12(月)	カウンター業務④		販売実務② カウンター販売の一連の流れをロールプレイング・練習 カウンター販売におけるマナー・言い回し・確認事項を学習			
5回 10/19(月)	アウトセールス		アウトセールス(営業販売)について学ぶ マナー・言い回し・営業のコツを学ぶ			
6回 10/26(月)	観光ガイドの仕事とホスピタリティ①		観光ガイドの仕事について学ぶ 講師：観光ガイドボランティア協会(予定)			
7回 11/2(月)	観光ガイドの仕事とホスピタリティ②		福岡の歴史について学ぶ(福岡・博多の街の概要・名産品など) 講師：観光ガイドボランティア協会(予定)			
8回 11/9(月)	ガイド研修①		実際の観光地でのガイドについて学習① 案内の方法・注意事項、説明ポイントを指導			
9回 11/16(月)	ガイド研修②		実際の観光地でのガイドについて学習② 案内の方法・注意事項、説明ポイントを指導			
10回 11/30(月)	太宰府の観光学習①		福岡県の有名観光地・太宰府地区を視察			
11回 12/7(月)	太宰府の観光学習②		福岡県の有名観光地・太宰府地区を視察			
12回 12/14(月)	太宰府の観光学習③		グループ分けを行い、太宰府の観光について学習する			
13回 12/21(月)	太宰府の観光学習④		前回の続き			
14回 1/18(月)	太宰府の観光学習⑤		前回の続き			
15回 1/25(月)	太宰府の観光学習⑥		発表			

対象学年	1年	学期	通年	学科	トラベル科	
科目名	旅行ウェブ広告戦略				クラス	K
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	前期でPCを使う上での基本的な知識を、Officeを使用し学習していきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	スケジュール確認、タイピング練習 ファイルの保存、管理、提出方法について 画像について				
2回	画像を加工してみよう	画像の取得方法について 画質、ファイル形式について				
3回	Wordでチラシ作成	Wordでチラシ作成 課題作成				
4回	Canvaを使ってみよう	Canvaについて チラシを作ってみよう				
5回	PowerPoint応用	PowerPointに動画を入れる方法 分割印刷 テンプレートについて				
6回	PowerPoint課題作成①	チーム別に課題作成				
7回	PowerPoint課題作成②	チーム別に課題作成				
8回	PowerPoint課題作成③	チーム別に課題作成				
9回	PowerPoint課題作成④	チーム別に課題作成 課題の振り返り				
10回	Excelで広告スケジュール作成①	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。				
11回	Excelで広告スケジュール作成②	Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。				
12回	バナーについて①	canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみよう。				
13回	バナーについて②	canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成				
14回	スマホアプリで動画作成	スマホを使って動画作成 グリーンバックを使って合成動画を作成				
15回	振り返り	今まで学習した内容を復習します。				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	就職活動講座				クラス	K
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職活動の進め方／履歴書・エントリーシートの記入方法・ポイント 就職セミナー／企業実習に向けて就活生としての成長を図る				授業形態	講義
到達目標	専門学校生において、就職することが目標。自己分析・企業研究を的確に行い、就職活動の流れを確認する					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト／就職ノート／講師作成プリント					
成績評価方法	提出物、授業態度により評価する。 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方(IBCでの就職活動の進め方、スケジュールを確認) ・就職活動へのアプローチ ・就職活動の心構え・準備について考える			
2回	自己分析①		・自分自身をどれだけわかっているかを考える ・自分のセールスポイントを考え、書き出す			
3回	自己分析②		・前回の書き出し(材料)から、就職活動において使えるものをピックアップして、文章にする			
4回	自己分析③		・履歴書欄に実際に「自己PR」文を記入し、面接試験で話す内容を用意する			
5回	企業研究①		・職業を知る ・業界が求める人材とは？自分がその人材にマッチしているか考える ・自分と志望先企業との接点を考える			
6回	企業研究②		・就職セミナーでは志望先企業を3社挙げます ・その企業について研究する			
7回	企業研究③		・それぞれの企業への志望理由を文章にする			
8回	企業研究④		・履歴書欄に実際に「志望理由」文を記入し、面接試験で話す内容を用意する			
9回	履歴書作成①		・実習先企業に提出する履歴書(IBC様式)の作成(下書き)			
10回	履歴書作成②		・履歴書の清書・提出			
11回	エントリーシート作成①		・就職セミナーの模擬面接で使用するエントリーシートを作成(下書き)			
12回	エントリーシート作成②		・エントリーシートの清書・提出			
13回	就職セミナー直前講座		・1/13～14で行われる就職セミナーに向けて、注意事項・ポイントを講義			
14回	就職セミナーフィードバック		・1/13～14で行われた就職セミナーのフィードバック (面接／グループディスカッション／講義)			
15回	実習前教育		・2月に行われる企業実習に向けての注意事項・ポイントを講義 ・実習報告書の作成方法／実習前に行うべきことを確認する			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	面接対策				クラス	K
担当講師(フルネーム)	山田邦幸				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	実際に実施された企業面接に即して面接のレベルアップを図るとともに就職活動に必要な提出物の書き方や業界の知識・環境を習得				授業形態	講義
到達目標	旅行業界のみならず観光業界全般の動向を理解し、効果的かつ自信を持って面接対応できることを目指す					
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント(適宜授業内で配付・過去配付分も毎回持参)					
成績評価方法	出席率・面接実技内容・授業態度・身だしなみ・提出物(内容・提出期限等)・授業内小テスト得点				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	* 授業の進め方・評価方法について・講師自己紹介 * 求人環境等(前年度・今年度) * 就職室・就職閲覧室について				
2回	観光業界について・情報収集と企業研究	* 具体的な企業の説明(企業リストに基づいて) * 具体的な業務内容(旅行・鉄道・船舶・航空等) * 情報収集方法・求人票の見方				
3回	自己分析と自己PR作成	* 自己分析の結果から自己PRできるものを抽出 * 220文字以内で自己PRを文章にする(自分の強みを志望する企業でどう活かすか)				
4回	志望動機作成(履歴書作成)	* 基本的な志望動機の書き方(ある程度志望企業や志望業界をイメージする) * 220文字以内で志望動機を文章にする(なぜその企業や業界でなければならないのか) * 履歴書作成を試みる				
5回	面接対策	* 面接のポイント(企業が求める人物像・個人面接と集団面接の違い・対策等) * 面接試験でよくある質問(企業が面接試験で質問した内容を受験報告書やレジュメから学ぶ) * 面接試験での受け答え方法				
6回	面接練習	* 入室方法・着席姿勢等 * これまでまとめた自己PRや志望動機をベースに面接実践練習 * 面接実践練習のフィードバック				
7回	面接練習	* これまでまとめた自己PRや志望動機をベースに面接実践練習 * 面接実践練習のフィードバック				
8回	グループディスカッション	* グループディスカッションとは(企業の意図) * グループディスカッションの注意点とポイント * グループディスカッション実践練習(受験報告書やレジュメからテーマを設定)				
9回	面接練習	* 前回の面接実践練習での反省点や改善点を確認 * 面接実践練習 * 面接実践練習のフィードバック				
10回	面接練習	* 前回の面接実践練習での反省点や改善点を確認 * 面接実践練習 * 面接実践練習のフィードバック				
11回	これまでの授業の振り返り	* 志望する企業や職種を絞り込む(より踏み込んだ企業研究・業界といった枠内ではなく) * 志望企業向けにより具体的に自己PRや志望動機を作成する * 企業へ提出すること想定して履歴書作成				
12回	エントリーシートのチェックと面接練習	* 就職強化セミナーに向けての心構え * 就職強化セミナーでのエントリーシートの確認と修正・改善(より充実した内容にする) * 面接実践練習				
13回	就職強化セミナーに向けて(面接対策)	* 就職強化セミナーに向けての具体的な準備(4月からの本番の就職試験に備えるためにも) * 面接実践練習 * 面接実践練習のフィードバック				
14回	就職強化セミナーを振り返る	* 就職強化セミナーでの結果とフィードバック * 就職強化セミナーの自己点検(反省点・改善点⇒本番に活かすために)				
15回	授業のまとめ・今後の過ごし方	* 面接対策のポイントの再確認 * 実習の心構えと意義 * 前期開始までの過ごし方				

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	国内観光地理				クラス	L
担当講師(フルネーム)	友納真				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	各都道府県毎の観光資源(宿泊・観光地・グルメ・名産品)を学ぶ 国内の交通について学ぶ(JR・航空・長距離フェリー)				授業形態	講義
到達目標	観光地を学び、旅行商品としてどう組み込んでいくかを理解する					
使用テキスト	国内観光資源／国内観光地理サブノート／旅に出たくなる地図(日本)／国内観光地理ベーシック300+α(必要に応じて講師より指示)					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40%(小テスト・ノートチェック含む) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	・授業の進め方 ・東北地方の概要を学ぶ				
2回	福島県	福島県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 福島県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
3回	山形県	山形県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 山形県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
4回	宮城県	宮城県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 宮城県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
5回	岩手県	岩手県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 岩手県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (東北①小テスト 実施)				
6回	秋田県	秋田県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 秋田県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ				
7回	青森県	青森県の観光地・祭り・イベント・名産品を学ぶ(※国内観光資源／サブノート) 青森県の見どころ・温泉・宿泊地を学ぶ (東北②小テスト 実施)				
8回	みちのく夢プラザ 講義	北東北・三県のアンテナショップ「みちのく夢プラザ」 福岡市中央区天神にある店舗より、東北の魅力をお伝えします(予定)				
9回	国内の交通①	・全国の新幹線 ・観光地までの交通アクセスを学ぶ				
10回	国内の交通②	・JR特急列車①(九州以外) ・全国で運転している特急列車と沿線観光地を学ぶ				
11回	国内の交通③	・JR特急列車②(九州) ・D&S列車…九州の観光列車の魅力を学ぶ				
12回	国内の交通④	・クルーズトレイン ・国内で現在運行している列車を学ぶ				
13回	国内の交通⑤	・航空(おもにJAL系列) ・空港所在地と交通アクセスを学ぶ				
14回	国内の交通⑥	・航空(おもにANA系列) ・空港所在地と交通アクセスを学ぶ				
15回	国内の交通⑦	・長距離フェリー・クルーズ船 ・国内で現在運行しているフェリー／クルーズ船について学ぶ				

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	海外観光地理				クラス	L
担当講師(フルネーム)	挽田雅子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	海外旅行の企画・販売・添乗のために必要な海外地理の基礎知識を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	海外の観光都市、観光地、観光ポイントの名前と場所を覚え、特徴を述べることができる					
使用テキスト	海外観光資源、海外観光地理サブノート、旅に出たくなる地図(世界)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	米国		サブノート記入チェック シカゴ・ニューオーリンズの観光資源を学ぶ サンフランシスコ・ロサンゼルス観光資源を学ぶ			
2回	ハワイ州		サブノート記入チェック オアフ島の観光地や人気スポットを学ぶ ハワイ島、マウイ島、カウアイ島の観光資源を学ぶ			
3回	カナダ		サブノート記入チェック 東部の五大湖からセントローレンス川の流域の町を学ぶ 太平洋岸の都市とカナディアンロッキーの観光地を学ぶ			
4回	中米		サブノート記入チェック メキシコの観光資源を学ぶ マヤの遺跡について調べる			
5回	カリブ諸国		サブノート記入チェック キューバの観光資源を学ぶ ジャマイカの観光資源を学ぶ			
6回	南米		サブノート記入チェック ペルーの観光資源を学ぶ ブラジルの観光資源を学ぶ			
7回	オーストラリア		サブノート記入チェック オーストラリアの観光資源を学ぶ アボリジニの文化や世界遺産を学ぶ			
8回	ニュージーランド		サブノート記入チェック ニュージーランドの観光資源を学ぶ マオリの文化やニュージーランドの自然を学ぶ			
9回	グアム・サイパン・南太平洋		サブノート記入チェック グアム・サイパンの観光地を学ぶ 南太平洋の観光資源を学習する			
10回	トルコ		サブノート記入チェック イスタンブールの観光資源を学ぶ トルコの世界遺産を調べる			
11回	エジプト		サブノート記入チェック カイロ・ギザの観光資源を学ぶ ルクソール・アスワンの観光資源を学ぶ			
12回	アフリカ北部		サブノート記入チェック モロッコの観光資源を学ぶ チュニジアの観光資源を学ぶ			
13回	アフリカ東部		サブノート記入チェック ケニアの観光資源を学ぶ ジンバブエの観光資源を学ぶ			
14回	アフリカ南部		サブノート記入チェック 南アフリカの観光資源を学ぶ マダガスカル観光資源を学ぶ			
15回	まとめと復習		後期のまとめ 北・中・南アメリカの復習 オセアニア・アフリカの復習			

対象学年	2年	学期	通年	学科	観光科	
科目名	インフィニ				クラス	L
担当講師(フルネーム)	秋満陽子				実務経験	有(航空業界勤務歴)
授業概要(内容)	国際線予約端末操作のうち、空席照会、PNR作成、変更、各種リクエストの入力など、基本的な端末操作を講義				授業形態	実技
到達目標	インフィニ検定合格を目指す					
使用テキスト	専用テキスト(INFINI Reservation and Fare Pricing)					
成績評価方法	・期末試験(60%)小テスト(20%)平常点(授業態度20%) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	予約①	後期の授業内容について 前期の復習問題				
2回	予約②	旅客情報を追加する① 旅客情報とはなにか OSIとSSRの違いを理解する 小児・幼児情報、現地連絡先など入力エントリーを覚える				
3回	予約③	前回の復習:練習問題 旅客情報を追加する② パスポート情報、ビザ情報、マイレージ情報などの個人情報の入力方法を学び、出力画面を理解する				
4回	予約④	前回の復習:練習問題 旅客情報を追加する③ 機内食のコードを覚える 車椅子やバシネットなど航空会社への各種リクエストをする				
5回	予約⑤	前回の復習:練習問題 旅客情報を追加する④ 座席指定:座席指定の基本エントリーを学ぶ 出力画面を理解する シートマップを表示して座席指定を行う				
6回	予約⑥	前回の復習:練習問題 旅客情報を追加する⑤ リマークスの入力など、その他旅客情報の入力を学ぶ				
7回	予約⑦	前回の復習:練習問題 旅客情報の変更・取消エントリーを学ぶ 旅客情報総復習				
8回	小テスト	PNR作成から旅客情報までの確認テスト				
9回	予約⑧	前回の復習:練習問題 キュー処理、マルチインプット、セールス契約について理解する				
10回	予約⑨	予約初級・予約中級総復習 前期から後期に学んだ内容を総復習する。				
11回	運賃基礎	国際航空運賃概要 インフィニの運賃システムを理解する。 Low Fare Search機能を使って、運賃を検索する				
12回	インフィニ検定対策①	インフィニ検定対策:過去問題・対策問題				
13回	インフィニ検定対策②	インフィニ検定対策:過去問題・対策問題				
14回	インフィニ検定対策③	インフィニ検定対策:過去問題・対策問題				
15回	期末テスト	期末テスト・インフィニ検定				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	観光科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	L
担当講師(フルネーム)	池田香織				実務経験	無
授業概要(内容)	社会人になる前の心構えや準備をする 課題や問題を考える力をつける				授業形態	講義&演習
到達目標	愛されるフレッシュャーズになる					
使用テキスト	講師作成プリント等					
成績評価方法	・課題評価50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	この授業の進め方 評価方法について				
2回	給与明細の見方	引かれものって何？ 私たちが支払っていくものとは				
3回	新聞から学ぶ①	新聞の記事を読んで自分の意見をまとめる				
4回	社会人のマナー	マナーとエチケットの違い 社会人としてのマナー				
5回	社会人のマナー	冠婚葬祭について学ぶ				
6回	サービスについて考える①	サービスについて考えよう(グループワーク)				
7回	サービスについて考える②	サービスについて考えよう(グループワーク)				
8回	社会人のマナー	電話・メール・郵便・電報の仕方 文書の作成				
9回	新聞から学ぶ②	新聞の記事を読んで意見を交換しよう				
10回	性格による考え方	適正テストとその結果による考え方と対策				
11回	スピーチ	人前で話をする練習をする 心動かされるスピーチをしよう				
12回	旅行プランを立てる①	グループで行く旅行プランを考える				
13回	旅行プランを立てる②	グループで行く旅行プランを発表しよう				
14回	社会人になる前の豆知識	引っ越し、入居、届け出等 一人暮らしで気をつけること				
15回	まとめ	後期で学んだことを振り返る 評価方法の確認				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科		
科目名	鉄道基礎				クラス	M	
担当講師(フルネーム)	山田和久				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)	
授業概要(内容)	鉄道の総合的な専門知識の習得と、安全に対する意識を向上させる。 ヒューマンエラー防止等の意識の向上に取り組む。				授業形態	講義	
到達目標	鉄道の車両・施設の知識を習得及び、鉄道事業の仕組みについて学ぶ。						
使用テキスト	分かりやすい鉄道技術「土木編・電気編・運転編」						
成績評価方法	・期末試験80%平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		前期授業の振り返り 後期授業の内容と進め方を説明する。				
2回	電車のメカニズム		電車の走る原理(発電所から走行まで)を知る。 電車が止まる原理を理解する。 集電装置・主電動機・主制御機について学ぶ。				
3回	鉄道車両(西鉄)		西鉄電車の車両について知る。 出庫点検の重要性と行程を学ぶ。 出庫点検のDVDを参照する。				
4回	鉄道信号の役割		鉄道信号の前期復習 役割について解説を行う。 手信号の種類と代用手信号について学ぶ。				
5回	閉そく方式		通常時の閉そく方式を知る。 列車間の安全を確保する方法・閉そく区間と役割について理解する。 異常時の列車運行の手段・方法について知る。				
6回	伝令法		駅伝令法と指令伝令法の違いについて学ぶ。 伝令法の施行時と運転範囲について学ぶ。 DVDを活用し説明を行い理解する。				
7回	列車の運転		原則的な鉄道運転ルールを知る。 飲酒運転撲滅を理解する。 推進運転・退行運転を知る。				
8回	鉄道の設備		電気の設備について知る。 車両機器について知る。 線路の設備について知る。				
9回	鉄道運転事故		事故の分類を知る。 事故の種類と内容について理解する。 インシデントについて学ぶ。				
10回	作業安全		指差確認呼称の重要性について学ぶ。 安全の必要性について学ぶ。 事故とケガについて理解する。				
11回	気付き・ヒヤリハット・事故		ヒューマンエラーについて学ぶ。 言葉の意義を知る。 事故防止策について協議する。				
12回	運転保安装置		保安装置の種類を知る。踏切保安装置について学ぶ。 信号保安装置について学ぶ。 列車無線・列車防護無線の機能及び取扱いを理解する。				
13回	自動列車停止装置(ATS)		ATSの設備目的と運転士の注意について知る。 地上装置と車上装置について学ぶ。 ATS故障時の取扱いと注意点を知る。				
14回	西鉄		西鉄の乗務員の資質管理 乗務員のあり方、苦楽について 生徒の就活について				
15回	後期まとめ		後期授業を振り返り 全体質疑を行う。 期末試験の対策				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道係員				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に携わる各係員の概要と鉄道運行の仕組みについて学ぶ 鉄道係員の役割と責任、心構えについて学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の復習 3.鉄道係員の役割及び仕事内容の復習を行い、各係員の作業把握を行う				
2回	鉄道乗務員①	1.乗務員の放送一般 2.乗務員のお客さまに対する案内放送の意義と相対的な放送内容の習得を行い実施する 3.各場面でのお客さま対応能力を身に付け、基本的な放送を身に付ける				
3回	鉄道乗務員②	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
4回	鉄道乗務員③	1乗務員の基本動作を学ぶ ・到着から発車までの基本動作の実施 ・車掌と運転士のやり取りを実戦形式で学ぶ				
5回	鉄道運行に関わる係員	1司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
6回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ				
7回	鉄道ダイヤに関わる係員②	1ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・ダイヤグラムを見方を学び、実際にダイヤグラムの作成を行い、ダイヤの知識を深める ・各駅のダイヤがどのように抗されるかを学び、駅作業の重要性を学ぶ				
8回	事故事例研究①	1コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
9回	事故事例研究②	1信号に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
10回	事故事例研究③	1ATSに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
11回	事故事例研究④	1停車に関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
12回	鉄道運行に関わる係員	1.司令について学ぶ ・各指令の種類と役割を学び、指令の重要性を知る ・鉄道運行の安全確保に対しいかに指令の役割が生かされているかを学ぶ				
13回	鉄道ダイヤに関わる係員①	1.ダイヤグラム作成に関わる係員を学ぶ ・鉄道ダイヤ作成時の注意点(お客さまの利用しやすいダイヤ)とダイヤグラムの関係を学び、時刻表がどのような工程で出来上がるかを学ぶ				
14回	事故事例研究	1.コンプライアンスに関わる事例 ・過去の鉄道事故事例を基に、事故内容と乗務員の取り扱いを把握する(世間に与えた影響等を学ぶ) ・省令変更はこうして行われた意味を把握する(規定改正及び事故対策等を学ぶ)				
15回	前期のまとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職活動講座				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	専門学校に在学し、鉄道を学んでいるという特異性を理解し、 鉄道業界に特化した就職活動を行える力を養成する。				授業形態	講義
到達目標	一学年終了時には自信をもって自分の強みを相手に伝えることができるような人物となることを目指す。					
使用テキスト	就職ノート・専門学校生のための就職内定基本テキスト					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 提出物・忘れ物・授業態度・就職活動に対する熱意・小テストにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	夏休みの振り返り 後期説明 夏休みの活動から自分の成長を振り返る				
2回	ナビサイト登録	リクナビ・マイナビに登録する インターネットでの企業の検索法 ナビサイトの便利ツールを就活に活かす				
3回	求人情報の収集方法	情報の収集方法と活用 求人票の見方 就職室の利用方法、IBC就活ルールの再確認				
4回	履歴書作成	就職活動に活用するIBCの履歴書を作成する				
5回	模擬面接用 エントリーシート	模擬面接用エントリーシートの書き方を説明し作成する				
6回	履歴書・模擬面接用 エントリーシートのまとめ	履歴書・模擬面接用エントリーシートの指導				
7回	自己PR作成	前期作成した自己PRを手直して完成				
8回	模擬面接の振り返り	模擬面接での結果とフィードバック 自分自身で面接を振り返る方法を知り、改善点を次に活かす				
9回	志望動機作成 (志望企業編)	前期作成した鉄道業界に対する志望動機に、 志望企業の要素をプラスして完成させる				
10回	志望動機作成 (実習編)	第9回で作成した志望企業や鉄道業界に対する志望動機に、 実習に対する心構え、学びたいことなどをプラスして完成させる				
11回	学生時代に頑張ったこと のエピソード作成	夏休みの宿題「学生時代に頑張ったこと」のエピソードを手直して完成				
12回	面接応答内容を考える①	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
13回	面接応答内容を考える②	過去に試験で出た質問に対してどう答えるか考える				
14回	エントリーシート作成	志望企業の過去のエントリーシートを参考にして、 エントリーシートの作成手順を確認する そして、実際のエントリーが始まったら、すぐにエントリーシートを作成できる力を養う				
15回	後期の振り返り	一年間の就職活動講座の振り返りとまとめ 実習の注意点 春休みの就職活動について				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson, Guzman Carlos				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book(Noun)、接客英会話交通編					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Transportation Handbook Unit 11 & 12			
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Transportation Dialog: 6		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Transportation Handbook Unit 11 & 12			
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Transportation Handbook Unit 13 & 14			
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Transportation Dialog: 7		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Transportation Handbook Unit 13 & 14			
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Transportation Handbook Unit 15 & 16			
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Transportation Dialog: 8		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Transportation Handbook Unit 15 & 16			
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Transportation Handbook Unit 17 & 18			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Transportation Dialog: 9		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Transportation Handbook Unit 17 & 18			
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Transportation Handbook Unit 19 & 20			
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Transportation Dialog: 10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Transportation Handbook Unit 19 & 20			
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Transportation Handbook Unit 21 & 22			
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Transportation Dialog: 11		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Transportation Handbook Unit 21 & 22			
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Nouns starting with N Transportation Handbook Unit 23 & 24			
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Transportation Dialog: 12		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Nouns starting with N Transportation Handbook Unit 23 & 24			
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P24 Transportation Dialog: 13, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Music Interview Nouns starting with O Transportation Handbook Unit 25 & 26			

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策 I				クラス	M
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	筆記試験の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指し、応用力を養う					
使用テキスト	・一般常識 & SPI (実教出版株式会社) ・一般常識/一問一答 (新星出版社)					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	なぜSPIをするのか		・後期授業方針説明、SPI検査の内容を確認 ・SPI言語 同意語(意味や内容が近い語) *夏休みの課題(四字熟語)提出			
2回	日本の特産品を知る		・日本地理① 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 反意語(意味や内容が反対の語)			
3回	四字熟語を極める		・四字熟語テスト① 夏休み課題(四字熟語)を6回に分けて小テスト ・日本地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの)			
4回	世界の気候		・四字熟語テスト② ・世界地理① 世界各地の気候を学ぶ。併せて産物を学び、産地との組み合わせを覚える ・SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句)			
5回	世界が作るもの		・四字熟語テスト③ ・世界地理② 産地・産物の練習問題を解き、理解を深める ・SPI言語 複数の意味(意味や用法が近いもの)			
6回	日本史の中の人物		・四字熟語テスト④ ・日本史① 日本史上の人物に焦点をあてて、歴史を見る ・SPI言語 文章問題①			
7回	史実を学ぶ		・四字熟語テスト⑤ ・日本史② ・SPI言語 文章問題②			
8回	世界史の中の人物		・四字熟語テスト⑥ ・世界史 歴史上の有名な出来事を追ひ、人物と「何」が起きたのか？を見る ・SPI言語 原料(加工物とその原料)			
9回	文化は歴史が作る		・文化史 文化・芸術史を学び、有名な芸術作品をおさえる ・SPI言語 包含・用途・機能			
10回	名句・名言から学ぶ		・思想史 思想家の名句・名言と著書を学ぶ ・SPI言語 文章問題③			
11回	文学史		・文学史 主な文学作品とその作者を学ぶ ・SPI言語 行為の関係			
12回	働く環境を考える		・労働・社会保障 労働者は守られているか？現行制度を学びます ・SPI言語 文章問題④			
13回	社会の常識		・国民の祝日、法規、マーク、名数などを確認します ・SPI言語 ことわざ・慣用句			
14回	2年生に向けての準備		・時事問題を考える 新聞・ニュースサイトの活用 ・SPI言語 文章問題⑤			
15回	後期のまとめ		・後期の復習 ・春休みの課題説明			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	就職筆記対策Ⅱ				クラス	M
担当講師(フルネーム)	北村正雄				実務経験	無
授業概要(内容)	テキストの基本問題と実際に各企業に出題された過去問まで、自信もって能力検査試験に臨める講義内容です。講義内容と受検の問題が完全に一致しています。				授業形態	講義
到達目標	JR各社 西日本鉄道 関東・関西の民鉄 公営路面電車・地下鉄の就職試験に合格するのに必要な非言語分野の学力を修得することが出来ます。					
使用テキスト	SPI基本問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	損益算2 p64～82	損益算の基本公式の確認 原価 定価 売価 を求める公式 原価も定価も売価も不明の時 総原価 総利益 総定価 を求める問題 各コースの企業の過去問を中心に応用問題にチャレンジ				
2回	Webテスト対策	Webテストは最近急速に採用している企業が増加しています。問題を作っているのは(株)リクルートキャリア社なので、SPIと似ています。				
3回	集合 p178～p186	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。 ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。				
4回	集合 p178～p186	集合分野はSPIでは極めて重要な分野です。ほとんどの企業で出題が予想されます。集合はカブリのことです。 ベン図 オイラー図 の理解がポイントです。 集合では独特の日本語の理解が必要です。				
5回	順列2 p136～p145	全体の数nの中からr個を取り出して並べるときの並べ方 nPr 順列公式 $P=Permutation$ 重複順列 nr 乗 円順列 $(n-1)!$ 順列では、もも かき ミカン・もも ミカン かき・かき もも ミカン・ かき ミカン もも・ミカン もも かき ミカン かき もも・すべて別物とみる 順番だけを見る 形式的な考え方 前期の応用 テキストの問題プリントC				
6回	組み合わせ・確率2 p158～p170	n個の中からr個を取り出し選ぶ時の選び方 nCr 組み合わせの公式 $C=Combination$ 重複組み合わせ $n+r-1Cr$ 組み合わせでは、もも かき ミカン・もも ミカン かき・かき もも ミカン・ かき ミカン もも・もも かき ミカン・もも ミカン かき・すべて同じ物とみる 順番は異なっても中身は同じなので、実質的な考え方 前期の応用 重複組み合わせの公式 プリントC				
7回	推論 1 p192～p201	位置の問題 アパート・ホテルの住人・宿泊客の部屋番号の特定 横一列に並んでいる本屋・クリーニング店・レストランなどのお店を問題文の条件を推理して各店の位置を特定する。				
8回	推論 2 p192～p201	正誤の判断 嘘本当の発言 ABCなどの人たちの発言から誰が本当のことを言っているか、うそをついているのは誰か 勝敗 リーグ形式とトーナメント形式				
9回	推論 3 p192～p201	順番の推理 身長差 体重差 マラソンの到着順 各店舗の売り上げの多い順 内訳(各自の発言や条件から内訳を判断)				
10回	推論 4 p192～p201	平均の推理 テストの平均点 売り上げの平均値 平均点の問題 平均点×人数＝総得点数 密度と濃度 モノの流れと比率の問題				
11回	資料の読み p202～p219	円グラフ 棒グラフ 折れ線グラフ 実数 構成比 指数を求め数値を読み解く 桁数の多い数字が並ぶので、概算の数字を出して素早く計算する能力が要求されます。				
12回	資料の読み p202～p219	円グラフ 棒グラフ 折れ線グラフ 実数 構成比 指数を求め数値を読み解く 桁数の多い数字が並ぶので、概算の数字を出して素早く計算する能力が要求されます。				
13回	比例 関数 p120～p127	$Y=ax$ $Y=ax+b$ $Y=ax^2$ 乗+ b 一次関数 二次関数 傾き 切片 比例定数 条件と領域 一次関数を解きなさいという問題は傾きと切片を求めよという問題です。二次関数はほとんど出題されません。 二次関数は円の面積です。 $Y=ax$ の二乗 $a=\pi$ 3.14一次関数の直線のグラフ 右下がりか右上がりか X軸Y軸に平行の直線など				
14回	立方体の回転 面の位置	サイコロや立方体を左右・前後に何回か回転させたのち、Aの面の回転の軌跡、Aの面が上に来ない場合の回転の仕方。 立方体の性質が分かればすぐに解けるので、絶対に落とせない分野				
15回	構造的把握力検査p281～p283	この分野は、SPI・3になって初めて導入された分野です。 1問5択の選択肢が用意されています。問題処理の考え方の構造が似ているものを二つ選ぶ問題。 慣れないと問題の意味を理解するのが難しい。問題を解いても正解に到達できるわけではありません。				

対象学年	1年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	時刻表				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 運賃料金及び宿泊先を考えたプラン作成				授業形態	講義＆演習
到達目標	時刻表の確実な活用方を身に付ける					
使用テキスト	時刻表					
成績評価方法	・期末試験80％ 平常点20％ ※単位取得には、出席率は便覧どおり75％以上を条件とする。					単位数 2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.前期の反省と今後のプラン内容を説明				
2回	旅行プランニング①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	旅行プランニング②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に合ったプランニング作業を行う				
4回	旅行プランニング③	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	旅行プランニング④	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	旅行プランニング⑤	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	旅行プランニング⑥	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	旅行プランニング⑦	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	旅行プランニング⑧	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	旅行プランニング⑨	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
11回	旅行プランニング⑩	1.JR時刻表を使った総合的な旅行プラン作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・宿泊所に対する考え方の練習を行う				
12回	旅行プランニングまとめ①	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書の最終作成を行う ・旅行に対する作業とお客さまに対する接客対応のまとめ				
13回	旅行プランニングまとめ②	1.プランニング作業に対してまとめを行う ・旅行見積書を完成させ各チーム発表を行う				
14回	時刻表の活用	1.時刻表の活用術を発表する ・各自、時刻表に対する確認方を発表し、実力不足を解消する 2.習熟度調査を行う				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 質疑応答により習熟度を向上させる				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道駅実務				クラス	M
担当講師(フルネーム)	西政明(マック24)				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	交通業界、特に鉄道業界の経営・運営概況を学ぶ。 鉄道駅業務の仕組み、内容、役割等を理解し、基本知識・スキルを習得する。				授業形態	講義&演習
到達目標	交通・鉄道関連従事員となるための基本的資質の育成・向上を図る。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	シラバスの概要、講義の進め方等の説明 日本鉄道の概況、鉄道専門用語、・略号等の鉄道一般常識の確認 交通関連トピックス解説				
2回	鉄道経営の概況	JRグループの概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
3回	〃	主要民鉄(東日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
4回	〃	主要民鉄(西日本)の概況とビジネスモデル 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
5回	鉄道事業の運営	鉄道会社の組織・業務運営体制(営業・運輸) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
6回	〃	鉄道会社の組織・業務運営体制(施設・電気・新幹線) 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
7回	鉄道駅の役割・機能	交通サービスの生産要素と鉄道駅の役割・機能 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
8回	鉄道駅の今後の役割	鉄道駅の今後の役割とその方向性 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
9回	鉄道駅業務の概要	鉄道駅の業務運営体制と部門別概要 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
10回	〃	鉄道駅の付帯業務及び安全・地球環境保全への取り組み 交通関連トピックス解説 コミュニケーションワーク				
11回	鉄道駅運営の実態と課題	鉄道駅の運営運営体制の変遷と今後の課題 交通関連トピックス解説				
12回	鉄道駅社員のキャリアパス	鉄道会社の採用・社員運用 交通関連トピックス解説				
13回	社会人・組織人の基礎知識	交通関連に従事するための基礎知識(法、規範、ルール等) 交通関連トピックス解説				
14回	鉄道駅業務見学	JR博多駅見学(予定)				
15回	まとめ	振り返りと要点整理 期末試験の傾向と対策 交通関連トピックス解説				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道業界研究				クラス	M
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道業界への就職を目標とし、JR・大手私鉄を中心とした業界研究を行う。				授業形態	講義
到達目標	各鉄道会社の実態と経営戦略、企業理念を学び、志望動機に活かす。					
使用テキスト	鉄道業界大研究					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 平常点＋小テストで50%、期末テストで50%				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 企業研究のやり方		企業研究のやり方が深いほど志望動機に具体性が出る 企業研究シートと使用した方法を学ぶ			
2回	西鉄について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
3回	JR九州グループ について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
4回	JR四国について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
5回	JR東海・JR北海道 について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
6回	JR西日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
7回	JR東日本		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
8回	東京メトロについて		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト1			
9回	東急、東武、西武		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
10回	京急、京王、京成		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
11回	小田急、相鉄、名鉄		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
12回	阪急(阪神)について		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える 小テスト2			
13回	近鉄、京阪、南海		実態と経営戦略を学び、特徴を知る 企業理念を分析し、理念に合う人物像を考える			
14回	第三セクター、 地下鉄、その他鉄道		第3セクターや地方鉄道、公営鉄道など、JR・大手私鉄以外にIBCに過去求人を出した実績のある会社を研究し、 求人が来たら応募できる準備をする			
15回	一年間のまとめ 期末テスト対策		一年間の鉄道業界研究の復習 これまでの鉄道業界研究を総復習し、期末テスト対策、及び就職試験に活かす			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	鉄道車両				クラス	M
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道車両の種類について学ぶ 電車と気動車の仕組みと違いを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	各鉄道係員の仕事を身に付け、目標とする職種の重要性を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.鉄道車両の歴史説明				
2回	電車と気動車の相違点①	1.電車と気動車の利点と欠点 2.鉄道業界における車両普及内容 3.運転内容説明				
3回	電車と気動車の相違点②	1.国家試験の相違点 ・学習内容の違い ・車両形式の確認方を学ぶ				
4回	電車の運行条件	1.電車線路について ・起電方式の種類と条件について学ぶ ・直流起電と交流起電の違いと内容について学び、車両の条件を知る				
5回	気動車の運行条件	1.気動車の運行条件を学ぶ ・エンジンのストローク ・線区別車両について学ぶ				
6回	電車の機器一覧	1.集電装置について学ぶ ・起電方式の違いによる集電装置の役割を学ぶ ・集電装置の種類について学び、鉄道会社の車両を学ぶ				
7回	気動車の機器一覧	1.車両形式について ・地域別形式についての機器配置を学ぶ ・エンジンを正常に起動させる重要機器について学ぶ				
8回	電車の機器一覧	1.集電システムを学ぶ ・架線集電システムの各機器配置 ・架線集電システムの各機器の役割を学ぶ				
9回	気動車の機器一覧	1.床下機器配置 ・形式別機器配置と役割を学ぶ				
10回	電車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
11回	気動車の列車記号	1.電車の列車記号を知る ・記号の選別による運転取扱いを学ぶ ・換算係数を学び車両の種別を知る				
12回	電車の台車について	1.電車の台車概要を学ぶ ・モーターと台車の因果関係を学び、安全を守る条件を知る ・台車の種類を学び、車両形式に合った台車の役割を学ぶ				
13回	気動車の台車について	1.気動車の台車概要を学ぶ ・エンジンと台車の関係を学び、動力伝達方式を知る ・減速機の役割と歯車の種類を知る				
14回	期末試験対策	1.知悉度調査を実施する ・知湿度調査を行うことにより理解度を確認する ・理解度の状態を把握し、解説を再度行い、習熟度の向上を図る				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	サービス介助士				クラス	M
担当講師(フルネーム)	松野弘美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	おもてなしの心と正しい介助技術を学ぶとともに、障害の社会モデルの考えを理解し、心のバリアフリーについての理解を深める				授業形態	講義
到達目標	障害の社会モデルの考えを理解し、安全安心の介助技術を学び、授業後のサービス介助士資格取得を目指す					
使用テキスト	サービス介助士・准サービス介助士資格取得講座テキスト					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	科目ガイダンス 障害者差別解消法	サービス介助論で何を学ぶのか、また「サービス介助士の活躍」の映像から必要性を理解する 超高齢社会の現状を知るとともに、サービス介助士の必要性を考える 障害の社会モデルの考えを理解する				
2回	ホスピタリティ・マインド	ホスピタリティの語源を知り、ホスピタリティとは何かを理解する ホスピタリティを感じた体験についてのディスカッションを通して、ホスピタリティマインドを理解する 事前課題の取り組み				
3回	ノーマライゼーション	ノーマライゼーションの意味とノーマライゼーションとは何かを理解する ノーマライゼーションの実現に必要なものは何かを理解する 障害者差別解消法を知る 事前課題の取り組み				
4回	高齢者の理解と介助	高齢者の身体的特徴やかかりやすい病気・特徴的な病気について理解を深める 高齢者の機能低下に対する介助方法について学ぶ 事前課題の取り組み				
5回	ジェロントロジー	ジェロントロジーとは 将来について考えてみよう(2年後、10年後、そして何歳まで生きるのか) 事前課題の取り組み				
6回	接遇 障害者への理解と介助 (知的障害者・精神障害者)	サービス介助士としての接遇、どんなひとにも伝わる接遇を理解する 知的障害・精神障害の定義と概要 事前課題の取り組み				
7回	障害者への理解と介助 (車いす使用者)	車いす使用者への理解を深めるとともに、介助方法について学ぶ 車いすの種類、操作上の注意点について理解を深める 事前課題の取り組み				
8回	障害者への理解と介助 (視覚障害者)	視覚障害の概要を知り、見えないことの不便さを理解する 視覚障害者の誘導方法について理解する 点字について学ぶ 事前課題の取り組み				
9回	障害者への理解と介助 (聴覚障がい者)	聴覚障害者の概要を知り、聞こえないことの不便さを理解する 聴覚障害者とのコミュニケーション方法について学ぶ 事前課題の取り組み				
10回	身体障害者補助犬 ユニバーサルデザイン	身体障害者補助犬についての理解と身体障害者補助犬法を知り、介助方法を理解する バリアフリーデザインとユニバーサルデザインの違いを理解する 事前課題の取り組み				
11回	期末試験	授業内での期末試験 範囲:今まで学んだ部分から 事前課題:提出締切				
12回	オンライン講座①	実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)				
13回	オンライン講座②	実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)				
14回	オンライン講座③	実技教習前のオンライン講座(DVD視聴)				
15回	オンライン講座④	実技教習前のオンライン講座(DVD視聴) まとめ 誰もが暮らしやすい社会のためにできることは？ 共生社会の実現のために必要なことを考える 実技教習についての説明				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	鉄道	
科目名	面接対策				クラス	M
担当講師(フルネーム)	橋本美智子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	面接において好印象を勝ち取るための身嗜み、立ち居振る舞い、言葉遣いなどの表現力を実技演習によりトレーニングする。				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道業界に求められえる人材であることを表現できるようになる					
使用テキスト	配布プリント、制服着用					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	就職試験に向けて	授業の進め方 心構え 面接の種類とポイント				
2回	求められ人材について	企業に求められる人材とはについてワークを行う 求められる能力について				
3回	面接に向けて	正しい姿勢 発声 相手に届く声をつくる 自己紹介				
4回	集団面接1	立ちかた 歩きかた 座り方 入室の仕方 実技4～5名				
5回	集団面接2	話す 聞く 実技4～5名				
6回	集団面接3	話す 聞く 実技4～5名				
7回	集団面接4	質疑応答 好印象の答え方 実技4～5名				
8回	集団討議1	討議の進め方とポイントの説明				
9回	集団討議2	日本の問題の中から				
10回	集団討議3	世界の問題の中から				
11回	集団討議	過去の就職試験に使用されたテーマから				
12回	振り返り	第1回～11回までのまとめ				
13回	期中評価①	集団面接				
14回	期中評価②	集団討議				
15回	まとめ	今期のまとめ 来期に向けての課題				

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道概論				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	ダイヤ改正に伴う注意点 乗務員勤務作成時の注意点を学び、乗務行路を作成する				授業形態	講義 & 演習
到達目標	ダイヤ改正とそれに伴う乗務員の配置方を学ぶ					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		1.カリキュラムの説明を行う 2.ダイヤ改正の意義と作業内容を学ぶ			
2回	駅構内ダイヤの解説		1.ダイヤ改正に伴う注意点 ・駅構内の運行内容の解説を行い、それに伴うダイヤグラムとの繋がりを知る ・車両の入換(分割、併合、入換)作業を学ぶ			
3回	ダイヤグラム作成作業①		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
4回	ダイヤグラム作成作業②		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成準備を行う 2.ダイヤグラムと乗務員時刻表及び行路表の照合を行い、よりダイヤに詳しく説明を行う 3.乗務員の作業を把握することにより知識を深める			
5回	乗務員行路表作成作業①		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する			
6回	乗務員行路表作成作業②		1.ダイヤグラムから乗務員の行路を各自作成する ・乗務員の作業を書き込み、1日の動きを把握することにより乗務員の仕事を把握できる ・行路作成時の注意点を周知する			
7回	乗務員行路表作成作業③		1.各自作成した乗務員行路を発表する 2.グループ割を行い、作成した行路表と乗務員時刻表を照合して間違いを正す ・注意点の確認を班ごとに行い発表準備を行う			
8回	乗務員勤務①		1.各班ごと乗務員行路表の発表を行う ・班ごとの解説を行うことで乗務員の勤務に対する知識が認識できる ・行路作成上の注意点を学ぶことによりより深い知識を得られる			
9回	乗務員勤務②		1.各班ごと行路内容計算を行い乗務員勤務を把握する ・行路内容により、班ごとに振分を行い全員が力を合わせ勤務形態を決める ・乗務員職場の雰囲気を感じ、乗務員に対する意識を実感させる			
10回	運用手配実践①		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・気象異常時に対する乗務員手配を各班ごとに考え発表を行うことにより、各作業内容を把握する			
11回	運用手配実践②		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を学ぶ ・列車遅延に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う			
12回	運用手配実践③		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・車両故障に対する乗務員手配と車両手配を考え発表を行う			
13回	運用手配実践④		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・乗務員疾病に対する乗務員手配を考え発表を行う 2.期末試験対策			
14回	運用手配実践⑤		1.各班ごと行路を決め、乗務員手配及び車両手配の応用を行う ・イベント等による車両増結に伴う乗務員手配及び車両手配を考え発表を行う 2.フィードバックを行い習熟度を深める			
15回	まとめ		1.まとめ、全体質疑 2. 期末試験対策			

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道実務				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	鉄道運行に伴う、各職種別の異常時取扱いを学びます 異常時対応能力及びお客さま対応能力向上を目指します				授業形態	講義&演習
到達目標	鉄道員が持つべき知識を習得し、実際に近い行動力を身に付ける					
使用テキスト	わかりやすい鉄道技術(1、2、3)、講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明を行う 2.前期の内容を復習する				
2回	踏切及び人身事故①	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・運転士及び車掌の対応及び輸送指令員との手続き対応を行い実践に迫った体験を行う 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
3回	踏切及び人身事故②	1.鉄道人身傷害事故・踏切障害事故対応 ・各職別対応の復習とまとめを行い注意すべき点を把握させる 2. 人身事故発生時のモックアップを使用した取扱いの実施				
4回	停車に関わる取扱い①	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い説明 ・運転士、車掌、指令員、駅員の対応を学ぶ ・お客様から見た処置内容について考える				
5回	停車に関わる取扱い②	1.列車の所定停止位置に停止できない場合の取り扱い実践 ・モックアップを使用した運転士、車掌、指令員、駅員の対応を実践 ・各係員の対応について意見を深める				
6回	異常事対応能力実践①	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定に沿った係員の正確な対応を学ぶ ・実践に近い対応能力を身につける				
7回	異常事対応能力実践②	1.鉄道係員の対応について学ぶ ・想定を各班で考え、交換する ・想定に対する取扱いを各班毎発表する				
8回	駅作業ダイヤ①	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する内容説明 ・構内作業に対する内容説明				
9回	駅作業ダイヤ②	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・駅作業に対する駅員及び乗務員の運用を考える ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える				
10回	駅作業ダイヤ③	1.駅及び構内作業ダイヤを学ぶ ・構内作業に対する車両社員及び乗務員運用を考える 2.車両周期に対する関係社員の取扱いを学ぶ				
11回	法廷労働に関する取扱い①	1.鉄道営業法に対する各鉄道企業の取り組み ・鉄道係員に対する勤務体制を知る				
12回	法廷労働に関する取扱い②	1.乗務員の勤務と他の係員の勤務の違い ・乗務員の勤務作成時の注意点を学ぶ				
13回	休日勤務に対する取扱い①	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ 2.休日労働に対する考え方 3.年次有給休暇の取扱い				
14回	休日勤務に対する取扱い②	1.鉄道会社における休日の取扱いを学ぶ ・各係員の勤務体制を学ぶ ・乗務員の勤務を知り実際に勤務作成を行う				
15回	まとめ	1.総まとめ、全体質疑 2.期後授業の学習を振り返り、鉄道に対する意識を深める 3.期末試験対策				

対象学年	2年	学期	通年	学科	鉄道科	
科目名	鉄道旅行プランニング				クラス	N
担当講師(フルネーム)	花生義一				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	時刻表を用いてのプランニング作業 青春18切符の乗車行路と旅行ポスターの作成				授業形態	講義&演習
到達目標	プランニング作業の充実、旅行窓口作業の充実					
使用テキスト	時刻表					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	1.カリキュラムの説明 2.発表内容に説明				
2回	鉄道の旅①	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・見積書作成時に必要な事項を学び、実施作業を行う				
3回	鉄道の旅②	1.JR時刻表を使った鉄道旅行作成 ・お客さまの意向にあったプランニング作業を行う(窓口練習) ・お客さまの予算に似合ったプランニング作業を行う				
4回	定期観光バスの旅①	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
5回	定期観光バスの旅②	1.JR時刻表を使った定期観光バス旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
6回	船舶の旅①	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
7回	船舶の旅②	1.JR時刻表を使った船舶旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
8回	航空の旅①	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
9回	航空の旅②	1.JR時刻表を使った航空旅行作成 ・駅業務の中で行う観光各地の旅をお客さまに提供するためのプランニング作業をグループで行う				
10回	各種切符の旅①	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
11回	各種切符の旅②	1.青春18きっぷで行く旅行作成 ・各班ごとに、行先行程を作成し、計画表を作成する ・乗車証明可能駅数をよく考えて作成する作業				
12回	ポスター作成①	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
13回	ポスター作成②	1.旅行会社と位置付けしたポスター作成 ・日本の名所を宣伝したポスター作成				
14回	発表用プログラム作成②	1.青春18切符乗車体験の報告資料のまとめ 2.発表用ポスターのまとめ 3.発表プログラムの決定				
15回	まとめ	1. 総まとめ、全体質疑 2. 青春18切符乗車体験及びポスターの発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	鉄道科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	N
担当講師(フルネーム)	三石佳代子				実務経験	有(鉄道業界勤務歴)
授業概要(内容)	社会人になった際に学生と違う部分は何であるのかを、 鉄道業界での事例を踏まえ学習する。				授業形態	講義
到達目標	働く上で必要なことを知り、鉄道業界で働く心構えをし、早期離職を防ぐ					
使用テキスト	・講師作成プリント					
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。 授業態度・授業に対する熱意・出席率・小テストなどにより総合的に評価を行う				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	鉄道会社の組織図、鉄道業界でのキャリアパス、福利厚生・休日などについて				
2回	社会人の基礎について 学ぼう	基本的な労働条件、労働・社会保険などを学ぶ。				
3回	会社の法律 ＝就業規則とは？	鉄道業界の就業規則の記載事項について学ぶ 社会人として必ず守らないといけないルールを知る				
4回	給料の内訳を知る	社会保険・労働保険・税金の意味を知り、 使えるお金の範囲で生活をシュミレーションする				
5回	QC活動	仕事に取り組む際には自ら目的意識を持ち、改善することが大切 鉄道業界におけるQC活動を学ぶ				
6回	ビジネス自己分析	これまでの振り返り、就職活動進捗状況報告 自分の行動パターン知ったうえで、上司・同僚・友人の行動パターンを学び どのように接したら円滑に仕事が進むかを考える				
7回	できる新入社員と言われる ためには	報連相の基本 スケジューリングの大切さ これだけは押さえてほしいビジネスマナー				
8回	アフター5の過ごし方	懇親会のマナー 残業・休日出勤				
9回	社員旅行プランニング	職場で社員旅行の幹事になったことを想定して、 社員旅行のプランをグループで作成する				
10回	社員旅行プランニング 発表会	前週に作成した社員旅行のプランをグループ別に発表する 入社後の懇親会・社員旅行に活かす				
11回	アンガーマネジメント	怒りのしくみを知り、コントロールする術を学び、円滑な社会人生活を送ることを 目指す				
12回	メンタルヘルス	社会人に多いメンタル不調について学ぶ ストレスや悩みを抱え込まないためにはどうすればよいか検討する				
13回	ストレスタイプを知る	自分自身のストレスの受け方、傾向を知り、 ストレスに強いメンタルを養う				
14回	承認すること 承認されること そのメカニズム	人を認める、人から認められることは、生きる上での原動力となるが、 強すぎても弱すぎてもメンタルに影響する そのメカニズムを知る				
15回	2年間のまとめ	働くことに関する総合的なテスト 2年間のまとめ これから社会に出る皆さんへメッセージ				

エアライン

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究				クラス	V
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空業界の知識、業種、空港の施設・設備、航空機、等について講義 エアポートビジネスが支える航空運送事業について講義				授業形態	講義
到達目標	航空業界では、どのような業務が行われているか理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアポート ビジネス入門・必要に応じプリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空業界に対するイメージの意見交換を行う				
2回	エアポートビジネス	航空会社の業務と、それを取り巻く関連会社の業務について学ぶ 空港で従事する官公庁(航空局・CIQ等)について学ぶ 空港の旅客、貨物の取り扱い能力について学ぶ				
3回	航空輸送事業の歴史	航空輸送事業の歴史について学ぶ 航空憲法(45・47体制)の廃止と規制緩和について学ぶ 航空会社の新規参入と格安航空会社(LCC)の台頭について学ぶ				
4回	航空業界、近年の動向	共同運航便(コードシェア)の就航について学ぶ 航空会社グループ化の進展(アライアンス)について学ぶ 燃油特別付加運賃(オイルサーチャージ)の導入、その後の影響について学ぶ				
5回	日本の空港	空港の種類(拠点空港・地方管理空港・共用空港・その他の空港)について学ぶ 空港の機能、施設及び空港整備計画の現状について学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
6回	空港業務の概要	空港ビル会社・空港事務所・CIQ関連業務について学ぶ 航空会社及び関連会社の業務項目について学ぶ 警備会社・旅客サービス業・航空貨物代理店・フォワーダー・通関業者について学ぶ				
7回	航空機の特性	交通機関としての特性について学ぶ 商品としての特性について学ぶ 航空機の歴史、現在活躍中の航空機及び将来の航空機について学ぶ				
8回	航空会社の仕事	JALグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ ANAグループ航空会社と関連会社の組織と業務内容について学ぶ 日本における中堅航空会社と格安航空会社の組織と業務内容について学ぶ				
9回	航空会社の仕事	出発時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 到着時における旅客業務の一般的な流れについて学ぶ 空港における旅客業務のポイントを学ぶ				
10回	航空会社の仕事	運航管理業務(ディスパッチ業務)、ロードコントロール業務について学ぶ 運航支援業務(グランドハンドリング業務)について学ぶ 整備業務・ケータリング業務・旅客送迎サービス業務について学ぶ				
11回	航空貨物業務	航空貨物の輸送実績推移と航空貨物輸送の特徴について学ぶ 輸出入貨物の一般的な流れについて学ぶ 航空貨物の搭載方法と荷役機器の取り扱いについて学ぶ				
12回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(I・II・III)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ				
13回	航空業界用語	航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席・構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 航空業界用語の確認テストを行い理解する				
14回	旅客機メーカーと機種	ジェット旅客機の進化について学ぶ 世界の旅客機とメーカーについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
15回	まとめ	航空業界の今後の動向について学ぶ 授業全体を振り返って復習する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科		
科目名	ブラッシュアップ講座				クラス	Ⅴ	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	説得力のある話し方、伝え方を鍛える				授業形態	講義	
	面接トレーニング						
到達目標	エピソードの深掘りをし信憑性を高める						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
成績評価方法	・試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		☐ 第一印象の重要性について振り返り ☐ 後期課題について 身だしなみの徹底 ☐ 第二印象の重要性について①				
2回	採用試験準備		☐ 第二印象の重要性について②				
3回	採用試験準備		☐ 話し方・伝え方 1分・1分半の時間感覚を養う				
4回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ ビジネス文書:作成時の注意事項、返信のタイミング				
5回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
6回	採用試験準備		☐ グループワークトレーニング チーム内での自身の役割を理解する 「協力」の言葉の理解と、具体的な協力の仕方を体験する				
7回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
8回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
9回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
10回	採用試験準備		☐ グループワークトレーニング チーム内での自身の役割を理解する 「協力」の言葉の理解と、具体的な協力の仕方を体験する				
11回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
12回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
13回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
14回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				
15回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)				

対象学年	1年	学期	通年	学科	CA科	
科目名	アルテア国内線				クラス	V
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内線予約発券全般に加え、運賃検索や変更後の交換発行と払戻操作も学ぶ。 空港実務に沿った、接客のポイントも習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	アクセスオペレーションスペシャリスト検定 国内2級(11月実施)・国内準1級(2月実施)に全員で合格する。					
使用テキスト	2020JAL国内線予約発券×オペレーションスキル 2020JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル 国内早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	復習	最安値運賃予約(分割・TST再登録と発券)、身体障害者割引予約(予約と発券まで)のPNR作成を行う エラーメッセージを見直す(テキストにて内容を確認する) 幼児(無料・有料)と小児の入力のおさらいを行う				
2回	その他の予約方法	便指定予約の入力を学ぶ オープンセグメントの意味を理解し、入力方法を学ぶ キャンセル待ちの予約方法を習得する				
3回	乗継割引運賃	優待割引運賃(株主優待割引運賃・代理店報償優待)の概要について学ぶ 乗継ぎ割引運賃の概要を学ぶ				
4回	乗継割引運賃	乗継ぎ割引運賃入力方法を習得して、PNRを作成する 乗り継ぎ便の一連の予約と発券まで行う				
5回	イレギュラリティー	イレギュラー時の、航空便の取り扱い概要を学ぶ イレギュラー時の航空便変更や取消について学ぶ				
6回	オペレーションカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と業務・接客を学ぶ テキスト JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル2020使用する Case1(新規予約 & 発券)のペアワークと発表を行う				
7回	検定対策	「国内2級」 検定受検にあたっての心構えを学ぶ 様々な運賃で、PNR作成を行う				
8回	検定対策	「国内2級」 国内2級過去問題の課題提出と添削 国内2級の筆記対策を行う				
9回	取消と払戻	払戻手順と操作方法を学ぶ(PNRからの払戻と発券ファイルからの払戻を行う)				
10回	変更と交換発行	JALマイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
11回	変更と交換発行	便の変更と交換発行の手順を学ぶ(差額の返金や追徴の場合を含む)				
12回	オペレーションカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と業務・接客を学ぶ テキスト JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル2020使用する Case4(便の取消と払戻)のペアワークと発表を行う				
13回	セールスレポート	JALマイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
14回	検定対策	「国内準1級」 検定受検にあたっての心構えを学ぶ 国内準1級の過去問題の課題提出と添削				
15回	期末試験	総復習(予約作成～発券～変更・取消～交換発行や払戻まで) 後期期末試験(検定国内準1級の内容に準ずる)				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA英語				クラス	V
担当講師(フルネーム)	青柳明子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	フライト前のブリーフィングから着陸後までのCAの一連の業務の流れを英語で学ぶ。 実技の指導と実践を交えて理解促進を図る。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	CA業務で日常的に使われる会話や語彙を英語で学び、理解する。					
使用テキスト	English for Cabin Crew					
成績評価方法	・小テスト30% 実技演習30% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		講師紹介 授業の目的、進め方、成績評価方法について説明する			
2回	Unit1		The pre-flight briefing ブリーフィングからコックピットブリーフィングまでの目的、流れを確認する 自己紹介			
3回	Unit2		Welcome on board 離陸前の確認事項 搭乗券の読み方・座席等の名称を英語で言えるようにする			
4回	Unit3		After take-off and into the flight PA(Passenger announcement) 機内アナウンス・ケーススタディ			
5回	Unit4		Food and drinks 1 メニュー、ミールの種類を確認する ドリンクサービス:実践			
6回	Unit4		Food and drinks 2 ミールサービス:実践 機内免税販売についての基礎知識			
7回	Unit5		Minor passenger problems 様々な機内トラブルへの対応を学ぶ ケーススタディ			
8回	Unit6		Is there a doctor on board? 様々なメディカルケースへの対応・基礎知識 機内搭載医療品について学ぶ			
9回	Unit7		In-flight emergencies 1 ケース別緊急時対応について学ぶ コックピットとのコミュニケーション			
10回	Unit7		In-flight emergencies 2 Emergency evacuation 緊急避難時のコミュニケーション			
11回	Unit8		Complaints and disruptive passengers クレーム対応について学ぶ 機内での迷惑行為に対する対処			
12回	Unit9		Preparing for landing 着陸前のアナウンス、チェック事項 ケーススタディ			
13回	Unit10		Saying goodbye 着陸後の確認事項 ドアの開閉			
14回	まとめ		小テスト(採点と解答説明)			
15回	復習		授業全体を振り返って復習する 補足			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	日本語表現				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	久保田博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本語検定対策 就職試験に備え、文章力を伸ばす				授業形態	講義
到達目標	日本語検定3級合格 日本語表現をブラッシュアップする					
使用テキスト	『ステップアップ日本語講座 ― 上級』東京書籍					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期復習		前期期末試験を返却し、解答・解説			
2回	日本語検定過去問題①		過去問題(平成25年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
3回	日本語検定過去問題②		過去問題(平成26年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
4回	日本語検定過去問題③		過去問題(平成27年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
5回	日本語検定過去問題④		過去問題(平成28年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
6回	日本語検定過去問題⑤		過去問題(平成29年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
7回	日本語検定過去問題⑥		過去問題(平成30年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
8回	日本語検定過去問題⑦		過去問題(令和元年第2回)解答 間違った問題を見直し、正しく理解し直す			
9回	総合問題		総合問題を解き、復習する			
10回	日本語検定解答・解説		令和2年第2回検定問題を自己採点し、正しく理解し直す			
11回	文章作成の基本		文章作成の基本を学び、就職活動時の書類作成および面接にふさわしい表現を身につける			
12回	文章の推敲		文章を推敲する			
13回	就職活動の敬語①		就職活動時の敬語を正しく理解する			
14回	就職活動の敬語②		就職活動時の敬語を正しく理解する			
15回	まとめ		1年間の総復習			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科		
科目名	エアラインマナー				クラス	Ⅴ	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	好印象を与えるマナーの実践				授業形態	講義	
	面接トレーニング						
到達目標	「おもてなし」を意識した立ち居振る舞いができる						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
成績評価方法	・試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		□授業の進め方 □ES／履歴書の作成ポイント／マナー エントリー時の注意事項(郵送、WEB)／設問以外の記入の仕方について(趣味・特技)				
2回	採用試験準備		□歩き方、座り方、姿勢、表情の確認 □言葉遣い □スピーチ				
3回	採用試験準備		□入退室時の第一印象 □面接中の振る舞い □スピーチ				
4回	採用試験準備		□スピーチ □ビジネスメールの基本				
5回	採用試験準備		□スピーチ □ビジネスメール(企業への返信の仕方)				
6回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
7回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
8回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
9回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
10回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
11回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
12回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
13回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
14回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
15回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	CA受験対策				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	質問の意図を理解する(選考のポイントを理解した準備) 面接トレーニング				授業形態	講義
到達目標	内定獲得に必要なスキルを高める					
使用テキスト	オリジナルテキスト					
成績評価方法	・試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		☐ 過去ESの設問の確認(エピソードの当てはめ) ☐ 資格取得状況の確認/証明写真・スナップ写真について ☐ 説明会に参加する時のマナー/質問の仕方			
2回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 各選考の評価ポイントの理解(G面接)			
3回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 採用試験の種類とそのポイント/対策 GD/GWIについて			
4回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
5回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
6回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
7回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
8回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
9回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
10回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
11回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
12回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
13回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
14回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
15回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC I				クラス	V
担当講師(フルネーム)	日高郁子				実務経験	無
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期の総復習 Part5	品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト				
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4	分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト				
3回	Part7	Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト				
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6	動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト				
5回	関係代名詞 Part3	関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト				
6回	関係副詞 Part4	関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト				
7回	仮定法 Part1&2	仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト				
8回	比較級	比較級 Part7 Part5 単語テスト				
9回	模擬テスト (リスニング)	模擬テストリスニング 解答 単語テスト				
10回	模擬テスト (筆記)	模擬テスト筆記 解答				
11回	that節	様々なthatの用法 単語テスト				
12回	リスニング全般	Part1～4 単語テスト				
13回	リーディング全般	Part5～7 単語テスト				
14回	文法総復習	Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト				
15回	期末対策	期末対策				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	TOEIC II				クラス	V
担当講師(フルネーム)	日高郁子				実務経験	無
授業概要(内容)	TOEICに特化した文法を基礎から復習。語彙力を高め、音読、シャドウイングなどでリスニング力を強化してスコアアップにつなげる。 ※レベルに合わせるためシラバス通りに進まない場合があります。				授業形態	講義
到達目標	各自の目標スコアを達成する。					
使用テキスト	TOEIC L&R戦略的トレーニング:レベル500 / TOEIC L&R TEST 出る単特急 銀のフレーズ					
成績評価方法	・期末試験50% 単語熟語テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の総復習 Part5		品詞(名詞、形容詞、副詞)の見分け方 品詞問題の解き方 Part5 品詞以外にも前期に学んだことを生かしてPart5を解く方法を復習する 単語テスト			
2回	分詞の形容詞的用法 &分詞構文 Part4		分詞の形容詞的用法、分詞構文 Part4 Part5 単語テスト			
3回	Part7		Part7(長文の解き方) Part5 単語テスト			
4回	動詞の形 名詞・冠詞 part6		動詞の形 名詞・冠詞 Part6 Part5 単語テスト			
5回	関係代名詞 Part3		関係代名詞 Part3 Part5 単語テスト			
6回	関係副詞 Part4		関係副詞、関係代名詞と関係副詞の置き換え Part4 単語テスト			
7回	仮定法 Part1&2		仮定法 Part1 Part2 Part5 Part6 単語テスト			
8回	比較級		比較級 Part7 Part5 単語テスト			
9回	模擬テスト (リスニング)		模擬テストリスニング 解答 単語テスト			
10回	模擬テスト (筆記)		模擬テスト筆記 解答			
11回	that節		様々なthatの用法 単語テスト			
12回	リスニング全般		Part1～4 単語テスト			
13回	リーディング全般		Part5～7 単語テスト			
14回	文法総復習		Part5 これまでの文法の総復習 単語テスト			
15回	期末対策		期末対策			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	OPV
担当講師(フルネーム)	久保田博子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	日常生活だけでなく、空港・航空機内で使う語彙や会話表現を学び、オンラインレッスンで実践する				授業形態	講義&演習
到達目標	学んだ英語をエアライン業界での接客に活かせるようにする					
使用テキスト	絵で見てパッと言う英会話トレーニング 基礎編					
成績評価方法	オンラインレッスン評価50% 小テスト30% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	絵で見てパッと英会話		Scene 8: 感想(1)			
2回	絵で見てパッと英会話		Scene 8: 感想(2)			
3回	おもてなし英語		空港: 出発ゲート業務			
4回	絵で見てパッと英会話		Scene 9: ほめる(1)			
5回	絵で見てパッと英会話		Scene 9: ほめる(2)			
6回	おもてなし英語		空港: 預け入れ荷物返却時			
7回	絵で見てパッと英会話		Scene 10: 気づかう			
8回	絵で見てパッと英会話		Scene 11: 依頼			
9回	おもてなし英語		空港: よく聞かれる質問			
10回	絵で見てパッと英会話		Scene 12: 提案(1)			
11回	絵で見てパッと英会話		Scene 12: 提案(2)			
12回	おもてなし英語		機内: 搭乗時			
13回	絵で見てパッと英会話		Scene 13: スモールトーク(1)			
14回	絵で見てパッと英会話		Scene 13: スモールトーク(2)			
15回	おもてなし英語		機内: 離着陸時			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	エアラインゼミ				クラス	V
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	各企業の求められる人材像を探る 面接トレーニング				授業形態	講義
到達目標	企業の社風を知り、求められる人材像の仮説が立てられる					
使用テキスト	オリジナルテキスト					
成績評価方法	・試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		☐ 授業の進め方 ☐ 企業研究の仕方			
2回	採用試験準備		☐ ソラシドエア企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
3回	採用試験準備		☐ スターフライヤー企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
4回	採用試験準備		☐ JTA企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
5回	採用試験準備		☐ J-AIR企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
6回	採用試験準備		☐ スカイマーク企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
7回	採用試験準備		☐ オリエンタルエアブリッジ、天草エアライン、琉球コンキーター企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
8回	採用試験準備		☐ フジドリームエアライン企業研究 ☐ 面接練習			
9回	採用試験準備		☐ AS羽田、JALスカイ企業研究 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
10回	採用試験準備		☐ GSとCAの魅力 ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
11回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
12回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
13回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
14回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			
15回	採用試験準備		☐ スピーチ ☐ 面接準備(面接トレーニング含む)			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科		
科目名	面接対策				クラス	Ⅴ	
担当講師(フルネーム)	脇山奈津美				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	選考のポイントを理解した面接の実践(GW／GD／個人、G面接)				授業形態	講義	
	面接トレーニング						
到達目標	自分の考えを自分の言葉で伝えられる						
使用テキスト	オリジナルテキスト						
成績評価方法	・試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		□授業の進め方(課題、取り組み) □インターンへのエントリーについて				
2回	採用試験準備		□スピーチ □設問の回答:「学生時代に頑張ったこと」				
3回	採用試験準備		□スピーチ □設問の回答と添削:「学生時代に頑張ったこと」				
4回	採用試験準備		□スピーチ □志望動機の書き方				
5回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
6回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
7回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
8回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
9回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
10回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
11回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
12回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
13回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
14回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				
15回	採用試験準備		□スピーチ □面接準備(面接トレーニング含む)				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	ペン字				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	坂口順子・青木初恵				実務経験	無
授業概要(内容)	文字の基本を学び様々な用途に合わせた書式とバランスを学ぶ				授業形態	講義&演習
到達目標	文字の基本を学んだことを参考にして履歴書を完成させる					
使用テキスト	オリジナルテキスト・下書き・ペン2種類					
成績評価方法	提出物70%・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ	授業内容				
1回	文字の基本を学ぶ①	文字を書くための基本～姿勢・ペンの持ち方・種類 活字文字と手書き文字の違い・名前の配字と配列 自分の名前～名前の練習 書写理論 筆順①				
2回	文字の基本を学ぶ②	文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ① 書写理論 筆順②				
3回	文字の基本を学ぶ③	文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ② 書写理論 筆順③				
4回	文字の基本を学ぶ④	文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ③ 書写理論 筆順④				
5回	文字の基本を学ぶ⑤	文字(漢字)のバランスの取り方を学ぶ④ 書写理論 筆順⑤				
6回	文字の基本を学ぶ⑥	文字(平仮名・片仮名)のバランスの取り方を学ぶ① 書写理論 部首①				
7回	文字の基本を学ぶ⑦	文字(平仮名・片仮名)のバランスの取り方を学ぶ② 数字の練習 書写理論 部首②				
8回	文字の基本を学ぶ⑧	文章のまとめ方 漢字・平仮名・片仮名・数字～縦書き・横書きの書式とバランス① 書写理論 常用漢字の間違い探し①				
9回	文字の基本を学ぶ⑨	文章のまとめ方 漢字・平仮名・片仮名・数字～縦書き・横書きの書式とバランス② 書写理論 常用漢字の間違い探し②				
10回	履歴書の書き方①	名前の書き方～配字・配列(復習) 履歴書に出てくる文字の書き取り練習 書写理論 常用漢字の間違い探し③				
11回	履歴書の書き方②	履歴書の書き方(見本)の書き取り練習 書写理論 常用漢字の間違い探し④				
12回	履歴書の書き方③	履歴書オリジナル資料を参考に下書きを作る① 名前・住所・学歴・免許・資格など 書写理論 常用漢字の間違い探し⑤				
13回	履歴書の書き方④	履歴書オリジナル資料を参考に下書きを作る② 自己PR・志望動機など 書写理論 まとめ				
14回	履歴書の書き方⑤	履歴書～まとめ 履歴書を1枚仕上げる一提出				
15回	後期のまとめ	縦書きの名前～書き方と書き取り練習(2年生前期～実用書を学ぶの予習) 「美文字になるための授業」を学んで 書写理論 筆順復習				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	手話				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	鶴田由香				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	聴覚障害者への理解 日常会話の手話				授業形態	講義&演習
到達目標	基本的な手話で表現できる					
使用テキスト	手話を学ぼう 手話で話そう					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	手話とは	聴覚障害について コミュニケーション方法と手話				
2回	伝え合ってみましょう	第1. 2講座 手話を見る言葉				
3回	自己紹介しましょう	第3講座 名前の表し方 手話であいさつをしましょう				
4回	家族の紹介をしましょう	第4講座 人物の表し方 疑問詞 誰				
5回	数の表し方	第5講座 数を使って表しましょう 疑問詞 いくつ				
6回	趣味と仕事	第7講座 仕事について 仕事をテーマに表現				
7回	住所を紹介しましょう	第8講座 地名や住所の表現 日本都道府県の手話				
8回	自己紹介 まとめ	これまでのまとめで自己紹介				
9回	一日、一か月、一年の表現	第10, 11講座 時の経過の表現、過去				
10回	プライベートに関する手話	第13, 14 パーティや旅行についての会話				
11回	病気に関する手話	第15, 16講座 日常のなかで起こりうる事				
12回	職場に関する手話	第17講座 職場をテーマに表現				
13回	表情豊かに	第19. 20講座 具体的に表現する				
14回	手話で話そう	接客手話をつかって対応する 聴覚障害者のお客様				
15回	まとめ	手話とは 総復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	航空業界研究				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空会社及び関連会社の業務、航空機、空港施設・設備について講義 航空輸送の現状について講義				授業形態	講義
到達目標	航空業界の全体を理解し、就職活動に役立つ知識を習得する					
使用テキスト	エアライン ビジネス入門・プリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	後期授業内容(授業の進め方・成績評価方法)を具体的に説明する 前期授業内容(航空業界の歴史)を復習する 航空業界の今後の動向について説明し学ぶ				
2回	航空会社の仕事	運航管理業務(ディスパッチ)、ステーション・コーディネーション業務について学ぶ 運航支援業務(グランドハンドリング)について学ぶ 整備業務、ケータリング業務について学ぶ				
3回	旅客送迎サービス業務	旅客送迎サービス業務の概要について学ぶ 出発時のサービス業務について学ぶ 到着時のサービス業務とトラブル対応について学ぶ				
4回	航空保安	保安対策基準の脅威レベル(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ)について学ぶ 搭乗旅客および機内持ち込み手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ 受託手荷物に関わる保安対策基準について学ぶ				
5回	航空機運航情報	運航スケジュールの見方(FLT NUMBER)について学ぶ 飛行機の登録番号(SHIP NUMBER)について学ぶ フライトオペレーションでのブリーフィング内容、等について学ぶ				
6回	航空業界用語	航空機・運航・整備・空港施設・取り扱い関係用語について学ぶ 飛行機の座席構造に関する用語、航空一般用語について学ぶ 航空業界用語の確認テストを行い理解する				
7回	旅客機メーカーと機種	ジェット旅客機の進化について学ぶ 世界の旅客機とメーカーについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
8回	日本と世界のエアライン	エアラインを取り巻く環境について学ぶ エアラインの戦略、各社の提携と路線展開について学ぶ エアライン発展の一世紀について学ぶ				
9回	フライトオペレーション	フライトプラン作成に欠かせない航空情報について学ぶ 乗客の搭乗完了、出発(プッシュバックからタキシングまで)について学ぶ 安全運航を脅かす気象現象について学ぶ				
10回	エアトラベル	航空会社別、多種多様な運賃体系について学ぶ コンフィギュレーションにみる航空会社の戦略について学ぶ 飛行機の非常用設備と、その使用法について学ぶ				
11回	日本の航空輸送	日本の航空輸送の変遷について学ぶ 日本の航空輸送、今後の課題について学ぶ				
12回	世界の航空輸送	世界の航空輸送の歴史について学ぶ 世界の航空輸送と枠組みについて学ぶ 国際旅客輸送の現状について学ぶ				
13回	空港の基本構造	空港の基本構造について学ぶ 現代空港ターミナルビル構造について学ぶ 日本の空港・ランウェイデータについて学ぶ				
14回	航空管制	飛行機が航行する空域と飛行ルートについて学ぶ 管制業務について学ぶ 運航に影響する気象現象について学ぶ				
15回	まとめ	授業全体を振り返って復習する 小テスト(採点と解答説明)				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	空港実務				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	海外の空港や航空会社の特徴、国際線におけるお客さまの流れを学ぶ サービスについて考え、接客を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国際線の基礎を理解する					
使用テキスト	ANAグラウンドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について 前期の復習				
2回	海外の空港	海外の空港を知る 各空港の特徴を学ぶ 空港および都市の3レターを覚える				
3回	海外の航空会社	海外の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の2レターを覚える				
4回	航空専門用語①	専門用語や略語を覚える どのような場面で使われるか理解する				
5回	航空専門用語②	専門用語や略語を覚える どのような場面で使われるか理解する				
6回	出入国書類	パスポートについて学ぶ ビザについて学ぶ 出入国書類に関する航空会社の責任について学ぶ				
7回	CIQ①	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ				
8回	CIQ②	CIQの役割を理解する 国際線における手続きを学ぶ 国際線におけるお客様の流れを学ぶ				
9回	国際線の手荷物	手荷物のルールを復習する 国際線における手荷物のルールを学ぶ 危険物について復習する				
10回	国際線の機内サービス	国際線のクラス、機内の設備、食事について学ぶ “良いサービス”とは何かを考える FSCとLCCを比べる				
11回	アライアンス	3つのアライアンスについて学ぶ 各アライアンスの加盟航空会社を学ぶ アライアンス加盟によるメリットを理解する				
12回	保安	アメリカ同時多発テロ事件について学ぶ 全日空機ハイジャック事件について学ぶ 安全に対し、より一層理解を深める				
13回	アナウンス	空港や機内における様々な場面でのアナウンスを学ぶ 素アナウンスに挑戦する				
14回	イレギュラーとクレーム	不可抗力と会社都合による欠航・遅延について学ぶ イレギュラー時のハンドリングについて学ぶ クレームについて理解を深め、対応のポイントを学ぶ				
15回	まとめ	1年間の復習				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	アルテア国内線				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	横瀬敦子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内線予約発券全般に加え、運賃検索や変更後の交換発行と払戻操作も学ぶ。 空港実務に沿った、接客のポイントも習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	アクセスオペレーションスペシャリスト検定 国内2級(11月実施)・国内準1級(2月実施)に全員で合格する。					
使用テキスト	2020JAL国内線予約発券×オペレーションスキル 2020JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル 国内早見表					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	復習	最安値運賃予約(分割・TST再登録と発券)、身体障害者割引予約(予約と発券まで)のPNR作成を行う エラーメッセージを見直す(テキストにて内容を確認する) 幼児(無料・有料)と小児の入力のおさらいを行う				
2回	その他の予約方法	便指定予約の入力を学ぶ オープンセグメントの意味を理解し、入力方法を学ぶ キャンセル待ちの予約方法を習得する				
3回	乗継割引運賃	優待割引運賃(株主優待割引運賃・代理店報償優待)の概要について学ぶ 乗継ぎ割引運賃の概要を学ぶ				
4回	乗継割引運賃	乗継ぎ割引運賃入力方法を習得して、PNRを作成する 乗り継ぎ便の一連の予約と発券まで行う				
5回	イレギュラリティー	イレギュラー時の、航空便の取り扱い概要を学ぶ イレギュラー時の航空便変更や取消について学ぶ				
6回	オペレーションカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と業務・接客を学ぶ テキスト JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル2020使用する Case1(新規予約 & 発券)のペアワークと発表を行う				
7回	検定対策	「国内2級」 検定受検にあたっての心構えを学ぶ 様々な運賃で、PNR作成を行う				
8回	検定対策	「国内2級」 国内2級過去問題の課題提出と添削 国内2級の筆記対策を行う				
9回	取消と払戻	払戻手順と操作方法を学ぶ(PNRからの払戻と発券ファイルからの払戻を行う)				
10回	変更と交換発行	JALマイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
11回	変更と交換発行	便の変更と交換発行の手順を学ぶ(差額の返金や追徴の場合を含む)				
12回	オペレーションカウンタースキル	※空港カウンターを想定した端末操作と業務・接客を学ぶ テキスト JAL国内線予約発券エアポートカウンタースキル2020使用する Case4(便の取消と払戻)のペアワークと発表を行う				
13回	セールスレポート	JALマイレージについて概要を学ぶ マイレージのPNRへの入力方法を習得する 画面セールスレポートの見方を学ぶ、セールスレポートからのVOID処理を習得する				
14回	検定対策	「国内準1級」 検定受検にあたっての心構えを学ぶ 国内準1級の過去問題の課題提出と添削				
15回	期末試験	総復習(予約作成～発券～変更・取消～交換発行や払戻まで) 後期期末試験(検定国内準1級の内容に準ずる)				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン課	
科目名	グランドハンドリング(後期)				クラス	OP選択
担当講師(フルネーム)	松下良朗				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日々進歩している航空機地上業務・航空輸送業務に対応する知識を習得する 航空会社が求めるグランドハンドリング業務全般を理解する				授業形態	講義
到達目標	グランドハンドリング業務(地上支援業務)に必要な関連知識の習得を目的とする					
使用テキスト	航空機のグランドハンドリング(日本航空技術協会)・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	前期授業振り返り	・前期授業の振り返り ・前期期末テストの解説 ・後期授業の説明				
2回	機体サービス作業	・機体空調サービス(低圧空気)の供給作業について概要を説明する。 ・機体電源供給作業の操作方法。サービスパネルの位置について学ぶ。 ・エアスターター(高温高圧空気)供給作業について概要を説明する。				
3回	客室サービス作業	・客室クリーニングの種類、作業者の訓練・資格について学ぶ ・客室用品の搭載取り卸しとセッティングについて概要を説明する ・客室用品の補充・受け入れ作業について概要を説明する				
4回	燃料搭載作業	・航空燃料(ジェット燃料)について学ぶ ・搭載量(燃料オーダー)・給油方法(フューエー方式・ハイドランド方式)について学ぶ ・燃料搭載作業手順について理解する。 作業のための資格について知る				
5回	機体の防雪・防水作業	・一般 防除雪氷液の種類性能について学ぶ ・ホールドオーバータイムの意味・変化する要因 ガイドラインに示された気象条件について学ぶ ・フローオフの特性・防除雪氷について学ぶ				
6回	ヘリコプター/小型航空機のグランドハンドリング	・ヘリコプターの飛行の仕組みを知る ・グランドハンドリング概要 ・ヘリの構造 小型機の概要 適用				
7回	航空危険物	・搭載従事者のための航空危険物1 航空輸送に関する法規 危険物輸送の概要 危険物の定義を学ぶ				
8回	航空危険物	・搭載従事者のための航空危険物2 輸送禁止品目 放射性物質の輸送 旅客に対する援助規定を理解する				
9回	空港管理規定	・制限区域内安全管理規定・エプロン運用要領・保安管理規定・危機管理について学ぶ ・模擬試験(制限区域内車両試験) ・GRID MAP				
10回	グランドハンドリング作業	・搭載取り卸し作業の実務を学ぶ ・貨物機の搭載/取り卸し準備/器材の取り扱いB/BL/C/P ・貨物機の取り卸し/搭載 ・ULD DIM 特殊搭載方法 F/P方式 機内積み付け方式				
11回	グランドハンドリング作業	・地上支援器材の取り扱いについて(概要・トパー牽引車 トパーレス牽引車)について学ぶ ・トパー・ダミーSHIP ・車両取り扱い PSC/CS/MDL/MDT/HLB/ BL/TC/TT/FT				
12回	グランドハンドリング作業	・搭載取り卸し作業GRAND SERVICE EQUIPMENTの取り扱いを知る ・機種別CGO DOOR取り扱いを知る ・構造を学ぶ ・PBB取り扱い(機能と仕組み)について学ぶ				
13回	グランドハンドリング作業	・テールスタンション/テザリングの取り扱いを知る ・メインデッキハンドリングシステム/NOSEドア・サイドカーゴドアのOPEN/CLOSE ・重量分散 エリアロード/リニアロード				
14回	グランドハンドリング作業	・まとめ 授業全体を通し、グランドハンドリング会社の実際の映像(参考資料)を視聴し、航空機の発着及び作業の流れを理解する。				
15回	授業まとめ	・小テスト ・社会人への心構え ・フィロソフィ教育を学ぶ。				

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	エアカーゴ概論				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	正: 秦隆益 副: 元田孝幸				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	①国内・国際貨物、郵便取扱い業務およびロードコントロール業務を経験 ②航空貨物取扱い全般に加えてその他付随する他業務について講義				授業形態	講義 & 演習
到達目標	航空貨物取扱いについての基礎知識を学ぶことにより、航空業務への視野を広げる					
使用テキスト	エアカーゴマニュアル 作成資料プリント配布					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	貨物の輸送形態		・前期振り返り ・貨物受託基準・保管基準・荷役作業基準 ・取扱いラベルの説明			
2回			・積付け基準・重量分散 ・タイダウン要領 ・理解度クイズ			
3回			・運航重量の算出 ・重量差異の確認・搭載指示書 ・通気が必要な動物取扱い ・理解度クイズ			
4回	危険物輸送		・危険物の分類 ・航空郵便として輸送可能な危険物 ・申告漏れになりがちな危険物(隠れた危険物)			
5回			・危険物受託要件 (申告書・IATA規則書・ラベリング・マーキング・運送状・受託チェックシート)			
6回			・少量危険物・微量危険物・CAO ・搭載基準・隔離基準			
7回			・運航部門への通知 ・機長への通知 ・危険物事故処理要領 ・危険物に起因する事故事例紹介			
8回	イレギュラーケース		・貨物損傷、紛失 ・ダイバート、オフロード、欠航時の対処 ・事故の種類、要因等と損害賠償			
9回	ロードプラン		・WIDE/NARROW機の特徴 ・搭載計画書を作成する上での注意点 (搭載基準・隔離基準)			
10回			・ロードプラン演習 (WIDE/NARROW機)			
11回	ウエイト&バランス		・折り紙飛行機を用いての重心位置説明(演習)			
12回			・用語の説明 ・重量の構成、重心位置、運用限界 ・理解度クイズ			
13回			・ウエイト&バランスシート作成(演習)			
14回	後期のまとめ		・後期授業のまとめ ・期末試験対策			
15回	年間のまとめ		・1年間を振り返る(理解不足の洗い出し、補足説明)			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	空港英語				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	高木美希				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	飛行機出発から到着までに使われる英語の語彙と会話について学ぶ。 国際線及び外資系航空会社について学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	国際線及び世界の航空会社について理解を深め、機内で使われる英会話及び語彙を習得する。					
使用テキスト	プリント・パワーポイント・DVD					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点(小テスト)20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		前期末試験の答案返却と解説 後期の授業概要と目的、成績評価について理解する。			
2回	航空業界の仕事		前期で学んだ内容を振り返り、出発から到着まで、航空業界で働く人々の仕事内容を理解する。			
3回	渡航書類について		パスポートと航空券に書かれている内容を理解する。 【小テスト①】			
4回	世界のエアライン		日本に就航している代表的な外資系航空会社について学ぶ。 世界の主要都市について学ぶ。 【小テスト②】			
5回	世界のエアライン		日本に就航している代表的な外資系航空会社について学ぶ。 世界の主要都市について学ぶ。 【小テスト③】			
6回	出発前準備・搭乗		飛行機が出発するまでの流れを理解する。 係員が乗客搭乗時に注意する事を理解する。 【小テスト④】			
7回	機内サービス		機内に搭載されている飲み物や機内食について理解する。 【小テスト⑤】			
8回	機内サービス		英語での接客ロールプレイを経験し、基本的な会話ができるようになる。 【小テスト⑥】			
9回	機内安全		機内での非常用設備の種類を理解する。			
10回	機内安全		救命胴衣を実際に着用し、デモンストレーションを体験する。 【小テスト⑦】			
11回	機内での病気		機内で起こりやすい症状や病名を、英語で表現できるようになる。 【小テスト⑧】			
12回	アナウンス		前期で学んだ、空港でのアナウンスに加え、機内アナウンスも理解する。 【小テスト⑨】			
13回	アナウンス		原稿を見ながら、実際に声に出してアナウンスをする。 アナウンスは全員行う。 【小テスト⑩】			
14回	アナウンス		原稿を見ながら、実際に声に出してアナウンスをする。 アナウンスを全員実施後、実際のアナウンスのリスニングを行う。			
15回	まとめ		後期学習した内容の振り返りをし、期末試験に備える。			

対象学年	1年	学期	通年	学科	エアライン科		
科目名	就職活動講座				クラス	OP	
担当講師(フルネーム)	(正)吉原正彦/(副)小林俊也				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職試験のための対策 面接練習				授業形態	講義&演習	
到達目標	就職活動の準備ができている状態にする						
使用テキスト	専門学校生のための就職内定基本テキスト・就職ノート・プリント						
成績評価方法	※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
	提出物・授業態度・身だしなみ・出席率により評価						
期末試験	× 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション①		夏休みの課題(志望動機・自己PR)を添削				
2回	オリエンテーション②		夏休みの課題(志望動機・自己PR)を添削				
3回	面接対策 自分の性格を知ろう		面接練習:自分の性格(長所・短所)について				
4回	面接対策 自分の性格を知ろう		面接練習:自分の性格(長所・短所)について				
5回	面接対策 自分の職業観を知ろう		面接練習:自分の職業観について				
6回	面接対策 自分の職業観を知ろう		面接練習:自分の職業観について				
7回	面接対策 自己PRの練り直し		面接練習:自己PR				
8回	面接対策 自己PRの練り直し		面接練習:自己PR				
9回	面接対策 志望動機の練り直し		面接練習:志望動機				
10回	面接対策 志望動機の練り直し		面接練習:志望動機				
11回	面接対策 エントリーシートの作成		面接練習:エントリーシートの内容				
12回	面接対策 エントリーシートの作成		面接練習:エントリーシートの内容				
13回	面接シュミレーション		就職セミナーに向けて				
14回	面接練習①		集団面接 自己PR&志望動機				
15回	面接練習②		集団面接 自己PR&志望動機				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	ユニバーサルサービス				クラス	OP
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	障害者や高齢者の生活の一部を体験し、理解を深める 基本的な介助知識を身につける				授業形態	講義
到達目標	仕事だけではなく、日常生活でも気づき実践できるようになる					
使用テキスト	接客・接遇のためのユニバーサルサービス基本テキスト					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について理解する ユニバーサルデザインについて考える 身近なユニバーサルデザインを知る				
2回	視覚障害者へのサービス①	視覚障害者についての基本知識を習得する 介助犬について学ぶ 盲導犬について理解を深める				
3回	視覚障害者へのサービス②	視覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 全盲体験をする 体験から学んだことを共有する				
4回	視覚障害者へのサービス③	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
5回	視覚障害者へのサービス④	視覚障害者への接客を学ぶ 手引きの方法を学ぶ 空港内を想定し案内する				
6回	聴覚障害者へのサービス①	聴覚障害者の基本知識を習得する 聴覚障害者の日常生活の一部を体験し、理解を深める 体験から学んだことを共有する				
7回	聴覚障害者へのサービス②	様々なコミュニケーション方法を学ぶ 筆談でチェックイン業務を行う				
8回	高齢者へのサービス①	高齢者についての基本知識を習得する 高齢社会について考える 加齢に伴う心身の変化を理解する				
9回	高齢者へのサービス②	認知症についての基本知識を習得する 認知症の症状を学ぶ 高齢者への接客を学ぶ				
10回	知的・発達・精神・言語障害のある方	知的・発達・精神・言語障害についての基本知識を習得する 知的・発達・精神・言語障害者への接客を学ぶ				
11回	内部障害のある方	内部障害についての基本知識を習得する 内部障害者への接客を学ぶ				
12回	妊娠中の方・小さなお子さま連れの方	妊娠中の方についての基本知識を習得する 小さなお子さま連れの方への接客を学ぶ 施設や店舗で喜ばれるサービスを考える				
13回	肢体障害者へのサービス①	肢体障害者や麻痺のある方についての基本知識を習得する 車椅子の種類と基本操作を学ぶ 校内を自走する				
14回	肢体障害者へのサービス②	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				
15回	肢体障害者へのサービス③	車椅子をご利用の方への案内方法を学ぶ 自走体験をもとに注意すべき点に気づく 空港内を想定し案内する				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	エアライン科	
科目名	航空機概論				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	吉原正彦				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	航空機の発達、技術の進歩について講義 世界の空で活躍する旅客機の機種、メーカー、メカニズムについて講義				授業形態	講義
到達目標	航空機の機体構造・各部の名称と機能、役割について理解する					
使用テキスト	プリント教材・パワーポイント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的について説明する 授業の進め方、成績評価方法について説明する 航空機に対する思い、イメージ等について意見交換を行う				
2回	旅客機の機種とメーカー	世界の旅客機とメーカーについて学ぶ 航空機の国籍・機体番号の役割について学ぶ				
3回	飛行機の構造	飛行機の形、その理由について学ぶ 飛行機の各部の名称・機能について学ぶ 飛行機の構造と製造プロセスについて学ぶ				
4回	飛行の原理	飛行機と航空機の違いについて学ぶ 飛行機が飛ぶための原理(飛行機に働く4つの力)について学ぶ 離陸・旋回・着陸のためのしくみについて学ぶ				
5回	旅客機のメカニズム	飛行機が軽くて丈夫なわけについて学ぶ 旅客機の胴体断面が円い理由について学ぶ 旅客機の主翼はなぜ細長いのか？主翼には何が入っているのか？について学ぶ				
6回	機体構造と役割	主翼・水平尾翼・垂直尾翼が飛行に果たす役割について学ぶ 動翼(スポイラー・フラップ・エルロン・エレベーター・ラダー)及び主輪・前輪の構造、役割について学ぶ				
7回	機体構造と役割	制動装置(ブレーキ・システム)の仕組みについて学ぶ 地表と航空機をつなぐ着陸装置(緩衝装置)について学ぶ 着陸装置用タイヤについて学ぶ				
8回	機体構造と役割	飛行機の発電システムと電力供給システムについて学ぶ 飛行機の与圧・空調装置の仕組みについて学ぶ 小テスト(採点と解答説明)				
9回	機体構造と役割	ジェット・エンジンのしくみ、働きと種類について学ぶ ターボジェット・エンジン、ターボプロップ・エンジン、ターボシャフト・エンジンの違いについて学ぶ ターボファン・エンジンの働きについて学ぶ				
10回	機体構造と役割	機体の内部構造、各種ドアについて学ぶ 客室(座席の種類・座席の配列・ギャレーの構造及び機能・収納庫、等)について学ぶ 貨物室(前方・後方・バルク)について学ぶ				
11回	飛行機の運航システム	旅客機のコックピットは、どのような仕組みになっているか学ぶ 日本の航空会社で活躍中の主要な旅客機のコックピットについて説明する				
12回	飛行機の運航システム	どのくらいの高さを、どのように飛ぶかについて学ぶ 巡航高度はどのように保たれているのか、また飛行高度、飛行速度の測り方について学ぶ 電波・目視・ボイスなど様々なアプローチ法について学ぶ				
13回	飛行機の運航システム	安全運航を脅かす気象現象は何か？について学ぶ 警報システムの名称と役割及び安全対策備品について学ぶ 自動操縦装置機能が安全運航に果たす役割について学ぶ				
14回	飛行に関わる機体の要素	飛行機に装備されている灯火系統と航空灯の種類と役割について学ぶ 飛行機に装備されている多種多様なアンテナについて学ぶ ハイテクを駆使して収益性や環境保護に配慮した最新鋭旅客機について学ぶ				
15回	まとめ	授業のまとめ、復習し確認する 小テスト(採点と解答説明)				

対象学年	2年	学期	通年	学科	エアライン科	
科目名	観光英語				クラス	QR
担当講師(フルネーム)	挽田雅子・平島千華・青柳明子				実務経験	無
授業概要(内容)	エアラインビジネスに必要な英語の語彙と表現を指導する 航空業界の主要な場面のやりとりから、英語コミュニケーションを学ぶ				授業形態	講義
到達目標	航空・観光系の英語を身につける。接客に必要な英語表現を学び、実際に会話ができるようになる。					
使用テキスト	English for Tourism Professionals					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Unit9(1) Offering in-flight services	life-jacketの使い方 While boarding: お客様の手助け During the meal service				
2回	Unit9(2) Offering in-flight services	Dialogue Study Pair Speaking Practice Role Play				
3回	Unit9(3) Offering in-flight services	機内アナウンスのスク립トを読む ファーストクラスについてのパンフレットを読む 質問に答える				
4回	Unit10(1) Giving CIQ information	Customs officer, immigration officer, quarantine officer entry form について customs form について				
5回	Unit10(2) Giving CIQ information	免税に関する情報 CIQの情報 Role Play				
6回	Unit10(3) Giving CIQ information	カナダの税関申告書の説明を読む 税関申告書に記入する Pair Speaking Practice				
7回	Unit13(1) Helping guests	ホテルのさまざまな職種 コンシェルジュとの会話 日光への行き方を案内する				
8回	Unit13(2) Helping guests	鉄道案内 お客様のリクエストに答える Pair Speaking Practice				
9回	Unit13(3) Helping guests	チェックイン時に受け取った手紙を読む 新聞のコラム記事を読む Role Play				
10回	Unit14(1) Dealing with complaints	ホテルでの要望・問題・苦情 お客様の苦情に答える Dialogue Study				
11回	Unit14(2) Dealing with complaints	お客様のリクエストに応答する お詫びの気持ちを伝える Pair Speaking Practice				
12回	Unit14(3) Dealing with complaints	インタビュー記事を読む 苦情対応の方法についての説明文を読む Role Play				
13回	Unit3(1) Escorting a tour	航空機酔いのお客様への対応 遺失物について伝える Dialogue Study				
14回	Unit3(2) Escorting a tour	Pair Speaking Practice Role Play 病気の表現				
15回	まとめと復習	後期のまとめ Vocabularyを覚える Useful Expressions を身につける				

国際ホテルマネジメント科 観光ビジネス進学科

* 共通する科目は、国際ホテルマネジメント科にあります。

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテル総論				クラス	S
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテリアとして理解しておくべき基礎知識を学ぶ。				授業形態	講義
到達目標	ホテルの専門知識を学び、即戦力としての力を身に付ける。					
使用テキスト	ホテルテキスト 基礎から学ぶ ホテルの概論					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション ホテル内の様々な職種		前期の学習内容について説明 評価方法について説明 管理部門の職種、営業部門の職種			
2回	ホテル内の様々な職種 宿泊部門の基礎		調理部門の職種 客室からの眺望 宿泊の料金設定			
3回	宿泊部門の基礎		客室備品の名称について(ルームエントランス、ベッドルーム、バスルーム)			
4回	料飲部門の基礎 宴会部門の基礎		ホテルレストランについて(朝食、ランチ、ディナー、アフタヌーンティー) 宴会部門の仕事			
5回	専門用語		ホテルでよく使われる専門用語を解説する。			
6回	専門用語		ホテルでよく使われる専門用語を解説する。			
7回	専門用語		ホテルでよく使われる専門用語を解説する。			
8回	ホテルスタッフに 求められる能力		ホテルスタッフが知っておくべき基本的な知識 スペシャリスト・ジェネラリスト ホスピタリティとは			
9回	ホテルを取り巻く環境		旅行会社との関わり インターネットによる予約のメリット・デメリット 高級化と低価格化			
10回	ホテルの社会的責任		防災や食中毒・アレルギーと、その対応 個人情報・プライバシーについて これからのホテル			
11回	安全についての意識		日本のホテル史上最悪の火災について。			
12回	ホテルで働くということ		他の業種との違い 勤務形態(二交代・三交代) 雇用形態(正社員・契約社員など)			
13回	後期授業のまとめ		後期授業の復習を行う。			
14回	期末試験		期末試験を行う。			
15回	期末試験のおさらい		期末試験を返却し、内容を復習する。			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントサービス				クラス	S
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	客室部門の業務内容、及び他部門との連帯作業を学ぶ。				授業形態	講義&演習
到達目標	宿泊部門の日常業務の理解と技術取得					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロント・サービス編					
成績評価方法	・授業内筆記テスト40%、グループワーク40%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	第5章 客室部門		客室部門の概要 客室系の心構え			
2回	客室部門		フロアステーション 客室のタイプと特徴 客室内の設備・備品			
3回	客室部門		ルームキーの種類と管理 客室清掃の概要			
4回	客室部門		ベッドルームの清掃 ベッドメイキング			
5回	客室部門		ベッドメイキング(実技)			
6回	客室部門		バスルームの清掃・アメニティ類 スタイルームの清掃			
7回	客室部門		未使用客室の清掃 ミニバーの管理 ルームインスペクション			
8回	客室部門		客室系の報告事項 ランドリーサービス			
9回	客室部門		ターンダウンサービス デリバリーサービス			
10回	客室部門		ハウスキーピング テスト			
11回	客室部門		これからの客室サービス パトラーサービスとは			
12回	客室部門		これからの客室サービスつづき			
13回	客室部門		環境への取り組み 環境問題とサービス提供の両立			
14回	客室部門		環境への取り組みつづき			
15回	客室部門		発表とまとめ			

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント 科		
科目名	レストランオペレーション				クラス	S	
担当講師(フルネーム)	長野美穂				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	前期に引き続きレストランサービスの知識を身に付ける				授業形態	講義&演習	
到達目標	サーバー、チューリンサービスをマスターする						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		前期の復習と夏の振り返り 皿持ち復習				
2回	日本料理		日本料理の基本知識 お箸練習、和室での立ち居振る舞い				
3回	中国料理		四大中国料理の特徴を知る サーバー練習				
4回	宴会サービス		MICE、ワーキング・ディナー 立食パーティーのマナー、サービス				
5回	レストランの値段		原価率のお話 モノの値段の決め方を学ぶ				
6回	レストランマーケティング		マーケティングの基本 売れているモノが売れている理由 接客業で必要な消費者心理を学ぶ				
7回	POP作り		POP作り 作品プレゼンテーション				
8回	ユニバーサルサービス		ご年配、体が不自由なお客様の注意点 目が不自由なお客様の手引きを学ぶ				
9回	ユニバーサルサービス		車いすの基本操作方法を学ぶ				
10回	レストランウェディング		レストランウェディングの特徴 幸せを呼ぶアイテムたち				
11回	グループワーク		テーブルコーディネートプラン作成				
12回	グループワーク		テーブルコーディネートの作成と撮影				
13回	カフェ業界の戦略		ライバル業界を偵察 カフェ業界の知られざる集客の仕組み				
14回	実技練習		期末試験 制限時間内にロールプレイング				
15回	期末試験		期末試験 制限時間内にロールプレイング				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC I				クラス	SU
担当講師(フルネーム)	志岐美佳・中牟田登喜枝				実務経験	無
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50% 小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	TOEIC test1		単語① Part1&2			
2回	TOEIC test 1		単語② Part3 文法			
3回	TOEIC test 1		単語③ Part4 文法			
4回	TOEIC test 2		単語テストー1回目 Part1&2 文法			
5回	TOEIC test 2		単語④ Part3 文法			
6回	TOEIC test 2		単語⑤ Part4 文法			
7回	TOEIC test 3		単語⑥ Part1&2 文法			
8回	TOEIC test 3		単語⑦ Part3 文法			
9回	TOEIC test 3		単語⑧ Part4 文法			
10回	TOEIC test 4		単語⑨ Part1&2 文法			
11回	TOEIC test 4		単語テストー3回目 Part3 文法			
12回	TOEIC test 4		単語⑩ Part4 文法			
13回	TOEIC test 5		単語⑪ Part1&2 文法			
14回	TOEIC test 5		単語⑫ Part3 文法			
15回	TOEIC test 5		単語⑬ Part4 文法			

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	TOEIC II				クラス	SU
担当講師(フルネーム)	志岐美佳・中牟田登喜枝				実務経験	無
授業概要(内容)	TOEIC Iの語彙、文法知識を高める TOEIC 試験形式に慣れ聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	TOEIC テストの理解と受験準備をする					
使用テキスト	TOEIC Listening & reading 問題集5					
成績評価方法	・期末試験50% 小テスト、平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	TOEIC test1		単語① Part5			
2回	TOEIC test 1		単語② Part6 文法			
3回	TOEIC test 1		単語③ Part7 文法			
4回	TOEIC test 2		単語テストー1回目 Part5 文法			
5回	TOEIC test 2		単語④ Part6 文法			
6回	TOEIC test 2		単語⑤ Part7 文法			
7回	TOEIC test 3		単語⑥ Part5 文法			
8回	TOEIC test 3		単語⑦ Part6 文法			
9回	TOEIC test 3		単語⑧ Part7 文法			
10回	TOEIC test 4		単語⑨ Part5 文法			
11回	TOEIC test 4		単語テストー3回目 Part6 文法			
12回	TOEIC test 4		単語⑩ Part7 文法			
13回	TOEIC test 5		単語⑪ Part5 文法			
14回	TOEIC test 5		単語⑫ Part6 文法			
15回	TOEIC test 5		単語⑬ Part7 文法			

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本能力試験対策Ⅰ(語彙)				クラス	SU留①
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	N1の語彙の理解と運用力を高める 自宅学習を定着させるために随時復習テストを行う				授業形態	講義
到達目標	N1合格					
使用テキスト	完全マスター 20日で合格 過去問題					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	2部2章2	P84－89 練習問題・実戦練習 10日目1－27				
2回	2部3章1	P92－95 練習問題・実戦練習 10日目28－32				
3回	2部3章2	P96－101 練習問題・実戦練習 10日目33－49				
4回	復習	2－3章 復習テスト 10日目50－54 11日目1－17				
5回	2部4章1	P102－107 練習問題・実戦練習 11日目18－49				
6回	2部4章2	P108－113 練習問題・実戦練習 11日目50－54				
7回	2部4章3	P114－119 練習問題・実戦練習 12日目 1－17				
8回	2部4章4	2部4章 復習テスト 12日目 18－49				
9回	過去問					
10回	過去問	過去問FB 12日目1－49				
11回	2部5章1課	P 120－125 練習問題・実戦練習 12日目50－54				
12回	2部5章2課	P126－131 練習問題・実戦練習 13日目1－17				
13回	2部6章1課	P132－137 練習問題・実戦練習 13日目18－32				
14回	2部6章2課	P138－143 練習問題・実戦練習 13日目33－49				
15回	2部6章	2部5－6章 復習テスト 時代を読み解く上級日本語 学期末テストのFB				

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本能力試験対策Ⅱ（漢字・聴解）				クラス	SU留②
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無
授業概要（内容）	N2の漢字の理解と運用力を高める N2の公式試験の形式になれて 聴解力を高める				授業形態	講義
到達目標	N2合格					
使用テキスト	20日で合格 完全マスターN2 ドリル&ドリル 過去問					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 3日目				
2回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 4日目				
3回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 5日目				
4回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 3～5日の復習				
5回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 6日目				
6回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 7日目				
7回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 8日				
8回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 6～8日復習				
9回	過去問					
10回	過去問	FB 29で合格 9日目				
11回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 9日目				
12回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 10日目				
13回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 11日目				
14回	聴解・20日で合格	聴解問題 新完全マスターの復習テスト 20日で合格 9～11日目				
15回	学期末対策	学期末対策試験のFB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	SU留①
担当講師(フルネーム)	中田雅美				実務経験	無
授業概要(内容)	①N1文法指導経験。N1文法の導入及び使用練習 ②模擬試験と解答解説				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 文法トレーニングN1					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 78-84 練習問題 Unit05				
2回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 85-90 練習問題 Unit06				
3回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 91-95 練習問題 Unit06				
4回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 96-103 練習問題 Unit07				
5回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 104-111 練習問題 Unit07				
6回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 112-119 練習問題 Unit08				
7回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 120 練習問題 Unit08				
8回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 120 練習問題 Unit09FB 練習問題 敬語				
9回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
10回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
11回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
12回	N1文法 総合復習	日本語能力試験 文法 総合復習				
13回	N1文法 総合復習	日本語能力試験 文法 総合復習				
14回	期末試験	日本語能力試験 文法 総合復習 期末試験				
15回	期末試験 FB	期末試験 FB				

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	SU留①
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1対策 N1読解問題を解き、N1レベルの読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
2回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
3回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
4回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
5回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
6回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
9回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
10回	N1読解	模擬テスト + FB				
11回	N1読解	模擬テスト + FB				
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞を読む				
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
14回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
15回	N1読解	期末テスト + FB				

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本語能力対策試験Ⅳ(読解)				クラス	SU留②
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	N2合格に必要な語彙・文法の習得 N2合格に必要な試験テクニックを定着させる				授業形態	講義
到達目標	N2合格					
使用テキスト	過去問 ドリル&ドリル スピードマスター N2必修パターン					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
2回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
3回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
4回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
5回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
6回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
7回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
8回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 提出語彙の確認				
9回	過去問対策					
10回	N2 読解	過去問のFB 問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 語彙の確認				
11回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 語彙の確認				
12回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 語彙の確認				
13回	N2 読解	問題を解き 解答の導き方を全体で確認する 語彙の確認				
14回	学期末テスト					
15回	N2 読解	学期末テスト FB 問題を解き 解答の導き方を全体で確認する				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	S留
担当講師(フルネーム)	恵良 恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	各課の機能表現を含んだ会話。ロールプレイによる実際のビジネス場面に即した活動。会話を作ってペアワークで発表。				授業形態	講義
到達目標	ビジネス現場で役に立ち、かつ敬語を含む会話表現の習得。					
使用テキスト	『ビジネスのための日本語(中上級)』『日本語で働く! ビジネス日本語30時間』					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第3課 許可(1)	①新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ				
2回	第3課 許可(2)	③STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト ④STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出 ⑤ペアワークで発表				
3回	第4課 依頼(1)	① 3課ことばテスト ② 新語と基本文型 ③STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ				
4回	第4課 依頼(2)	④STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト ⑤STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出 ⑥ ペアワークで発表				
5回	第6課 電話(1)	① 4課ことばテスト ② 新語と基本文型 ③STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ				
6回	第6課 電話(2)	① 復習(ペア) ②STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト ③STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出				
7回	第6課 電話(3)	④ ペアワークで発表 ⑤ まとめ ⑥ 6課ことばテスト				
8回	第5課 誘い(1)	① 新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ ③STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト				
9回	第5課 誘い(2)	④STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出 ⑤ ペアワークで発表 ⑥ 5課ことばテスト				
10回	第7課 アポイント(1)	① 新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ ③STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト				
11回	第7課 アポイント(2)	④STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出 ⑤ ペアワークで発表				
12回	第8課 提案・申し出(1)	① 新語と基本文型 ②STAGE 1——談話(社内・社外)／口頭練習／ロールプレイ ③STAGE 2——会話聴解(状況・場面・語彙の説明)ディクテーション／Q&A ・小テスト				
13回	第8課 提案・申し出(2)	④STAGE 3——会話を作成(運用) 課題提出 ⑤ ペアワークで発表 ⑥ 7課ことばテスト				
14回	復習 & まとめ	復習 ① 第3課～第4課～第6課 (文型・機能語・流れ)				
15回	復習 & まとめ	復習 ② 第5課～第7課～第8課 (文型・機能語・流れ)				

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅰ（語彙）				クラス	SU②
担当講師（フルネーム）	小林千春				実務経験	無
授業概要（内容）	日本語能力試験N2語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター語彙 日本語能力試験N2					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	意味がたくさんある言葉	動詞① 動詞②				
2回	意味がたくさんある言葉 意味が似ている言葉	「意味がたくさんある言葉」形容詞・名詞 「意味が似ている言葉」副詞・形容詞				
3回	意味が似ている言葉	名詞・動詞 「意味がたくさんある言葉」再確認				
4回	形が似ている言葉	形が似ている言葉 「意味が似ている言葉」再確認				
5回	副詞	程度、時間、頻度の副詞 「形が似ている言葉」復習				
6回	副詞	後ろに決まった表現が来る副詞 まとめて覚えたい副詞・その他の副詞				
7回	オノマトペ	オノマトペ 「副詞」再確認				
8回	模擬試験 慣用表現	N2文字語彙 模擬試験①（直前対策） 体の言葉を使った慣用表現①				
9回	模擬試験 慣用表現	N2文字語彙 模擬試験②（直前対策） 体の言葉を使った慣用表現②・その他の慣用表現				
10回	模擬試験 その他	N2文字語彙 模擬試験③（直前対策） 体の言葉を使った慣用表現復習				
11回	語形成	二つの言葉をプラス				
12回	語形成	単語の前に漢字をプラス 「語形成：二つの言葉をプラス」再確認				
13回	語形成	単語の後ろに漢字をプラス 期末テスト前復習①				
14回	語形成	形容詞から作る動詞と名詞 期末テスト前復習②				
15回	模擬試験	テキストの模擬試験第1回 期末テスト前復習③				

対象学年	1・2年共通	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ(聴解・漢字)				クラス	SU①
担当講師(フルネーム)	小林千春				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1聴解対策 日本語能力試験N1漢字対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格または同等レベルの日本語能力をつける					
使用テキスト	新完全マスター聴解 日本語能力試験N1／日本語能力試験徹底トレーニングN1聴解／新完全マスター漢字 日本語能力試験N1					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	聴解:統合理解 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:統合理解① 漢字:第2部 だい17回 な形容詞(1) 漢字:第2部 第18回 な形容詞(2) 副詞				
2回	聴解:統合理解 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:統合理解② 漢字:第2部 第19回 名詞(1)身体・健康				
3回	聴解:模擬試験 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「新完全マスター聴解」より擬試験① 漢字:第2部 第20回 名詞(2)建造物・日用品				
4回	聴解:模擬試験 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「新完全マスター聴解」より擬試験② 漢字:第2部 第21回 名詞(3)人間関係・生涯				
5回	聴解:模擬試験③ 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「新完全マスターN1聴解」より擬試験③ 漢字:第2部 第22回 名詞(4)数量・範囲				
6回	聴解:実践練習① 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践練習① ※試験直前対策 漢字:第2部 第23回 名詞(5)言語・教育				
7回	聴解:実践練習② 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践模試② ※試験直前対策 漢字:第2部 第24回 名詞(6)犯罪・災害				
8回	聴解:実践練習③ 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践模試③ ※試験直前対策 漢字:第2部 第25回 名詞(7)政治・行政・国際関係				
9回	聴解:実践練習④ 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践模試④ ※試験直前対策 漢字:第2部 第26回 名詞(8)産業・交通				
10回	聴解:実践練習⑤ 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」実践模試⑤ ※試験直前対策 漢字:第2部 第27回 名詞(9)経済・流通				
11回	聴解:復習(課題理解) 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」課題理解:練習しよう 漢字:第2部 第28回 名詞(10)自然・科学・地理				
12回	聴解:(ポイント理解) 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」ポイント理解:練習しよう 漢字:第2部 第29回 名詞(11)思想・歴史				
13回	聴解:復習(即時応答) 漢字:音読み・特別な読み方	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」即時応答の対策① 漢字:第2部 第30回 名詞(12)IT関連・娯楽／第31回 特別な読み方をする漢字の言葉				
14回	聴解:期末試験対策 漢字:期末試験対策	聴解:「徹底トレーニングN1聴解」即時応答の対策② 漢字:期末試験対策				
15回	聴解:期末試験 漢字:???	聴解:期末試験(即時応答より) 漢字:期末試験?模擬試験?期末試験対策?				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	実習前教育				クラス	S	
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	企業実習の目的を理解させ、実りある就業体験となるように準備させる。 履歴書作成並びに、出退勤の規律、業務中の態度等「働く姿勢」の理解。				授業形態	講義	
到達目標	実習用履歴書の完成並びに企業実習に臨む心構えの涵養						
使用テキスト	就職ノート及びプリント						
成績評価方法	・平常点100%(出席状況、授業態度及び取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	× 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	オリエンテーション		授業の進め方と企業実習の心構え ・履歴書作成に向けて				
2回	履歴書の書き方①		履歴書の記入項目の説明と演習 ・基本情報(プロフィール欄)				
3回	履歴書の書き方②		履歴書の記入項目の説明と演習 ・学歴と職歴、免許と資格				
4回	履歴書の書き方③		履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機				
5回	履歴書の書き方④		履歴書の記入項目の説明と演習 ・志望動機				
6回	履歴書の書き方⑤		履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR				
7回	履歴書の書き方⑥		履歴書の記入項目の説明と演習 ・自己PR				
8回	履歴書の書き方⑦		履歴書の記入項目の説明と演習 ・得意学科、趣味特技				
9回	履歴書の書き方⑧		履歴書の記入項目の説明と演習 ・実習・アルバイト等				
10回	履歴書の書き方⑨		履歴書の記入項目の説明と演習 ・提出用履歴書の記入とチェック				
11回	面接対策①		面接マナー ・自己紹介				
12回	面接対策②		面接マナー ・志望動機(企業実習で何を学びたいか)				
13回	実習報告書の書き方①		実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(会社・施設概要)				
14回	実習報告書の書き方②		実習報告書の書き方 ・実習報告書の記入(研修目標)				
15回	授業のまとめ		企業実習の目標発表と実習期間中の注意事項、禁止事項の確認 ・2年時授業と2回目の企業実習につなげるために、実習期間をどう過ごすか				

対象学年	1年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	現代国語				クラス	S
担当講師(フルネーム)	前田恭子				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	・名作文学を読み、日本語のいろいろな表現を学ぶ				授業形態	講義
到達目標	・主人公の気持ちや 作者が何を伝えたいかがわかるようになる					
使用テキスト	・教師が作成するオリジナルプリント					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	声をそろえる		前期期末試験のフィードバック 後期授業の進め方、評価方法についての説明 声をそろえて音読できるようにしましょう			
2回	登場人物の気持ち		名作文学を楽しく読みましょう 登場人物の気持ちを考えながら読みましょう			
3回	物語の背景		名作文学を楽しく読みましょう 物語の背景を考えながら読みましょう			
4回	役割語		名作文学を楽しく読みましょう 役割語に注意しながら読みましょう			
5回	作者の意図		名作文学を楽しく読みましょう 作者が何を伝えようとしているか考えながら読みましょう			
6回	古典作品		名作文学を楽しく読みましょう むかしの日本語を使った物語にも挑戦してみましょう			
7回	方言		名作文学を楽しく読みましょう 地域で使う言葉(方言)の違いを勉強しましょう			
8回	イントネーション		名作文学を楽しく読みましょう イントネーションに気をつけながら音読しましょう			
9回	間(ま)		名作文学を楽しく読みましょう 間(ま)に気をつけて音読しましょう			
10回	物語の要旨		名作文学を楽しく読みましょう 話の内容を自分のことばで説明しましょう			
11回	物語の感想		名作文学を楽しく読みましょう 話を読んだ感想を書きましょう			
12回	感想を発表する		名作文学を楽しく読みましょう 感想を発表しましょう			
13回	聞き取り①		名作文学を楽しく読みましょう 簡単なディクテーションをしましょう			
14回	聞き取り②		名作文学を楽しく読みましょう 漢字、句読点を混ぜながらディクテーションをしましょう			
15回	後期期末試験		・授業内で学んだ内容を理解できているか筆記試験で確認する			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケットサービスⅠ				クラス	U
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	バンケット業務とブライダルについての基礎知識を身につける。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	ホテルの配属先で即戦力となれるよう、備品の名前を覚え、課題実技を習得する。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・筆記試験35% 実技試験35% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション 宴会の種類		自己紹介 後期の授業の進め方、評価方法の説明 ホテルで行われる『宴会』とは(催し物の種類)			
2回	宴会形式		宴会形式の種類とサービス方法 テーブルプラン			
3回	宴会サービスの基本		サービス方法 トレイサービス・プレートサービス・プラッターサービス			
4回	宴会クローク 会場設営		宴会クロークの業務内容を解説・実践 催し物に合わせた会場を設営する			
5回	宴会サービスの手順		セッティングから後片付けまで どんでん			
6回	実技試験に向けて		課題を発表 反復練習を行う			
7回	実技試験		実技試験を行う			
8回	ブライダルの基礎知識		ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態 宗教によるスタイル			
9回	婚約について		みなさんの結婚観について 近年増加してきた、ある男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ			
10回	日本における ブライダルのしきたり		六輝・結納 招待状が届いたら… 「博多祝いめでた」とは…			
11回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリー			
12回	挙式について		挙式の流れと演出について			
13回	披露宴について		披露宴の流れと演出について			
14回	後期授業のまとめ		後期授業の復習を行う			
15回	筆記試験		筆記試験を行う			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	バンケットサービスⅡ				クラス	U日
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ブライダルについての基礎知識を身に付ける。				授業形態	講義
到達目標	ホテルで働く上で知っておくべきブライダル業界の知識と技術を身につける。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	ブライダルの基礎知識		ブライダルの定義 挙式・披露宴の種類と形態			
2回	婚約について		みなさんの結婚観について 近年増加してきた、男女の出会いのきっかけと背景 婚約＝プロポーズ			
3回	日本における ブライダルのしきたり		六輝・結納 招待状が届いたら…			
4回	ブライダルアイテム		ドレス・タキシード 和装 ヘッドドレス・アクセサリ			
5回	挙式について		挙式の流れと演出について			
6回	披露宴について		披露宴の流れと演出について			
7回	後期授業のまとめ		後期授業の復習を行う			
8回	期末試験		期末試験を行う			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科		
科目名	ソムリエ&バーテンダー				クラス	U	
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)	
授業概要(内容)	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 酒類に興味を持ち、FBの面白さを業務に活かせるようにする				授業形態	講義&演習	
到達目標	料飲部の配属先で使える技能をつける。						
使用テキスト	なし						
成績評価方法	期末試験80%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施						
	テーマ		授業内容				
1回	シラバスの説明 バーラウンジの概要		授業の目的と進め方、評価方法について説明する ホテル内での料飲提供場所と役割 整理整頓。				
2回	種類の定義と分類		お酒の分類、ワインはどのようなお酒か？ 醸造酒とは。日本におけるワイン消費の現状。 整理整頓。				
3回	ワインの基礎知識		ワインの歴史と史実。 ブドウが好む土地～栽培されている国について 整理整頓。				
4回	スティルワインについて		スティルワインとは。 醸造工程、醸造法によるワイン分類 整理整頓。				
5回	フランスワインについて		フランスワインの特徴 ボルドー、ブルゴーニュ、他 整理整頓。				
6回	フランスワインについて		フランスワインの特徴 ロアール、アルザス、スードウエスト、コートロティー他 整理整頓。				
7回	イタリア・ドイツワイン その他の国のワイン		イタリアワイン代表的な銘柄と特徴 ドイツワイン代表的な銘柄と特徴。 整理整頓。				
8回	ワインと料理の相性		料理とワインのマリアージュについて。 調和と反発、新しい合わせ方。 整理整頓。				
9回	カクテルの基礎		ハードリカーについて 取り扱い方法とカクテル				
10回	カクテルの基礎知識		ビルドの手法について ステアーの手法について				
11回	カクテル実技		シェイクの手法について ブレンドの手法について				
12回	カクテル実技		オリジナルカクテル創作 色、味、名前の基本を決めて作成				
13回	カクテル実技		ネーミングとコンセプト				
14回	カクテル実技		オリジナルカクテル作成				
15回	後期まとめ		発表				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ソムリエ&バーテンダー II				クラス	Uクラス(日本人)
担当講師(フルネーム)	橋口淳二				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得 酒類に興味を持ち、FBの面白さを業務に活かせるようにする				授業形態	講義
到達目標	バー・ラウンジにおける接客、お酒の基礎知識又、基本技術の習得。お酒類に興味を持ってもらい、FBの面白さを合わせて知ってもらうことで、レストラン・バー業務に活かせるようにする。					
使用テキスト	ホテルテキスト料飲II バーラウンジ編					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	・後期シラバスの説明 ・酒の基礎知識		授業内容説明 お酒についての正しい知識			
2回	・酒を提供する心得		バーテンダーとは バーテンダーとバーウェ이터			
3回	・カクテルの基礎知識Ⅰ		カクテルとは、歴史etc. 4大ツールの取り扱い方			
4回	・カクテルの基礎知識Ⅱ		ビルドカクテルの作成手順 氷の種類について			
5回	・カクテルの基礎知識Ⅲ		カクテルの作り方(スノースタイルについて) ショートカクテルの作成手順			
6回	・後期のおさらい		オリジナルカクテル考案作成 色、香り、スタイル、ネーミング、コンセプトを決める			
7回	・カクテル実技		オリジナルカクテル作成 テーマ、色、香り、ネーミング、コンセプト			
8回	・カクテル実技 ・バーテンダーの役割		オリジナルカクテル作成 まとめ			

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	SPI対策(言語)				クラス	U
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	就職試験における筆記試験分野・言語系の対策授業				授業形態	講義
到達目標	SPI言語の点数を確実に取るために基礎学力の向上を目指す					
使用テキスト	・一般常識チェック&マスター(実教出版株式会社) ・一般常識/一問一答(新星出版社)					
成績評価方法	・期末試験70%平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	SPI言語とは		・後期授業方針説明 ・SPI検査の内容説明 ・SPI言語 ことばの意味①(語句の意味が正しいもの) *夏休み課題、提出			
2回	四字熟語を極める		・四字熟語テスト① ・SPI言語 ことばの意味②(意味に適合する語句)			
3回	日本史の中の人物		・四字熟語テスト② ・SPI言語 ことわざ・慣用句 ・日本史 各時代の日本史上の人物を知る			
4回	世界史の中の人物		・四字熟語テスト③ ・SPI言語 原料(加工物とその原料の関係) ・世界史 有名な歴史の出来事と人物を学ぶ			
5回	働く環境を考える		・四字熟語テスト④ ・SPI言語 包含・用途・機能 ・労働・社会保障 労働者は守られているか? 現行制度を学びます			
6回	日本社会の常識		・四字熟語テスト⑤ ・SPI言語 行為の関係 ・国民の祝日、法規、マーク、名数などを学びます			
7回	日本の特産品を知る		・四字熟語テスト⑥ ・SPI言語 復習① ・日本地理 日本各地の産物を学び、産地との組み合わせができるようにする			
8回	後期試験		・後期試験 ・SPI言語 復習②			

対象学年	2年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	就職活動講座				クラス	U
担当講師(フルネーム)	安部紀美江				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	・企業研究、志望動機、自己PRの完成品作成 ・日本語での表現力の向上				授業形態	講義
到達目標	志望する企業への内定を勝ち取る。					
使用テキスト	・「NEW SUCCESS 勝つための就職ガイド」 ・就職ノート ・オリジナルレジュメ					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ+B11:C29B11:C35B11:C38B11:C47	授業内容				
1回	オリエンテーション	・後期授業内容の説明				
2回	自己PRの作り方	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
3回	自己PRの完成	・自己PRの作成方法をキーワードごとに説明し作成してみる				
4回	自己PRの完成	・現時点でのベスト自己PRを完成させる				
5回	志望動機の作り方	・モデルケースの志望動機を作ってみる。				
6回	志望動機の作り方	・志望動機作成に必要な文言や自己PRとの関連性について考えていく。				
7回	求人票の読み取り方	・実際の求人票を使い書かれている内容の意味を理解させる				
8回	企業研究	・企業の情報収集の方法				
9回	企業研究	・企業研究シートを使い書いてみる				
10回	企業研究	・エントリーシートとは何かを理解し、過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。				
11回	企業研究	・エントリーシートとは何かを理解し、過去のエントリーシートを使って、実際にエントリーシートを書いてみる。				
12回	面接対策	・面接の形式 ・面接の受け答えチェックポイント				
13回	面接対策	・面接の受け答えチェックポイント				
14回	面接対策	・面接の受け答えチェックポイント				
15回	完成品のチェック	・後期提出物のチェック				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	実習前教育				クラス	U日
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	実習(留学)先の情報を事前に調べ、理解する。				授業形態	講義
到達目標	実習(留学)先の知識を身に付け、目標を明確にする。帰国後、すぐ就職活動に取り組めるよう準備しておく。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・課題および提出物70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	1
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方 目標設定			
2回	実習の心構え		報告・連絡・相談 実習(留学)中の注意事項 報告書について			
3回	帰国後の予定について 企業研究		実習(留学)先について 企業研究の仕方			
4回	企業研究		企業研究の続き			
5回	実習(留学)先周辺の知識		交通機関 近隣の施設 観光地			
6回	館内・館外の知識 まとめ		調べた内容をまとめる			
7回	話し方・言葉使い		話し方、話しかけ方のポイント 実際に案内をしてみる			
8回	まとめ		目的と目標の確認 実習(留学)の心構えの再確認			

対象学年	1・2年共通	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	SU留①
担当講師(フルネーム)	中田雅美				実務経験	無
授業概要(内容)	①N1文法指導経験。N1文法の導入及び使用練習 ②模擬試験と解答解説				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1合格					
使用テキスト	耳から覚える日本語能力試験 文法トレーニングN1					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 78-84 練習問題 Unit05				
2回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 85-90 練習問題 Unit06				
3回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 91-95 練習問題 Unit06				
4回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 96-103 練習問題 Unit07				
5回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 104-111 練習問題 Unit07				
6回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 112-119 練習問題 Unit08				
7回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 120 練習問題 Unit08				
8回	N1文法の理解と使用	テキスト 文法解説 120 練習問題 Unit09FB 練習問題 敬語				
9回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
10回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
11回	N1文法 模擬試験	日本語能力試験 文法 模擬試験&FB				
12回	N1文法 総合復習	日本語能力試験 文法 総合復習				
13回	N1文法 総合復習	日本語能力試験 文法 総合復習				
14回	期末試験	日本語能力試験 文法 総合復習 期末試験				
15回	期末試験 FB	期末試験 FB				

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語ビジネス会話				クラス	U
担当講師(フルネーム)	中田雅美				実務経験	無
授業概要(内容)	①日本企業に勤務する上で必要な会話表現を指導する ②ロールプレイを通して、スムーズな会話を指導する				授業形態	講義
到達目標	日本企業の社内外で遭遇するビジネス場面において、スムーズに業務を行えるようになる					
使用テキスト	JAPANESE FOR HOTEL STAFF サービス日本語-ホテルスタッフ編-					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	誘う	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
2回	誘う	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
3回	チェックイン	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
4回	部屋の案内	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
5回	両替	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
6回	チェックアウト	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
7回	タクシー・バス・観光地の案内	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
8回	電話の取次ぎ	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
9回	ルームサービス	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
10回	ハウスキーピング	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
11回	ランドリーサービス	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
12回	レストラン (朝食サービス)	発音練習 日本語ビジネス会話 N1N2慣用句・擬音語擬態語				
13回	総合復習	日本語ビジネス会話 総合復習				
14回	期末試験	復習 期末試験				
15回	期末試験 FB	期末試験 FB				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	フロントオフィス				クラス	T
担当講師(フルネーム)	松本範子				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	フロントオフィスの様々な業務を理解すると同時に、PMSを実際に扱いながら フロントの流れを学ぶ。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	フロントオフィス業務についての基本知識を学ぶとともにホテル全体の流れを理解する					
使用テキスト	ホテルテキスト宿泊 I フロント・オフィス編					
成績評価方法	・まとめテスト30%、インフォメーション案内20%、システムテスト30%、平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	第5章 フロントキャッシャー業務	会計業務：精算手段・精算方法				
2回	フロントキャッシャー業務	外貨両替 貴重品預かり				
3回	第6章 インフォメーション業務	インフォメーション ルームインフォメーション・シティインフォメーション お勧め場所の案内				
4回	インフォメーション業務	郵便物と電報 電話交換				
5回	第7章 防犯業務	防犯管理・遺失物管理 教科書まとめ・テスト対策				
6回	テスト	第5章～第7章のまとめテスト お勧め場所の案内発表				
7回	システム実技	予約				
8回	システム実技	予約の続き 顧客情報の入力・更新				
9回	システム実技	予約変更・キャンセル				
10回	システム実技	チェックイン				
11回	システム実技	チェックアウト				
12回	システム実技	故障部屋の入力 ルームアサイン				
13回	システム実技	伝票登録・ビル明細				
14回	システム実技	システム復習				
15回	システムテスト	システム実技テスト				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Takeoff!、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Communication Dialog				
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Takeoff! Dialog: 8	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Communication Dialog				
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Communication Dialog				
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Takeoff! Dialog: 9	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Communication Dialog				
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Communication Dialog				
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Takeoff! Dialog: 10	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Communication Dialog				
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Communication Dialog				
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Takeoff! Dialog: 11	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Communication Dialog				
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Communication Dialog				
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Takeoff! Dialog: 12	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Communication Dialog				
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Communication Dialog				
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Takeoff! Dialog: 13	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Communication Dialog				
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Club Nouns starting with N, Communication Dialog				
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Takeoff! Dialog: 14	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Club Nouns starting with N, Communication Dialog				
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P24 Takeoff! Dialog: 15, oral test	Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Music Interview Nouns starting with O, Communication Dialog				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	ホテルマネジメント				クラス	T
担当講師(フルネーム)	中牟田登喜枝				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	ホテルマネジメントの基礎的な知識を学習する				授業形態	講義
到達目標	マネジメントの基礎的な仕組みを学び、活用できるようになる					
使用テキスト	ホテルマネジメント					
成績評価方法	・期末試験50%平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	chapter 4 日本のホテル組織と人事・労務管理	組織と特徴 職務分類 人事・労務				
2回	chapter5 ヒューマン・リソース・マネジメント	日系と外資の人材				
3回	chapter5 ヒューマン・リソース・マネジメント	星野リゾートのマネジメント				
4回	chapter 6 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	リッツカールトンホテルのCRG				
5回	chapter 6 カスタマー・リレーションシップ・マネジメント	サービスの定義				
6回	chapter7 リスク・マネジメント	リスクマネジメントとは				
7回	chapter7 リスク・マネジメント	ホテルビジネスを取り巻く危険要因				
8回	chapter7 リスク・マネジメント	ホテルビジネスにおけるリスクカテゴリー				
9回	chapter7 リスク・マネジメント	防災事故管理				
10回	chapter7 リスク・マネジメント	防犯管理				
11回	chapter7 リスク・マネジメント	BCPとBCM				
12回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略	ホテルマネジメントにおける日本の課題 ・観光立国 ・国際旅行者				
13回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略	インターネット等のマーケティング MICE IR				
14回	chapter8 今後の日本ホテルマネジメント戦略					
15回	まとめ	後期復習 学期末試験範囲と内容確認				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	社会情勢研究				クラス	T
担当講師(フルネーム)	山本真美				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	現代社会を日本、ベトナム、ネパールの立ち位置から考える。				授業形態	講義
到達目標	情報の理解と他者に説明ができるようになる					
使用テキスト	朝日キーワード就職2020(朝日新聞出版)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	その情報はどこから	授業方針、評価方法の説明 報道媒体を知る(日本、ベトナム、ネパール)				
2回	フェイクニュースを考える	フェイクニュースの実態、オルタナティブファクトを考える				
3回	思い込みが判断を間違える	ベストセラーの「ファクトフルネス」から考える「思い込み」				
4回	「食」①	身近な問題で考える 世界各国の「主食」と食料自給率 穀物メジャーと種苗会社				
5回	「食」②	グループワーク				
6回	「食」③	グループワーク 発表				
7回	冠婚葬祭から見る社会①	自国の「結婚式事情」「葬儀事情」 コロナ禍の結婚披露宴 贈る文化、包む文化				
8回	冠婚葬祭から見る社会②	グループワーク				
9回	冠婚葬祭から見る社会③	グループワーク 発表				
10回	社会保障制度①	社会保険・公的年金を考える 日本の国民皆保険が狙われる				
11回	社会保障制度②	グループワーク レポート提出				
12回	SDGs①	「持続可能な開発目標」これからの世界 17の目標を知る				
13回	SDGs②	ホテル業界が取り組む「ECO」 グループワーク				
14回	SDGs③	SDGsに取り組み、「ESG投資」を呼び込む グループワーク 発表				
15回	これからの社会	期末試験				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本文化				クラス	T
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	多種多様な日本文化の学びを通じて異文化理解を進める。 板書・プリント配布・映像視聴を中心に、ディスカッションも行う。				授業形態	講義
到達目標	雑多な日本文化を理解し、日本社会への円滑な適応能力を身につける。					
使用テキスト	マナー＆プロトコルの基礎知識					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		・授業の進め方、評価基準についての説明 ・日本の文化で知ってることを話し合う			
2回	「冠」のしきたり		・こどもの成長を祝う ・成人式について ・長寿の祝い			
3回	「婚」のしきたり		・結婚の変遷 ・結婚式について ・挙式のスタイル			
4回	「葬」のしきたり		・仏式の葬儀について ・通夜、葬儀、告別式 ・法要について			
5回	「祭」のしきたり		・年中行事 ・正月のしきたり ・盂蘭盆会			
6回	福岡県の祭り・イベント		・福岡三大祭り ・博多三大祭り ・福岡県の4地域			
7回	九州・沖縄の祭り・イベント		・各県の祭り、イベント ・各県の特徴 ・道の駅			
8回	日本人の好きなスポーツ		・プロ野球と高校野球 ・大相撲 ・国技			
9回	季節の風物詩		・桜前線、花見、紅葉狩り ・ホタル狩り、打ち水 ・果物狩り			
10回	季節の食べ物		・節句の食べ物 ・季節の料理 ・旬の食べ物			
11回	地域の食文化		・雑煮の文化 ・地域の特産物 ・駅弁			
12回	日本の会社		・本音と建て前 ・アフターファイブ ・組織と根回し			
13回	外国人から見た日本のイイところ		・日本に来て感じた日本のイイところを話し合ってみる ・外国人から見た日本のイイところ			
14回	外国人から見た日本のヘンなところ		・日本に来て感じた日本のヘンなところを話し合ってみる ・外国人から見た日本のヘンなところ			
15回	まとめ		・総復習 ・日本文化の理解度チェック			

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	観光地理				クラス	T
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	九州の概要説明		九州各県の経済、特徴について説明			
2回	福岡県(観光、空港情報)		九州の中心地、福岡の経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
3回	佐賀県(観光、空港情報)		有田焼など焼き物文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
4回	長崎県(観光、空港情報)		南蛮文化、長崎の世界遺産群の説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
5回	大分県(観光、空港情報)		日本屈指の温泉地について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
6回	熊本県(観光、空港情報)		阿蘇山の観光資源について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
7回	宮崎県(観光、空港情報)		高千穂など神々の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
8回	鹿児島県(観光、空港情報)		幕末の薩摩藩の歴史について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
9回	沖縄県(観光、空港情報)		沖縄リゾートについて説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
10回	広島県(観光、空港情報)		世界遺産厳島神社について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
11回	香川県(観光、空港情報)		うどん県の食文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
12回	東京都(観光、空港情報)		首都東京の経済と小笠原諸島について 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
13回	大阪府(観光、空港情報)		食い倒れのまち大阪について 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	北海道(観光、空港情報)		蝦夷地の伝統文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
15回	まとめ		まとめ 期末試験について			

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント 科	
科目名	コンピュータ				クラス	T
担当講師(フルネーム)	乙咩清美				実務経験	無
授業概要(内容)	タイピング、ビジネスレター(文書、メール等)を繰り返し練習する。 表計算の基礎を学び、活用できる力を習得する。				授業形態	講義 & 演習
到達目標	誤字脱字なく、形式に則ったビジネスレターができるようになる。					
使用テキスト	30時間でマスター Word2016、Excel2016					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	パソコンの活用	Microsoftアカウントの取得・確認とクラウド機能の使い方をマスターする。 ビジネスメールの形式とマナー 履歴書フォームのダウンロード				
2回	Word基礎	アカウントの確認とクラウドの活用 ビジネス文書作成(ビジネスレター、ビジネスメール) ※ビジネスメールの基本、書き方、添付ファイルの送り方				
3回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社内文書) ※表作成、ビジネス文書の基本など				
4回	Word基礎	タイピング練習 ビジネス文書作成(社外文書) ※ページ設定、文字書式、段落書式(箇条書き・均等割り付け)				
5回	Word基礎	Word小テスト (ビジネス文書、メール)				
6回	Excel基礎	表作成① 一般的な関数や計算式を使用して表作成の復習				
7回	Excel基礎	表作成② 一般的な関数や計算式を使用して表作成の復習 相対参照と絶対参照、比率・割合を求める グラフ作成(基本的な縦棒・横棒・折れ線・円グラフ)				
8回	Excel基礎	表作成③ 関数(IF・VLOOKUP関数など)				
9回	Excel応用	検定過去問題の練習①				
10回	Excel応用	検定過去問題の練習②				
11回	Excel学期内テスト	表計算技能処理検定 3級相当の模擬テスト				
12回	パソコン活用	Wordにてグリーティングカードやポスター作成				
13回	パソコン活用	短文入力の練習 フォトアルバムの作成① 素材の準備やストーリー作成				
14回	パソコン活用	短文入力の練習 フォトアルバムの作成② スライドの作成と編集				
15回	パソコン活用	短文入力の練習 フォトアルバムの作成③ サウンドやBGMの追加、ムービー変換				

対象学年	3年	学期	通年	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語読解				クラス	T留
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N1・N2対策 読解問題を読み読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N1・N2合格					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
2回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
3回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
4回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
5回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
6回	N1読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
7回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
8回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
9回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する				
10回	N1読解	模擬テスト + FB				
11回	N1読解	模擬テスト + FB				
12回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
13回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
14回	N1読解	読解問題を解き、全体で解答を確認する 新聞				
15回	N1読解	期末テスト + FB				

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント	
科目名	日本能力試験対策Ⅰ（文法）				クラス	T
担当講師（フルネーム）	永吉美知子				実務経験	無
授業概要（内容）	N1の文法の理解と応用 公式問題の文法出題形式になれる				授業形態	講義
到達目標	N1合格 N2合格					
使用テキスト	自作文法問題 20日で合格 過去問題					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	4週目1－3日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 12日目 33－54			
2回	4週目4－5日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 13日目 33－54			
3回	5週目1－3日目		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 14日目 33－54			
4回	5週目4－5日目		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 15日目 33－54			
5回	4・5週目の復習		4－5週の練習問題 20日で合格 12－15日の復習			
6回	6週1－2日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 16日目 33－54			
7回	6週3－4日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 17日目 33－54			
8回	6週5日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 18日目 33－54			
9回	6週		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 16-18日 復習問題			
10回	過去問					
11回	過去問		過去問 FB 20日で合格 19日 33-54			
12回	7週1－2日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 20日 33－54			
13回	7週3－4日		文法形式の理解と練習問題 20日で合格 19－20日 復習問題			
14回	7週		7週の復習問題 20日で合格 12－20復習			
15回	8週1－2日		対策試験のFB 8週 1－2日			

対象学年	3年	学期	後期のみ	学科	国際ホテルマネジメント科	
科目名	日本語能力検定対策Ⅱ				クラス	T(留学生)
担当講師(フルネーム)	中牟田哲也				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	N1の合格に必要な語彙の解説 問題を解きながら語彙を覚える				授業形態	講義
到達目標	N1の合格を目指す、日本社会のビジネスマナーを身につける					
使用テキスト	新完全マスター 語彙N1					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	ガイダンス 3章 形が似ている言葉 1課 漢語	授業の諸注意 言葉と例文 基本練習 実践練習				
2回	2課 和語	言葉と例文 基本練習 実践練習				
3回	4章 副詞 1課 程度、時間、頻度	言葉と例文 基本練習 実践練習				
4回	2課 後ろに決まった表現が 来る副詞	言葉と例文 基本練習 実践練習				
5回	3課 まとめて覚えたい副詞 その他の副詞	言葉と例文 基本練習 実勢練習				
6回	模擬試験	模擬試験(文字語彙・文法)				
7回	模擬試験	模擬試験(長文)				
8回	模擬試験	模擬試験(聴解)				
9回	模擬試験(解説)	* 模擬試験の点数を平常点に加味する				
10回	5章 オノマトペ 1課 ものの様子・人の様子 ①	言葉と例文 基本練習 実践練習				
11回	2課 人の様子②	言葉と例文 基本練習 実践練習				
12回	6章 慣用表現 1課 体の言葉を使った 慣用表現①	言葉と例文 基本練習 実践練習				
13回	2課 体の言葉を使った慣用 表現② その他の慣用表現	言葉と例文 基本練習 実践練習				
14回	7章 語形成 1課 複合動詞①	言葉と例文 基本練習 実践練習				
15回	2課 複合動詞②	言葉と例文 基本練習 実践練習				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	社会情勢研究				クラス	I
担当講師(フルネーム)	宮原英利				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	現在、世の中はGlobal化が進み一地域の問題として捉えるのではなく、世界的規模での捉え方が必要です。そこで、この授業では政治や経済・市場動向などを中心に、今、物事がどのように動いていて、今後どうなっていくそうかという、状況の流れや方向性を考えていきます。				授業形態	講義
到達目標	Globalな視点や考え方が持てるようになる。					
使用テキスト	新聞やプリント等					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	さまざまな社会的課題	1. オリエンテーション 授業の進め方、成績評価について説明します。 2. 社会情勢を学ぶツールを紹介します。 3. 社会情勢とは何か、を考えます。				
2回	人口問題について	人口が増加していく現在の情勢を多角的視点から考えます。				
3回	食料問題について	人口の増加とともに問題となる食料不足の問題を考えます。				
4回	地球温暖化について	地球温暖化によって引き起こされる諸問題を考えます。				
5回	世界平和について	紛争・難民・テロの現状を考えます。				
6回	時事問題(日本)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
7回	時事問題(日本)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
8回	時事問題(日本)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
9回	時事問題(日本)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
10回	時事問題(日本)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
11回	時事問題(国際)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
12回	時事問題(国際)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
13回	時事問題(国際)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
14回	時事問題(国際)	政治・経済・文化・市場動向の中から時事問題を取り上げ考えます。				
15回	まとめ	各種事例の考察を踏まえ情勢判断のポイントを確認します。				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	観光業界事情				クラス	I
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本の観光業界を取り巻く環境について考える授業。 ※授業内にクラスのLHRを含む。				授業形態	講義
到達目標	観光業界の動向を理解し、進学時の学科選択に役立てる。					
使用テキスト	なし					
成績評価方法	・課題(計2回)70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		後期の学習内容について説明 評価方法について説明 みなさんが日本の観光業界で働くために…			
2回	観光立国		「観光立国」とは？			
3回	観光業界の仕事		自身が就職を目指す業界について考える			
4回	観光地について		日本の有名な観光地について			
5回	観光地について		それぞれの出身国の有名な観光地について			
6回	課題制作		自身の出身国の観光地について調べ、パワーポイントでまとめる			
7回	課題制作		自身の出身国の観光地について調べ、パワーポイントでまとめる			
8回	課題発表		前回までに作成した課題の発表を行う			
9回	観光業界に関わる資格		観光業界に関わる資格にはどのようなものがあるのかを解説する			
10回	インバウンド誘致の工夫		日本にインバウンドを誘致するためにはどのような工夫が必要か考える			
11回	観光業界研究		グループワーク 福岡市におけるインバウンド誘致の工夫を調べる			
12回	観光業界研究		グループワーク 福岡市におけるインバウンド誘致の工夫を調べる			
13回	課題制作		パワーポイントを使用し、研究結果をまとめる			
14回	課題制作		パワーポイントを使用し、研究結果をまとめる			
15回	課題発表		前回までに作成した課題の発表を行う			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	国内観光地理				クラス	I
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)
授業概要(内容)	地域ごとの国々・主な都市及び都市コードを白地図に記入 有名観光地の映像を見る				授業形態	講義
到達目標	日本の地域・国々・主な都市・有名観光地を覚える					
使用テキスト	プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	日本の概要説明		九州各県の経済、特徴について説明			
2回	東京都(観光、空港情報)		首都東京の観光資源、経済について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
3回	大阪府(観光、空港情報)		食い倒れのまち。関西の食文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
4回	京都府(観光、空港情報)		1,000年の都 日本の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
5回	愛知県(観光、空港情報)		モノづくりのまち。徳川家康の残した文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
6回	静岡県(観光、空港情報)		伊豆の観光資源と富士山観光について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
7回	三重県(観光、空港情報)		伊勢神宮と天皇の歴史について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
8回	長野県(観光、空港情報)		海なし県の文化について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
9回	石川県(観光、空港情報)		加賀百万石の伝統工芸について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
10回	新潟県(観光、空港情報)		長岡藩の文化について 新潟の名産品について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
11回	福島県(観光、空港情報)		会津若松の歴史 白虎隊について 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
12回	宮城県(観光、空港情報)		伊達政宗が残した奥羽地方の文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
13回	青森県(観光、空港情報)		弘前藩の観光資源 陸奥の恐山について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 スリーレター、国内線、国際線紹介			
14回	北海道(観光、空港情報)		蝦夷地のアイヌ文化について説明 県白地図、空港地図、観光文章問題 おみやげ、交通機関説明			
15回	まとめ		まとめ 期末試験について			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ビジネスマナー				クラス	I
担当講師(フルネーム)	榎本美和子				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	日本で進学・就職資格を得るために必要な言葉遣い・立ち居振る舞い等のマナー・スキルアップを目指し、座学とロールプレイングの授業				授業形態	講義&演習
到達目標	好感の持たれるマナーと、おもてなしの心を身につける					
使用テキスト	おもてなし検定 初級・講師作成プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	スマートな身のこなし方	姿勢・お辞儀 歩き方・座り方 物の指し示し方 ロープレ				
2回	テーブルマナー	お箸の使い方 西洋料理・日本料理・中華料理のマナー ロープレ				
3回	食事のマナー	立食パーティーのマナー 宴席のマナー ロープレ				
4回	受付のマナー	お出迎え 宿泊カード記入時のマナー・言葉遣い・ペンの渡し方 ご案内のマナー				
5回	席次のマナー	応接室・エレベーター 車内 ホテル・旅館でよく目にする漢字の意味と読み方				
6回	話の聞き方	対面編 電話編・メモをとる 相槌・話し終わるまで待つ大切さ				
7回	敬語	尊敬語の演習 幅広い年齢層・いろいろなタイプのお客様対応				
8回	敬語	謙譲語の演習 クッション言葉 ロープレ				
9回	敬語	間違った接客用語 好感の持たれる・持たれない言葉遣い				
10回	お茶の出し方	お茶の入れ方・出し方 正座にチャレンジ				
11回	名刺交換	応用編				
12回	電話応対	応用編 幅広い年齢層の応対				
13回	期末試験	後期で学んだこと				
14回	結婚式のマナー	結婚式に招待されたら クラスメイトのことをスピーチ				
15回	後期の補足	弱点を演習 質疑応答 マナーを守るSNSについて				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策 I (月曜1限目)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	入江千治				実務経験	無
授業概要(内容)	・日本語能力試験N2合格を目指し、N2文法を学ぶ。 ・前期で学んだ文法の理解を深め、練習を繰り返す。				授業形態	講義
到達目標	・N2文法を理解し、日本語能力試験の問題の答えを導き出せる。					
使用テキスト	・『新完全マスター文法N2』(スリーエーネットワーク) ・『TRY! 日本語能力試験N2文法文法から伸ばす日本語』(アスク出版)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2文法	新完全マスター文法N2 8課				
2回	N2文法	新完全マスター文法N2 9課				
3回	N2文法	新完全マスター文法N2 10課				
4回	N2文法	新完全マスター文法N2 復習				
5回	N2文法	TRY! N2文法 1課練習				
6回	N2文法	TRY! N2文法 2課練習				
7回	模擬試験	N2文法模擬試験				
8回	N2文法	TRY! N2文法 3課練習				
9回	N2文法	TRY! N2文法 4課練習				
10回	N2文法	TRY! N2文法 5課練習				
11回	N2文法	TRY! N2文法 1～5課復習／6課練習				
12回	N2文法	TRY! N2文法 7課練習				
13回	N2文法	TRY! N2文法 8課練習				
14回	復習	N2文法総復習				
15回	試験	期末試験				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅱ（月曜2限）				クラス	I
担当講師（フルネーム）	入江千治				実務経験	無
授業概要（内容）	・日本語能力試験N2取得を目指し、読解・聴解の解き方を学ぶ。 ・N2レベルの読解聴解でよく使われる日本語表現を学び、練習する。				授業形態	講義
到達目標	・N2レベルの読解・聴解問題で使われる日本語表現が理解でき、答えが導き出せる。					
使用テキスト	・『日本語能力試験対策日本語総まとめN2読解／聴解』（アスク出版）・『レベルアップトレーニングN2聴解』（アルク）					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2聴解練習		・「課題理解」練習			
2回	N2読解練習		・「お知らせ・通知文」練習			
3回	N2聴解練習		・「ポイント理解」練習			
4回	N2読解練習		・「意見文・説明文」練習①			
5回	N2聴解練習		・「概要理解」練習			
6回	N2読解練習		・「意見文・説明文」練習②			
7回	聴解模擬試験		・日本語能力試験N2聴解模擬試験 ・読解練習問題			
8回	読解模擬試験		・日本語能力試験N2読解模擬試験 ・聴解練習問題			
9回	N2聴解練習		・「即時応答」練習			
10回	N2読解練習		・「エッセイ・小説」練習			
11回	N2聴解練習		・「統合理解」練習①			
12回	N2読解練習		・「新聞」練習			
13回	N2聴解練習		・「統合理解」練習②			
14回	復習		・聴解／読解 総復習			
15回	試験		・期末試験			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅲ(文法)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2・N3対策 N3文法を中心に進めN3の基礎を固めN2に繋げる				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・N3 合格					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3文法	文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
2回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
3回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
4回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
5回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
6回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
7回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
8回	N3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
9回	N2・3文法	N3模擬テスト + FB				
10回	N2・3文法	N3模擬テスト + FB				
11回	N2・3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
12回	N2・3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
13回	N2・3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する 文法問題を解く				
14回	N2・3文法	小テスト 文法の意味・使い方を確認する				
15回	N2・3文法	期末テスト + FB				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅳ(読解)				クラス	I
担当講師(フルネーム)	上中真由美				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2・N3対策 N2～N3レベルの読解力をつける				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2・N3 合格					
使用テキスト	プリント対応					
成績評価方法	・期末試験60% 平常点40% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
2回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
3回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
4回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
5回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
6回	N3読解	読解問題を解く基礎練習 読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
7回	N3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
8回	N3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
9回	N2・3読解	N3模擬テスト + FB				
10回	N2・3読解	N3模擬テスト + FB				
11回	N2・3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
12回	N2・3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
13回	N2・3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
14回	N2・3読解	読解問題を解き全体で解答を確認する 漢字				
15回	N2・3読解	期末テスト + FB				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅴ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	山浦靖大				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語教師歴7年。日本語能力試験N2に必要とされる漢字の読み書きの練習。聴解の「即時応答」「課題理解」のスキル習得と練習				授業形態	講義
到達目標	N2で必要な漢字約1000字の内800字が読め、そのうち300字が書ける・12月のN2試験「即時」「課題」で正解率70%以上					
使用テキスト	※プリント対応 「新完全マスターN2漢字」「試験に出る読解」「直前対策N2」「実力アップN2聞く」「模試と対策N2」「完全模試N2」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	中級漢字801～825 聴解(課題理解の練習)	漢字:第40回／試験に出る読解第2部① 実力アップ課題理解part1問1 5～8				
2回	中級漢字826～850 聴解(課題理解の練習)	漢字:第41回／試験に出る読解第2部② 実力アップ課題理解part1問1 9～12				
3回	中級漢字851～875 聴解(課題理解の練習)	漢字:第42回／試験に出る読解第2部③ 実力アップ課題理解part1問1 13～14 問2 1～2				
4回	中級漢字876～900 聴解(課題理解の練習)	漢字:第43回／試験に出る読解第2部④ 実力アップ課題理解part1問2 3～6				
5回	中級漢字901～925 聴解(課題理解の練習)	漢字:第44回／試験に出る読解第2部⑤ 実力アップ課題理解part1問2 7～10				
6回	中級漢字926～950 聴解(課題理解の練習)	漢字:第45回／試験に出る読解第2部⑥ 実力アップ課題理解part1問2 11～12				
7回	中級漢字951～975 聴解(課題理解の練習)	漢字:第46回／試験に出る読解第2部⑦ 模試と対策N2 聴解 第1回 1～5(課題理解)				
8回	中級漢字976～1000 聴解(即時応答の練習)	漢字:第47回／試験に出る読解第2部⑧ 模試と対策N2 聴解 第1回 15～32(即時応答)				
9回	中級漢字1001～1025 聴解(課題理解の練習)	漢字:第48回／試験に出る読解第2部⑨ 模試と対策N2 聴解 第2回 1～5(課題理解)				
10回	中級漢字1026～1046 聴解(即時応答の練習)	漢字:第49回／試験に出る読解第2部⑩ 模試と対策N2 聴解 第2回 15～32(即時応答)				
11回	模擬試験	日本語能力試験完全模試 第1回(文法以外)※FBまで				
12回	中級漢字復習① 聴解(課題理解の練習)	漢字:第50・51回 日本語能力試験完全模試 第2回 聴解 問1				
13回	中級漢字② 聴解(即時応答の練習)	漢字:第52・53回 日本語能力試験完全模試 第2回 聴解 問4				
14回	期末テスト 聴解(課題理解の練習)	期末試験(30分) 日本語能力試験完全模試 第3回 聴解 問1				
15回	期末テストFB 聴解(即時応答の練習)	期末試験の返却と確認 日本語能力試験完全模試 第3回 聴解 問4				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策VI				クラス	I
担当講師(フルネーム)	山浦靖大				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語教師歴7年。日本語能力試験N2文法の練習、確認を通して知識を定着させる				授業形態	講義
到達目標	12月のN2試験で文法正解率70%					
使用テキスト	新完全マスターN2文法(辞典として使用) ※プリント対応「日本語パワードリルN2文法」「N2文法問題集」「直前対策N2(文法)」					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第1回 ■N2文法問題集unit1 HW: パワードリルN2文法第2回				
2回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第2回 ■N2文法問題集unit2 ■直前対策N2文法箇所1日目 HW: パワードリルN2文法第3回				
3回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第3回 ■N2文法問題集unit3 ■直前対策N2文法箇所2日目 HW: パワードリルN2文法第4回				
4回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第4回 ■N2文法問題集unit4 ■直前対策N2文法箇所3日目 HW: パワードリルN2文法第5回				
5回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第5回 ■N2文法問題集unit5 ■直前対策N2文法箇所4日目 HW: パワードリルN2文法第6回				
6回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第6回 ■N2文法問題集unit6 ■直前対策N2文法箇所5日目 HW: パワードリルN2文法第7回				
7回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第7回 ■N2文法問題集unit7 ■直前対策N2文法箇所6日目 HW: パワードリルN2文法第8回				
8回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第8回 ■N2文法問題集unit8 ■直前対策N2文法箇所7日目 HW: パワードリルN2文法第9回				
9回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第9回 ■N2文法問題集unit9 ■直前対策N2文法箇所8日目 HW: パワードリルN2文法第10回				
10回	模擬試験 文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第10回 ■N2文法問題集総合問題1(模試) ■直前対策N2文法箇所9日目 HW: パワードリルN2文法第11回				
11回	模擬試験 文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第11回 ■N2文法問題集総合問題2・3(模試) HW: パワードリルN2文法第12回				
12回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第12回 ■新完全マスターN2文法模擬試験第1回 HW: パワードリルN2文法第13回				
13回	文の文法練習問題	■パワードリルN2文法第13回 ■新完全マスターN2文法模擬試験第2回 HW: パワードリルN2文法第14回				
14回	期末試験 文の文法練習問題	後期期末試験(30分) ■パワードリルN2文法第14回 ■直前対策N2文法箇所10日目 HW: パワードリルN2文法第15回				
15回	文の文法練習問題	後期期末試験の返却と確認 ■パワードリルN2文法第15回 ■直前対策N2文法箇所11日目				

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅶ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の語彙対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N3～N2レベルの語彙を身に着ける					
使用テキスト	新完全マスターN2(語彙)・ドリル&ドリルN2(語彙)・合格できる日本語能力試験(N2)・模試と対策N2(アスク出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	3章 形が似ていることば		・小テスト ・テキストp.118-123			
2回	4章 副詞(L.1)		・小テスト ・テキストp.124-129			
3回	4章 副詞(L.1)		・小テスト ・テキストp.124-129			
4回	4章 副詞(L.2)		・小テスト ・テキストp.130-135			
5回	4章 副詞(L.2)		・小テスト ・テキストp.130-135			
6回	4章 副詞(L.3)		・小テスト ・テキストp.136-141			
7回	5章 オノマトペ		・小テスト ・テキストp.142-147			
8回	5章 オノマトペ		・小テスト ・テキストp.142-147			
9回	6章 慣用表現①(L1)		・小テスト ・テキストp.148-153			
10回	6章 慣用表現①(L1)		・小テスト ・テキストp.148-153			
11回	6章 慣用表現②(L2)		・小テスト ・テキストp.154-159			
12回	6章 慣用表現②(L2)		・小テスト ・テキストp.154-159			
13回	7章 語形成(L1)		・小テスト ・テキストp.160-165			
14回	7章 語形成(L1)		・期末試験 ・テキストp.160-165			
15回	7章 語形成(L1)		・期末試験返却及びフィードバック ・テキストp.160-165			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語能力試験対策Ⅷ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	松田裕美子				実務経験	無
授業概要(内容)	日本語能力試験N2の読解及び聴解対策				授業形態	講義
到達目標	日本語能力試験N2レベルの読解と聴解の解き方をマスターする					
使用テキスト	必ずできるN2読解・合格できる日本語能力試験(N2)・新完全マスターN2(聴解)・模試と対策N2(アスク出版)					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	N2読解/聴解	・読解練習問題7日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N3:ウォーミングアップ⑪)				
2回	N2読解/聴解	・読解練習問題8日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N3:ウォーミングアップ⑫)				
3回	N2読解/聴解	・読解練習問題9日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N3:ウォーミングアップ⑬)				
4回	N2読解/聴解	・読解練習問題10日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N2:ウォーミングアップ⑦)				
5回	N2読解/聴解	・読解練習問題11日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N2:ウォーミングアップ⑧)				
6回	N2読解/聴解	・読解練習問題12日目 ・聴解練習問題				
7回	N2読解/聴解	・読解練習問題13日目 ・聴解練習問題				
8回	N2読解/聴解	・読解練習問題14日目 ・聴解練習問題				
9回	N2読解/聴解	・読解練習問題15日目 ・聴解練習問題				
10回	N2読解/聴解	・読解練習問題16日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N2:ウォーミングアップ⑨)				
11回	N2読解/聴解	・読解練習問題17日目 ・聴解練習問題 ・宿題(N2:ウォーミングアップ⑩)				
12回	N2読解/聴解	・読解練習問題18日目 ・聴解練習問題				
13回	N2読解/聴解	・読解練習問題19日目 ・聴解練習問題				
14回	N2読解/聴解	・期末試験 ・読解練習問題20日目				
15回	N2読解/聴解	・期末試験返却及びフィードバック ・聴解練習問題				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語コミュニケーション I				クラス	I 留学生
担当講師(フルネーム)	恵良 恭子				実務経験	無
授業概要(内容)	① 話題別・性質別(意味・品詞・形式・発音)の言葉を学ぶ。 ② N2 能力試験対策(テキスト・問題集)				授業形態	講義
到達目標	N3・N2 合格できる力をつけるだけでなく、全般的な語彙力・運用力をつける。					
使用テキスト	・新完全マスターN2語彙／N3スピードマスター／N2ドリル&ドリル／N2パワードリル					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧とおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	N2語彙	2章(生活)	【1課】 食生活——好きな料理は、味は 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 基本練習・副詞短文練習 《実践練習—宿題》			
2回	N2語彙	2章(生活)	宿題 FB／1課・読み復習 【2課】 家事——料理の作り方・家事全般 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 基本練習・副詞短文練習			
3回	N2語彙	2章(生活)	実践練習／1課—確認テスト 【3課】 意味(予習済み)と読み			
4回	N2語彙	2章(生活)	【3課】 ことば復習 語形成・副詞・基本練習 2課—確認テスト 《実践練習—宿題》 ・ドリル&ドリル			
5回	N2語彙	2章(まとめ)	3課 宿題 FB／3課—確認テスト 2章—【1課～3課】まとめテスト			
6回	N2語彙	3章(趣味・娯楽)	【3章】 趣味・娯楽——あなたの趣味はなに。 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 基本練習 ・ドリル&ドリル 《実践練習—宿題》			
7回	N2語彙	4章(旅行)	宿題 FB／3章・読み復習 【1課】 旅行・交通——観光・準備・海外旅行・交通機関 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》			
8回	N2語彙	4章(旅行)	実践練習 FB／3章 確認テスト 【2課】 自然——自分の町の自然・気温・風景・四季 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》			
9回	N2語彙	5章(教育と仕事)	宿題 FB／2課・読み復習 【1課】 学校——自分の国の学校教育・制度 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》			
10回	N2語彙	5章(教育と仕事)	実践練習 FB／4章2課 確認テスト 【2課】 仕事——就職・仕事／将来目指す仕事・経営 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》			
11回	N2語彙	5章(教育と仕事)	宿題 FB／2課・読み復習 3章・4章【1課～2課】まとめテスト			
12回	N2語彙	6章(メディア)	【1課】 報道・広告——ニュースを知りたいとき新聞・テレビを利用するか。 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》 5章1課 確認テスト			
13回	N2語彙	6章(メディア)	【2課】 コンピューター——メール・文書作成・インターネットを利用 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 《実践練習—宿題》 5章2課 確認テスト			
14回	N2語彙	7章(社会)	【1課】 行事——日本社会の主な行事 意味(予習済み)と読み——音読・語形成・副詞表現 基本練習 実践練習			
15回	後期まとめ		これまでの基本練習と実践練習まとめ 期末テスト復習			

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	日本語コミュニケーションⅡ				クラス	I
担当講師(フルネーム)	永吉美知子				実務経験	無
授業概要(内容)	読む 書く 話すの言語能力を高める 日本語で日本語を説明できるようになる				授業形態	講義
到達目標	JLPT合格・日本人とのコミュニケーションがうまくとれるようになる					
使用テキスト	みんなの日本語中級 読もう 標準問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	標準問題集1課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
2回	標準問題集2課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
3回	標準問題集3課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
4回	標準問題集1－3課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
5回	標準問題集4課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
6回	標準問題集5課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
7回	標準問題集6課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
8回	標準問題集4－6課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
9回	標準問題集7課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
10回	過去問					
11回	標準問題集8課		過去問FB			
12回	標準問題集9課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
13回	標準問題集7－9課		内容理解 語彙・文法の理解と定着			
14回	学期末テスト					
15回	標準問題集8課		対策テストFB 語彙・文法の理解と定着			

対象学年	1年	学期	通年	学科	観光ビジネス進学科	
科目名	ペン字				クラス	I
担当講師(フルネーム)	坂口 順子				実務経験	無
授業概要(内容)	文字(平仮名、片仮名、数字、漢字)の形とバランスの習得				授業形態	講義 & 演習
到達目標	この授業で習ったことを他の教科で活かして読みやすい文字を書く					
使用テキスト	オリジナルテキスト・ペン2本・下敷き・筆ペン					
成績評価方法	・提出物70%・小テスト・授業態度30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	文字の基本を学ぶ①		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)①			
2回	文字の基本を学ぶ②		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)②			
3回	文字の基本を学ぶ③		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)③□			
4回	文字の基本を学ぶ④		読みやすい文字を書くための基本 1字1字の形の取り方とバランス(漢字)④□			
5回	文字の基本を学ぶ⑤		読みやすい文字を書くための基本 縦書きの書式を学ぶ 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～3行			
6回	文字の基本を学ぶ⑥		読みやすい文字を書くための基本 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～6行			
7回	文字の基本を学ぶ⑦		読みやすい文字を書くための基本 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～9行			
8回	文字の基本を学ぶ⑧		年賀状を書くためのはがきの表書き 縦書きの特徴とバランスを学ぶ			
9回	筆ペンで年賀状を書く①		筆ペンの特徴と書き方 年賀状の時期と由来 基本線と筆使い			
10回	筆ペンで年賀状を書く②		はがき(年賀状)表書き裏書きの部分練習			
11回	筆ペンで年賀状を書く③		年賀状を書く①			
12回	筆ペンで年賀状を書く④		年賀状を書く②			
13回	文字の基本を学ぶ⑨		読みやすい文字を書くための基本 横書きの書式を学ぶ 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～3行			
14回	文字の基本を学ぶ⑩		読みやすい文字を書くための基本 漢字、平仮名、片仮名交じりの文章の練習～6行			
15回	文字の基本を学ぶ⑪		読みやすい文字を書くための基本 漢字、平仮名、片仮名、数字交じりの文章の練習～9行 まとめ			

夜間総合観光

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	面接対策				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	小林俊也				実務経験	無
授業概要(内容)	次年度の就職試験に向けて、面接の対策を行う。				授業形態	講義
到達目標	面接の基本動作習得、より評価の高い受け答え方ができる					
使用テキスト	プリント配布					
成績評価方法	・平常点100%(出席状況と受講態度、事後学習の取り組み姿勢による) ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		授業の進め方と評価について ・面接試験に臨むまえに ・自己紹介			
2回	面接対策①		・質問内容の分析(昨年) ・頻度の高い質問			
3回	面接対策②		・面接のシュチュエーションと基本動作			
4回	面接対策③		・自己紹介と自己PR			
5回	面接対策④		・自己PR ※模擬面接とフィードバック			
6回	面接対策⑤		・自己PR ※模擬面接とフィードバック			
7回	面接対策⑥		・自己PR ※模擬面接とフィードバック			
8回	面接対策⑦		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
9回	面接対策⑧		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
10回	面接対策⑨		・志望動機 ※模擬面接とフィードバック			
11回	面接対策⑩		・配属の希望と理由 ※模擬面接とフィードバック			
12回	面接対策⑪		・アルバイトについて ※模擬面接とフィードバック			
13回	面接対策⑫		・これまでに頑張ったこと ※模擬面接とフィードバック			
14回	面接対策⑬		・長所と短所 ※模擬面接とフィードバック			
15回	まとめ		・就職試験に臨む前に			

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科		
科目名	就職活動講座(LHR)				クラス	Z	
担当講師(フルネーム)	金森和彦				実務経験	有(旅行業界勤務歴)	
授業概要(内容)	就職活動に向けて企業研究や面接準備を行う。				授業形態	演習	
到達目標	志望企業を明確にしその企業業界から内定を勝ち取る。						
使用テキスト	専門学校生のための就職内定 基本テキスト						
成績評価方法	平常点 提出物 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。					単位数	2
期末試験	× 期末試験なし						
	テーマ		授業内容				
1回	自己PR		就職活動についての心構え 就職試験の流れ 就職活動のルールと諸注意				
2回	自己PR		面接試験の形式 自己PR作成 発表				
3回	志望動機		志望動機の作り方				
4回	志望動機		志望動機作成 発表				
5回	履歴書作成		履歴書の書き方				
6回	履歴書作成		履歴書作成				
7回	面接応答例		その他の想定質問				
8回	面接練習		面接練習				
9回	面接練習		面接練習				
10回	エントリーシート作成		エントリーシートの書き方				
11回	エントリーシート作成		エントリーシート作成				
12回	グループディスカッション		グループディスカッション体験				
13回	グループディスカッション		グループディスカッション体験				
14回	就職セミナー対策		就職セミナー対策				
15回	就職セミナー対策		就職セミナー対策				

対象学年	1年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	ホテル総論				クラス	Z①
担当講師(フルネーム)	小西翼				実務経験	有(ホテル業界勤務歴)
授業概要(内容)	部署を問わず、ホテルで即戦力として働くために必要な基礎知識を身に付ける。				授業形態	講義
到達目標	ホテル実務技能認定試験初級の資格を取得する。					
使用テキスト	ホテル実務技能認定試験 初級 問題集					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	オリエンテーション		資格試験について説明 後期の授業の進め方、評価方法の説明 接客分野の解答			
2回	テキスト解説		接客分野の解説			
3回	テキスト解説		接客分野の解説 料飲分野の解答			
4回	テキスト解説		料飲分野の解説			
5回	テキスト解説		宿泊分野の解答、解説			
6回	テキスト解説		宿泊分野の解説 語学分野の解答			
7回	テキスト解説		語学分野の解説			
8回	テキスト解説		その他のホテル関連分野の解答、解説			
9回	過去問題		その他のホテル関連分野の解説 第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答			
10回	過去問題		第31回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
11回	過去問題		第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解答、解説			
12回	過去問題		第32回ホテル実務技能認定試験 過去問題の解説			
13回	過去問題		その他過去問題の解答、解説			
14回	後期授業まとめ		後期授業まとめ			
15回	期末試験		期末試験を行う			

対象学年	1年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	空港実務				クラス	Z
担当講師(フルネーム)	原田歩				実務経験	有(エアライン業界勤務歴)
授業概要(内容)	国内の空港や航空会社の特徴、国内線におけるお客さまの流れを学ぶ チェックイン業務やアナウンス業務など実技を交えながら学ぶ				授業形態	講義
到達目標	国内線の基礎を理解する					
使用テキスト	ANAグランドスタッフ入門					
成績評価方法	・期末試験80% 平常点20% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	オリエンテーション	授業の目的、進め方、成績評価方法について チェックイン業務に挑戦する 航空業界にとって最も大事なことを理解する				
2回	日本の空港①	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える				
3回	日本の空港②	日本地図をもとに空港の位置を学ぶ 空港の基礎知識を習得する 空港の3レターを覚える				
4回	日本の航空会社①	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える				
5回	日本の航空会社②	日本の航空会社を知る 各航空会社の特徴を学ぶ 航空会社の3レター・2レターを覚える				
6回	GSの業務と役割①	旅客ハンドリング企業を知る GSの業務形態を知る 各空港の特徴を学ぶ				
7回	GSの業務と役割②	GSの業務内容を学ぶ チェックイン業務、アナウンス業務を体験する				
8回	GSの業務と役割③	GSの役割を理解する GSに求められる人材について考える				
9回	時刻表①	時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する				
10回	時刻表②	時刻表の見方と役割を理解する 記載されている内容を把握する 時刻表を使用してロールプレイを行う				
11回	手荷物①	受託・持込み手荷物のルールを学ぶ 様々な種類の手荷物タグについて学ぶ 様々な種類の収納ケースについて学ぶ				
12回	手荷物②	手荷物タグの取扱い方法を学ぶ 危険物について学ぶ 破損、未引取り、取り違い時の対応を学ぶ				
13回	国内線運賃	各種運賃とルールを学ぶ 各社運賃を比較する ホームページを利用し空席照会をする				
14回	国内線航空券	航空券の見方とルールを学ぶ 様々な搭乗媒体を知る スキップサービスについて理解する				
15回	まとめ	前期の復習、および補足				

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	コミュニケーションイングリッシュ				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	Geoffrey Wolfson				実務経験	無
授業概要(内容)	Doing self introductions. Making various presentations about oneself. Asking and answering various questions with a partner. Practicing role plays. Understanding various culture points.				授業形態	講義
到達目標	To improve students' fluency and ability to use simple English at work and socially. To raise their confidence levels using simple English by creating more opportunities for the students to speak.					
使用テキスト	Challenge book #4、Hotel English Booklet (Front staff)、Warm-up Booklet 2、Vocabulary Book (Noun)					
成績評価方法	・期末試験50% 平常点50% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	△ 授業中に実施					
	テーマ		授業内容			
1回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Hotel English Booklet P10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Hotel Dialog: 2			
2回	Warm Up: P6, Vocabulary: P8 Challenge Book: P13 Hotel English Booklet P10		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Sports Interview Nouns starting with H, Hotel Dialog: 2			
3回	Warm Up: P6, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Hotel English Booklet P13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Hotel Dialog: 3-A			
4回	Warm Up: P7, Vocabulary: P9 Challenge Book: P14 Hotel English Booklet P13		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Sport Nouns starting with I, Hotel Dialog: 3-A			
5回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Hotel English Booklet P15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Hotel Dialog: 3-B			
6回	Warm Up: P7, Vocabulary: P10 Challenge Book: P15 Hotel English Booklet P15		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Cuisine Interview Nouns starting with J, Hotel Dialog: 3-B			
7回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Hotel English Booklet P17		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Hotel Dialog: 3-C			
8回	Warm Up: P8, Vocabulary: P11 Challenge Book: P16 Hotel English Booklet P17		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Favorite Restaurant Nouns starting with K, Hotel Dialog: 3-C			
9回	Warm Up: P8, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Hotel English Booklet P23		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Hotel Dialog: 4			
10回	Warm Up: P9, Vocabulary: P12 Challenge Book: P21 Hotel English Booklet P23		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: School Memory Lane Nouns starting with L, Hotel Dialog: 4			
11回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Hotel English Booklet P25		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Hotel Dialog: 5-A			
12回	Warm Up: P9, Vocabulary: P13 Challenge Book: P22 Hotel English Booklet P25		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My Best School Trip Nouns starting with M, Hotel Dialog: 5-A			
13回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Hotel English Booklet P27		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Nouns starting with N, Hotel Dialog: 5-B			
14回	Warm Up: P10, Vocabulary: P14 Challenge Book: P23 Hotel English Booklet P27		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Presentation: My School Club Nouns starting with N, Hotel Dialog: 5-B			
15回	Warm Up: P10, Vocabulary: P15 Challenge Book: P24 Hotel English Booklet P29, test		Warm-up, Self-intro, Q&A, Vocab Q&A: Music Interview Nouns starting with O, Hotel Dialog: 6			

対象学年	2年	学期	通年	学科	夜間総合観光科	
科目名	web広告戦略				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	坂井隆仁				実務経験	有(ブライダル業界勤務歴)
授業概要(内容)	Excelを使って広告スケジュールの作り方を学んだ後、webサイトを作っていきます。				授業形態	実技
到達目標	パソコンを使って色々な事ができる人材になっていきましょう。					
使用テキスト	特になし。課題、資料等はデータで配布予定。					
成績評価方法	・授業内課題70点 出席30点 ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	× 期末試験なし					
	テーマ		授業内容			
1回	前期の復習と今期の内容確認		Word、PowerPoint、動画の復習 webディレクターという仕事の紹介			
2回	Excelで広告スケジュール作成①		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。			
3回	Excelで広告スケジュール作成②		Excelでスケジュール作成 条件付き書式を使いこなしてみよう。			
4回	バナーについて①		canvaで実際にバナーを作りましょう。 色々なWebサイトを見てどんなバナーがあるか調査してみよう。			
5回	バナーについて②		canvaで実際にバナーを作りましょう。 テーマ別にバナーを作成			
6回	Webサイトを作ってみよう①		ペライチへ登録 webサイト作成 課題①			
7回	Webサイトを作ってみよう②		webサイト作成 課題②			
8回	Webサイトを作ってみよう③		webサイト作成 課題③			
9回	Webサイトを作ってみよう④		webサイト作成 課題④			
10回	Webサイトを作ってみよう⑤		seo対策について 公開する手順説明			
11回	Webサイトの更新①		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題①			
12回	Webサイトの更新②		Webサイトを更新しながら、HTML・CSSを学習していきましょう 課題②			
13回	ブログについて学習①		ブログの作り方 WordPressについて 自分のブログ作成			
14回	ブログについて学習②		自分のブログ作成 広告について			
15回	振り返り		今まで学習した内容を復習します。			

対象学年	2年	学期	後期のみ	学科	夜間総合観光科	
科目名	フレッシュャーズ教育				クラス	Y
担当講師(フルネーム)	大西希久永				実務経験	無
授業概要(内容)	授業を通して社会人になった際の知識を事前に身につける				授業形態	講義
到達目標	社会人としての基礎知識を身に付ける					
使用テキスト	適宜プリント					
成績評価方法	・期末試験70% 平常点30% ※単位取得には、出席率は便覧どおり75%以上を条件とする。				単位数	2
期末試験	○ 期末試験期間中に実施					
	テーマ	授業内容				
1回	求人票 (会社内の組織について)	・求人票の見方 ・主な部署と役割(一般、外資) ・主な福利厚生について				
2回	給与明細 (働くということ)	・給与明細の見方(社会保険、税金) ・社会人としての心構え①				
3回	就業規則 (働くということ②)	・就業規則について ・社会人としての心構え②				
4回	1日の流れ	・出社から退社までのマナー ・仕事での立ち居振る舞い				
5回	第一印象	・視覚情報、聴覚情報、言語情報 ・身だしなみについて				
6回	新入社員の自己紹介	・好感度を高める為のステップ ・おじぎ、挨拶				
7回	仕事の仕方	・仕事の進め方 ・ほうれんそうについて(連絡の仕方) ・スケジュール管理術				
8回	言葉遣い	・敬語の基本 ・ビジネスでの間違い敬語 ・ビジネスで活用できる言い回し				
9回	やりとりの仕方	・ビジネス文書 ・電話、メール				
10回	接し方	・席次のルール ・来客対応				
11回	人権	・ハラスメントについて ・社内での人間関係について				
12回	コンプライアンス (個人情報の取り扱い)	・社内で気をつけること ・外出先で気をつけること ・SNSトラブルについて				
13回	上司(同僚)との付き合い方	・オフィスでのトラブルについて ・ミス、叱られた際の対応 ・マナー会議のマナー・懇親会のマナーなど				
14回	テスト・まとめ	・テスト まとめ				
15回	ライフプラン・まとめ	・遅刻、欠席、早退、有給をとる際の手順、心得(リフレッシュの仕方) ・ライフプランについて				